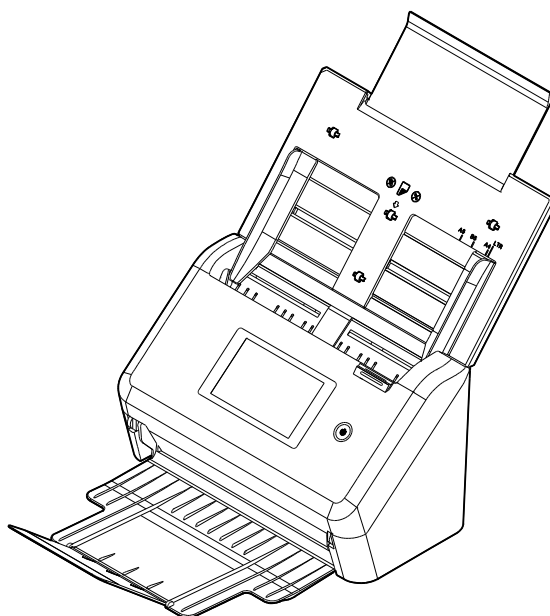




ネットワークスキャナ
ユーザーマニュアル



規制モデル:FF-2007H

Avision Inc.

商標

Microsoft は Microsoft Corporation の米国での登録商標です。

Windows 7 および Windows 8 は Microsoft Corporation の商標です。

ENERGY STAR®はアメリカの登録商標です。

本マニュアルでのその他ブランドや製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権

全権保留。Avision Inc の書面による事前許可がない限り、電氣的、機械的、磁氣的、工学的、化学的、手書き又は他のいかなる方法でも当出版物の一部の複製、転送、転写、記憶装置への記憶、他国語またはコンピューター言語への翻訳はできません。

当製品によりスキャンされた内容は、国の法律やその他規制、例えば著作権法などで保護されている場合があります。ユーザーの皆様がそれら法律や規制を遵守する責任を有します。

保証

当マニュアルに含まれた内容は予告なしに変更される場合があります。

Avision は本マニュアルの内容に関して、商品性および特定の目的に対する適合性を含む保証を、明示すると黙示たるとを問わず一切いたしません。

Avision は当マニュアルの誤りや、本書の設置、操作、使用に関連した偶発的または因果関係による損失に関する責任は負いかねます。

FCC 無線周波数干渉通知

本機器は、無線周波エネルギーを生成、使用および放射します。製造元の取扱説明書に従わずにインストールおよび使用した場合、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因になります。本機器は、テストの結果 FCC 規則 15 上に順ずる Class B デジタル デバイスの制限にしたがっていることが認められています。これらの制限は、本機器が居住地域においてインストールされた時に、有害な干渉に対する適切な保護を提供するためのものです。ただし、特別なインストールを行った場合、有害な干渉の原因にならないことは保証できません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因かどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることにより確認することができます。本機器が原因の場合、次の方法をいくつかお試しになり、干渉を修正するようお勧めします：

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本機器と受信機の位置間隔を変える。
- 本機器を受信機が接続されている回線とは別のコンセントに接続する。

必要な場合、販売元又は熟練したラジオ/テレビ技師にお問い合わせください。



ENERGY STAR®のパートナー企業として、Avision Inc は本製品をエネルギー効率に関する ENERGY STAR®のガイドラインに準拠させています。



欧州連合規定の通知

CE マークを有する製品は、以下の EU 指示に準拠しています。

- 低電圧指示2014/35/EC
- EMC指示2014/30/EC
- 特定有害物質使用制限 (RoHS) 指令 2011/65/EU
- RED (無線機器指令) 指令 (2014/53/EC)

Avision が提供する CE マーク付き AC アダプターを電源とする場合、この製品は正しく CE に準拠します。

この製品は、EN55032、EN55035 のクラス B 制限、EN 62368-1 の安全性要件。

*本機はクラス 1 レーザー製品として承認されています。

VCCI

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

個人ユーザによる使用済み機器の廃棄について



製品またはその梱包物にこのマークがある場合、当該製品をお客様の家庭廃棄物と一緒に廃棄することはできません。健康や環境保護のために、リカバリやリサイクルの際には専門施設に当該製品をお送り下さい。使用済み機器をリサイクルする場合の廃棄場所に関する詳しい情報は、お住まい地域の市役所や家庭廃棄物処理業者、または製品の購入店にご相談下さい。

システム要件

CPU:	Intel® Core™ 2 Duo プロセッサ以上
メモリ:	32-ビット: 2 GB (ギガバイト) 64-ビット: 4 GB (ギガバイト)
光学ドライブ:	DVD-ROM ドライブ
USB ポート:	USB 3.2 Gen 1x1 ポート (USB 2.0/3.0 互換)
サポートされているオペレーティングシステム:	Windows 10 (32 bits/64 bits), Windows 8 (32 bits/64 bits), Windows 7

製品の安全ガイド

デバイスの取り付けと使用を始める前に、以下の指示をよくお読みになり、すべての指示と警告に従ってください。

人身事故と装置損傷のあらゆる可能性を未然に防ぐために、本書では次の指示が使用されます。

⚠ 警告	状況が潜在的に危険であることを示します。指示に従わない場合、死亡事故または重傷事故を招く恐れがあります。
⚠ 注意	潜在的に危険な状況であることを示します。指示に従わない場合、軽度または中程度の怪我や物的損傷を招く恐れがあります。

⚠ **警告**

- デバイスに付属している **AC 電源アダプター**のみをご利用ください。他の **AC 電源アダプター**を使用した場合、火災、感電、怪我を招く恐れがあります。
- デバイスに付属している **AC 電源アダプター**と **USB ケーブル**のみ使用し、摩擦、切断、ほつれ、潰れ、ねじれを避けてください。他の **AC 電源アダプター**や **USB ケーブル**を使用した場合、火災、感電、怪我を招く恐れがあります。
- **AC 電源コード**の上に物を置かないでください。**AC 電源アダプター**または **AC 電源コード**が踏まれないようにしてください。
- **AC 電源アダプター**を簡単に取り外せるように、デバイスと **AC 電源アダプター**はコンセントの近くに置いてください。
- デバイスに延長コードを使用する場合、延長コードに差し込んだデバイスの合計アンペア定格がコードのアンペア定格を超えないようにしてください。
- デバイスとコンピューターをインターフェイスケーブルで簡単につなげるように、デバイスはコンピューターの近くに置いてください。
- デバイスと **AC 電源アダプター**は次の場所に配置または保管しないでください。
 - 屋外
 - 過度のごみまたはほこり、水、熱源の近く
 - 衝撃、振動、高温または多湿、直射日光、強い光源、温度または湿度の急激な変化にさらされる場所
- 濡れた手でデバイスに触らないでください。
- デバイスの説明書に明記されていない限り、**AC 電源アダプター**、デバイス、デバイスオプションは自分で分解、改造、修理しないでください。火災、感電、怪我を招く恐れがあります。
- 開いている部分に物を差し込まないでください。危険な電圧点または短絡する部品に触れる恐れがあります。感電にご注意ください。
- 次のような状態になったら、デバイスと **AC 電源アダプター**を取り外し、認定修理業者に修理を依頼してください。
 - **AC 電源アダプター**またはプラグが壊れている。
 - デバイスまたは **AC 電源アダプター**に液体が入った。
 - デバイスまたは **AC 電源アダプター**に物が入った。
 - デバイスまたは **AC 電源アダプター**を落とした。または、ケースが壊れた。
 - デバイスまたは **AC 電源アダプター**が正常に動作しない (煙、異臭、異音がするなど)。または、性能にはっきりとした変化が現れた。
- 清掃前にデバイスと **AC 電源アダプター**を取り外してください。

⚠ **注意:**

- デバイスはぐらつくまたは傾いたテーブルの上に置かないでください。デバイスは不安定な面の上に置かないでください。デバイスが落下し、怪我を招く恐れがあります。
- 重量物を本体の上に置かないでください。バランスが崩れ、デバイスが落下する可能性があります。それにより怪我を招く恐れがあります。
- **AC 電源コード/USB ケーブル**の束は怪我を避けるために子供の手の届かない場所に保管してください。
- ビニール袋は窒息を避けるために子供の手の届かない場所に保管するか、捨ててください。
- 長期間デバイスを使用しない場合、**AC 電源アダプター**をコンセントから抜いてください。

1 はじめに

序文

ネットワークスキャナをご購入いただきありがとうございます。本製品では、片面または両面ドキュメントを瞬時にコピーして、電子メールアドレス、FTP サーバー、ネットワークフォルダ、Google Drive、SharePointOnline、Onedrive や Evernote などのクラウドサーバーを含む、様々な場所に電子画像を配信することができます。また、本製品では、スキャンした画像を挿入した USB フラッシュドライブや、本製品内のメモリに保存することもできます。

必要に応じて、本製品を USB または有線ネットワーク接続を介して通常のスキャナーとして使用し、ご利用の TWAIN 互換アプリケーションを起動し、様々な高度な画像強化ツールを使って、画像をスキャンすることができます。この機能の使用方法については、第 7 章 *本製品の通常のスキャナーとして使用*を参照してください。

豊富なスキャンの送信先

スキャンして、画像を電子メールアドレスに送信：

イーサネットネットワークと SMTP サーバーに接続すれば、本製品から電子メールアドレス宛にドキュメントを添付ファイルとして送信できます。電子メールキーを押して、受信者の電子メールアドレスを選択するだけで、ドキュメントがスキャンされ、画像ファイルに変換された後、遠隔にいる受信者に数分以内に送信されます。

スキャンして、画像をネットワークフォルダに送信：

スキャンしたドキュメントを、FTP (ファイル転送プロトコル) / FTPS (ファイル転送プロトコルセキュア) / SharePoint または SMB (Server Message Block Protocol) を使用して、サーバーやイントラネット経由のパソコンのファイルフォルダに送信することができます。この機能を使うことで、大きな添付ファイルを処理する必要がなくなり、メールサーバーの負荷が軽減されます。

スキャンして、画像を USB フラッシュドライブに保存する：

USB フラッシュドライブを本製品の USB ポートにつなげることで、USB フラッシュドライブにあるドキュメントをスキャンして、スキャンした画像を保存することができます。

スキャンして、画像を本製品内のメモリに保存：

パブリックフォルダをファイルの行き先を選択すると、スキャンを実行して、スキャンした画像を本製品内のメモリに保存することができます。ファイルには、本製品に組み込まれたウェブページからアクセスすることができます。

プレビュー:

ネットワーク経由でドキュメントを送信する前に、スキャンしたドキュメントの縮小版をプレビューして、スキャンした画像が歪んだり、逆になっていないか確認することができます。ページに歪んでいるものがあれば、そのページを削除して再スキャンすることができ、時間を節約できます。

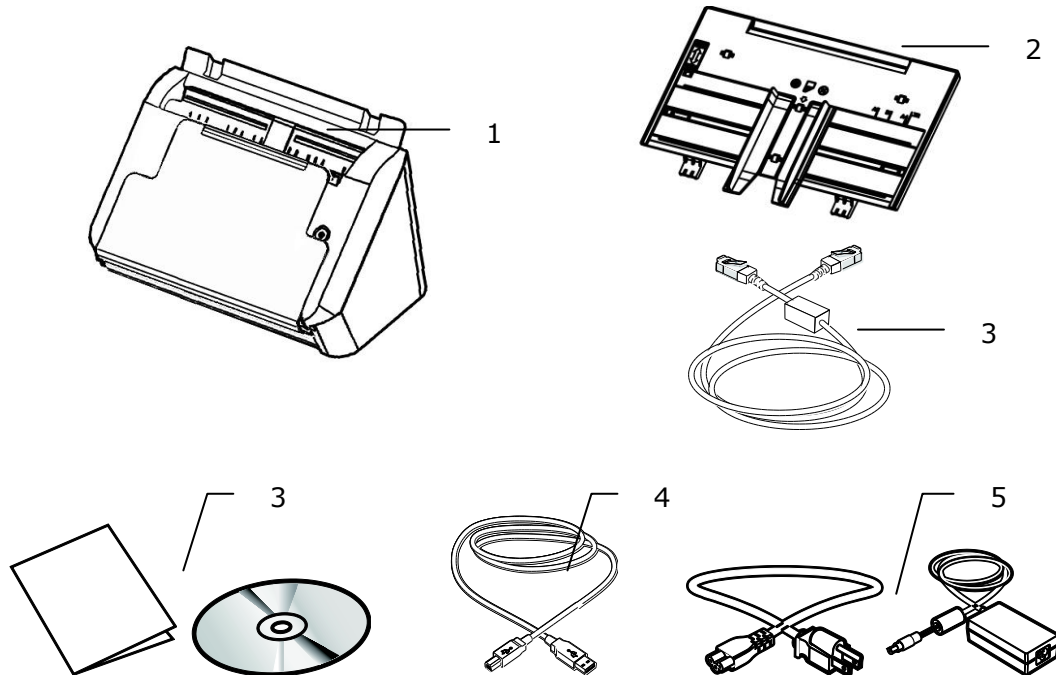
スキャンキャスト:

画像をスキャンして、クラウドサーバー、パブリックフォルダ(本製品内のメモリ)、USB フラッシュドライブ、電子メールアドレス、FTP や SMB などのネットワーク上のファイルサーバーを含む様々な場所に、画像をブロードキャストすることができます。

便利なショートカットを使用:

頻繁に使う設定やスキャンの送信先をショートカットに割り当てれば、作業が簡素化され、ボタンを1回押すだけでスキャン作業が完了します。

パッケージ品目

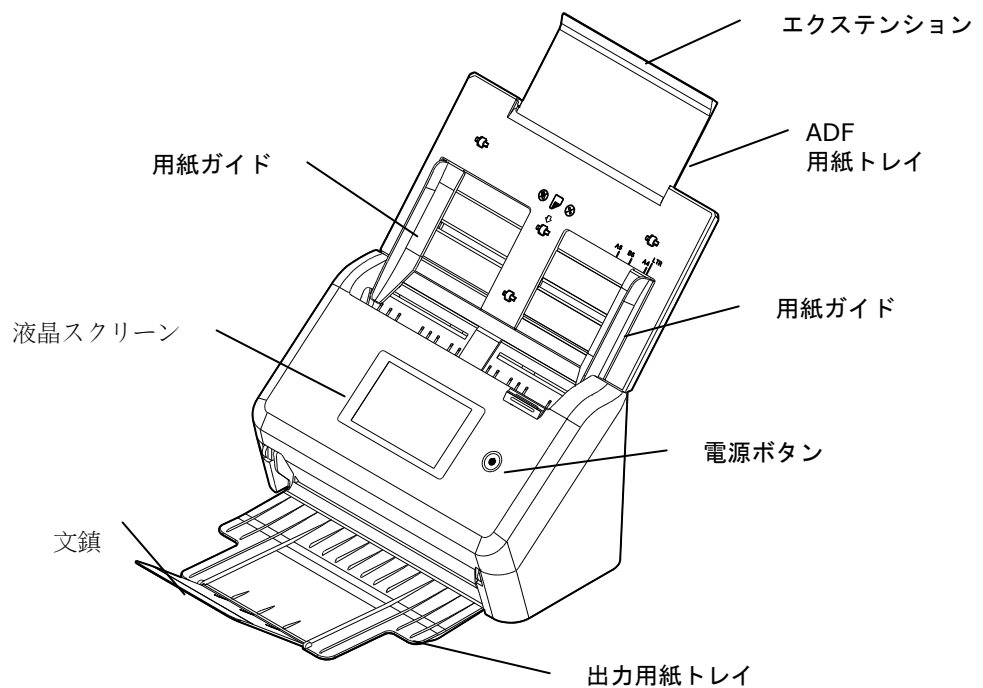


1. メインユニット
2. **ADF**用紙トレイ
3. **Ethernet**ケーブル
4. **CD** (ソフトウェア) / **クイック ガイド**
5. **USB**ケーブル
6. **電源アダプタ** / **電源コード**

ご注意：

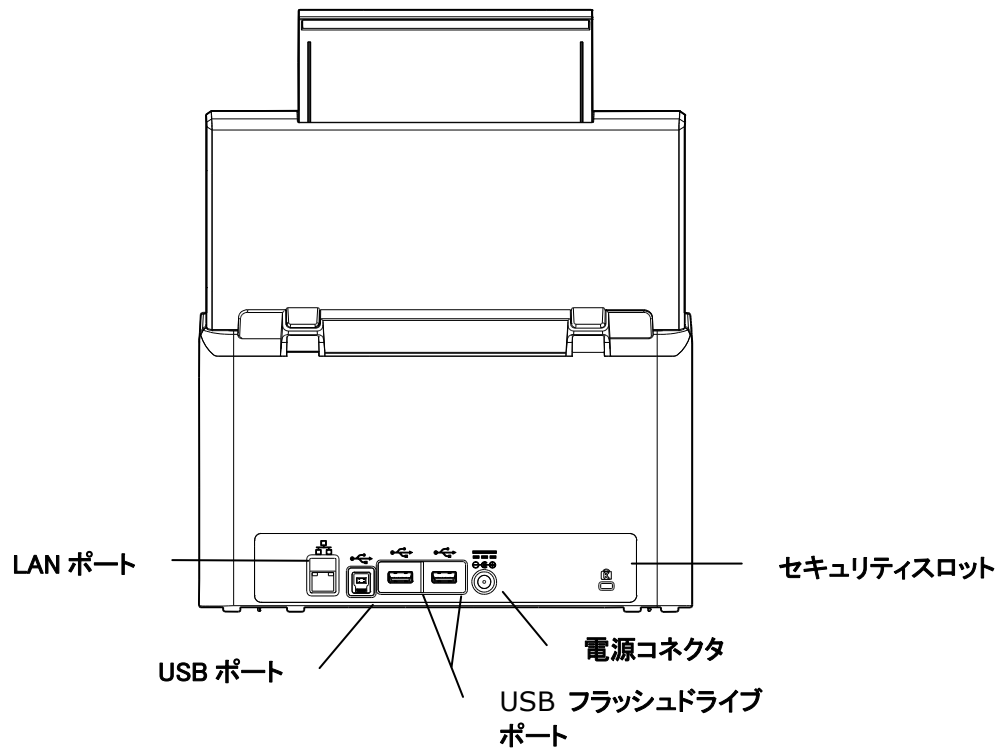
1. 当装置に同梱のACアダプタDA-48M24 (APD)/ ADS-65LSI-24-3 24048E (HONOR)のみをご使用ください。のみをご使用ください。他のACアダプタの使用は装置の故障の原因となり、また保証事項が無効となります。
2. パッケージを丁寧に開梱し、チェックリストに従って同梱物をチェックしてください。欠品や故障がある場合は、直ちに販売店に御連絡ください。
3. 特別支援サービスを受けるには、www.avision.comにアクセスしてあなたのAvision製品を登録してください。

前面図



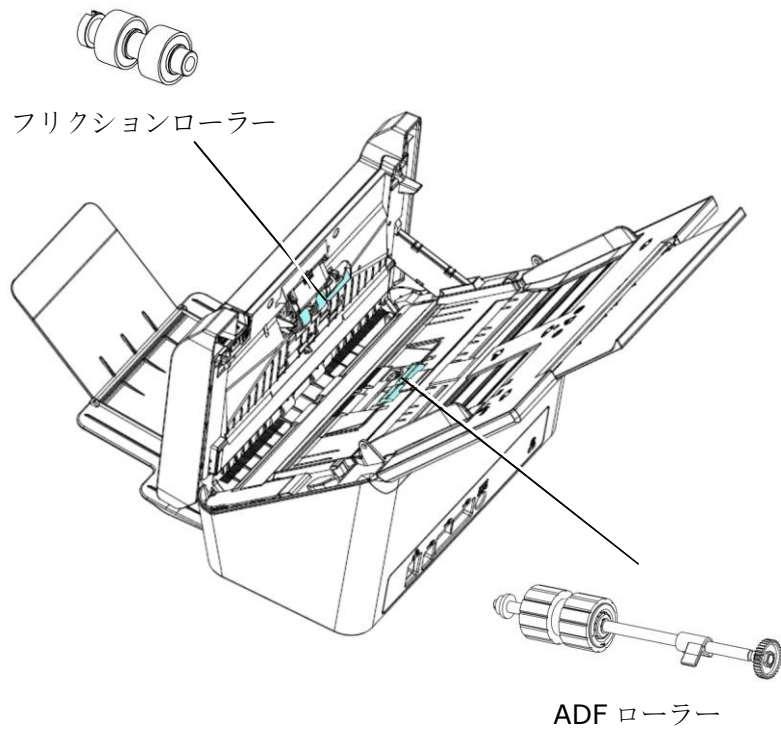
部品名	機能
エクステンション	引っ張り出し、スキャンするドキュメントのサイズに合わせて調整できます。
ADF 用紙トレイ	ドキュメントをスキャンするとき、この部分にドキュメントを載せます。
用紙ガイド	スキャンされるページが斜めにならないように、ドキュメントの幅に合わせて調整します。
操作パネル	液晶画面： 液晶タッチパネルを介してスキャナを操作します。 電源ボタン： 電源ボタンを押して、電源を入れます。
出力トレイ	開けて、スキャン後のドキュメントを回収します。
エクステンション	引っ張り出します。ドキュメントが ADF からトレイに取り出されます。
文鎮	出力用紙を押さえるために使います。
用紙ストッパー	ドキュメントがバラバラにならないように、ドキュメントの長さに合わせて調整します。

背面図



部品名	機能
LANポート	LANケーブルを使ってネットワークにスキャナを接続します。
USBポート	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属のUSBケーブルを使ってコンピュータに接続すれば、通常のスキャナとして本デバイスを利用できます。 ● 必要に応じて、付属のUSBケーブルを使ってコンピュータに接続し、ファームウェアをダウンロードします。
USBフラッシュドライブポート	USBフラッシュドライブはこのポートに接続します。
電源コネクタ	ACアダプターをスキャナに接続します。
Kensingtonセキュリティスロット	ロックを取り付けてスキャナを保護します。

取り外し可能部品



インストール前の確認リスト

「スキャンして電子メール」および「スキャンしてネットワーク」機能を実行するには、本製品をお使いのネットワーク上に正しくセットアップする必要があります。本製品をご利用いただく前に、電子メールおよびファイリング機能用にネットワーク上に正しくセットアップしてください。以下のネットワークパラメータを設定する必要があります。

1.DHCP Enable :	
2.IP アドレス :	. . .
3.サブネットマスク :	. . .
4.ゲートウェイ IP :	. . .
5.DNS サーバー :	. . .
6.WINS サーバー :	. . .
7.SMTP サーバー :	
8.SMTP ポート :	
9.LDAP サーバー :	. . .
10.LDAP ポート :	

内容の説明 :

1.*DHCP Enable :	Yes (はい) を選択すると、IP/サブネット/ゲートウェイ/DNS サーバー/WINS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得します。
2.*IP アドレス :	ネットワーク管理者または DHCP サーバーが機器に割り当てた、インターネットプロトコル (IP) アドレスです。
3.サブネットマスク :	ネットワーク管理者または DHCP サーバーによって割り当てられた、ネットマスクのアドレスです。
4.ゲートウェイ IP :	ネットワーク管理者または DHCP サーバーによって割り当てられた、ゲートウェイ IP のアドレスです。
5.*DNS サーバー :	ネットワーク管理者によって割り当てられた、DNS サーバーの IP アドレスです。
6.*WINS サーバー :	ネットワーク管理者によって割り当てられた、WINS サーバーの IP アドレスです。
7.*SMTP サーバー :	ネットワーク管理者によって割り当てられた、SMTP メールサーバーの IP アドレスです。
8.SMTP ポート :	SMTP メールサーバーのポート番号です。
9.*LDAP サーバー :	LDAP サーバーの IP アドレスです。
10.LDAP ポート :	LDAP サーバーのポート番号です。

ご注意：

- 1. DHCP サーバー：** DHCP (動的ホスト構成プロトコル)を使用すると、ネットワークに接続する度にホストに固有の IP アドレスが自動的に割り当てられるため、ネットワーク管理者にとって IP アドレス管理が簡単になります。ネットワークで DHCP サーバーを利用できる場合、TCP/IP やサブネットマスク、ゲートウェイ IP、DNS 情報を入力する必要はありません。これらの情報は、自動的に本製品に提供されます。
- 2. IP アドレス：** IP (インターネット・プロトコル)アドレスは、ホストの IP ネットワークへの接続を一意に識別します。システム管理者またはネットワーク設計者が IP アドレスを割り当てます。IP アドレスは 2 つの部分から構成されています。ネットワークを識別する部分とノードを識別する部分です。通常 IP アドレスは、4 つの数字をピリオドで区切った形式で書かれます。各数字は 0 から 255 の値になります。例えば、10.1.30.186 は IP アドレスである可能性があります。
- 3. SMTP：** 簡易メール転送プロトコル(Simple Mail Transfer Protocol)の略です。インターネットで電子メールを受送信するための、主要な通信プロトコルです。
- 4. DNS：** ドメイン名システム(Domain Name System)の略です。DNS サーバーは IP アドレスではなく名前でホストを識別します。ネットワークで DNS サーバーを利用できる場合、IP アドレスの数値を入力する代わりに、ドメイン名を入力することができます。
- 5. WINS：** Windows インターネットネームサービス(Windows Internet Naming Service)の略です。WINS は、Windows ネットワークのコンピュータ名 (NetBIOS 名とも呼ばれます) からインターネット IP アドレスを解決します。ネットワーク上の Windows コンピュータを見分けて、お互いに通信することが容易になります。
- 6. LDAP：** ライトウェイト・ディレクトリアクセス・プロトコル(Lightweight Directory Access Protocol)の略です。LDAP を使うと、外部ネットワークに接続されたデバイスからディレクトリやアドレス帳に直接アクセスできるようになり、ドキュメントの配信が容易になります。

2 機器をインストールする

本章は、特に本製品を管理する担当者を対象としています。機器をインストールする前に、管理者が本章に目を通しておくことを推奨します。

最小構成要件

本製品をネットワークスキャナとして使用するには、以下の構成が必要です。

本製品から電子メールを送信:

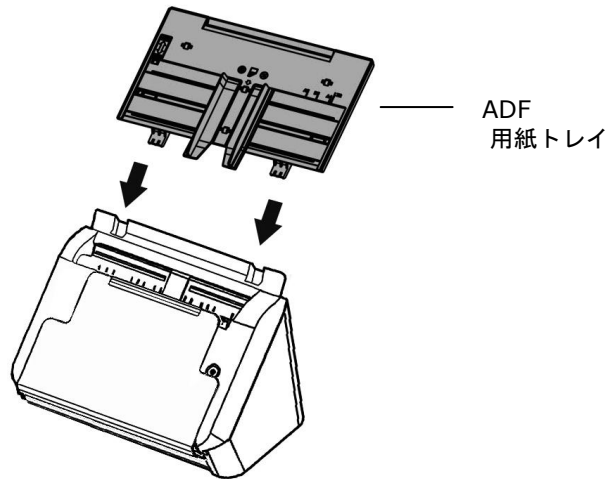
- TCP/IP ネットワーク
- メールサーバー

イントラネット経由でドキュメントを保管:

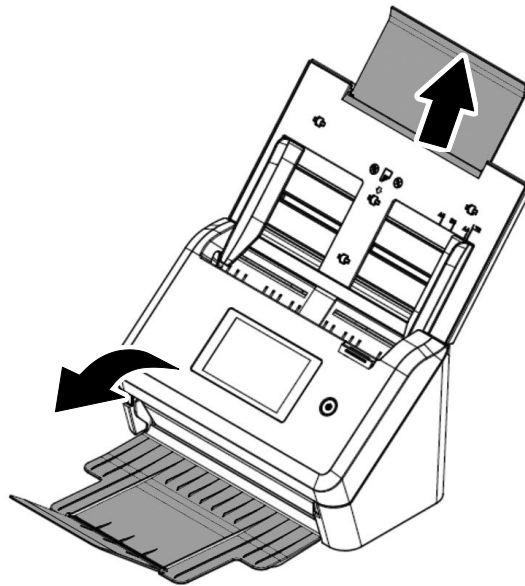
- FTP/FTPS または SMB プロトコル環境

ADF 用紙トレイを設置する

1. ADF 用紙トレイを手を持ち、図のように、スキャナ上部にある穴に 2 つのピンを挿入します。



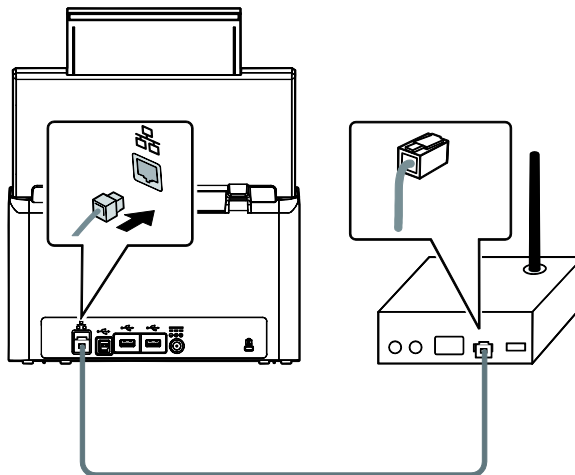
2. 拡張部分をドキュメントの長さに合わせて引き出します。
3. 出カトレイを引っ張り出して、用紙が落ちないように用紙ストッパーを持ち上げます。



ケーブルを接続する

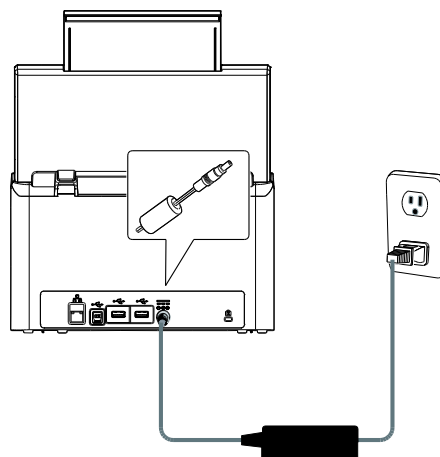
イーサネットケーブルを接続する

1. イーサネット LAN ケーブルの一端をイーサネットハブの空きポートに接続します。
2. もう一方の端を本製品の裏側にある LAN ポートに接続します。



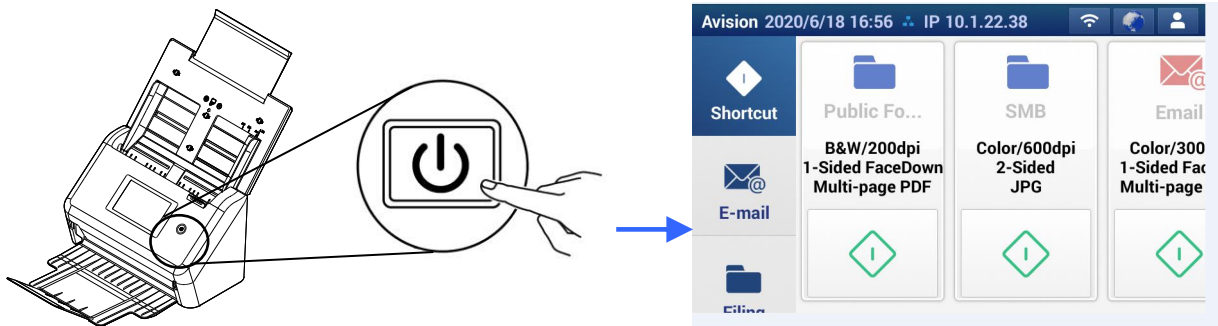
電源を接続して本機器をオンにする

1. 電力ケーブルの一端を本製品の電源コンセントに繋がます。



2. もう一方の端子をコンセントに差し込みます。

3. [Power(電源)] ボタンを押して本製品の電源をオンにします。電源 LED が緑色に点灯し、図のように液晶タッチパネルにホーム画面が表示されます。

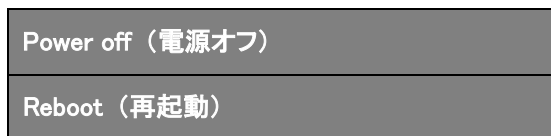


注:

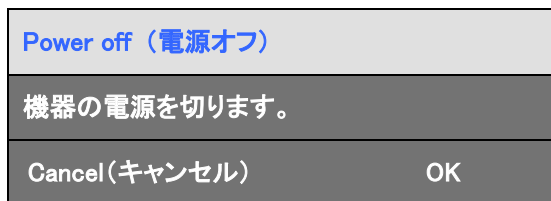
長時間に渡り本製品を使用しない場合は、電源ボタンを 3 秒間押して電源をオフにしてください。その後本製品のコンセントを抜いてください。

機器の電源を切る

1. Power(電源)ボタンを最低でも 2 秒間押します。確認ダイアログボックスが表示されます。



2. [Power off (電源オフ)]をタップして機器の電源を切るか、Reboot(再起動)を選択して機器を再起動します。




3. [OK]をタップして機器の電源をオフにします。

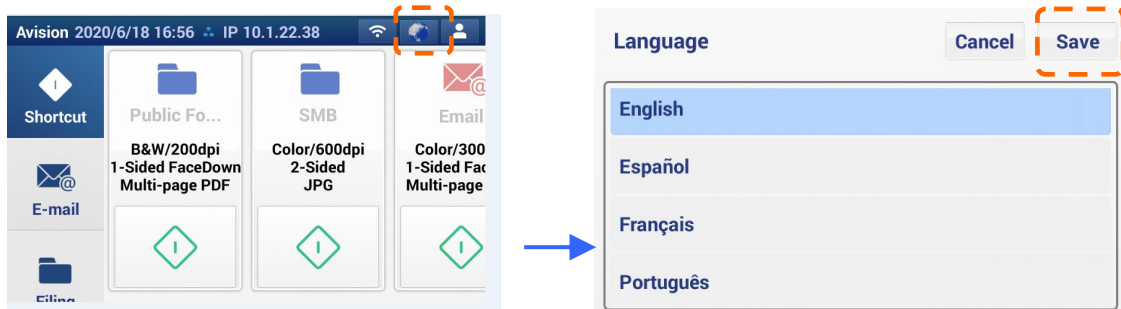
言語を選択する

本製品では、様々な言語が液晶タッチパネルに提供されています。液晶タッチパネルに表示する言語を選択してください。

1. [Power(電源)] ボタンを押して本製品の電源をオンにします。図のように、液晶タッチパネルにホーム画面が表示されます。



2. 液晶タッチパネル上で 、希望する言語を選択します。選択肢: 英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、スペイン語、ポルトガル語、ヘブライ語。

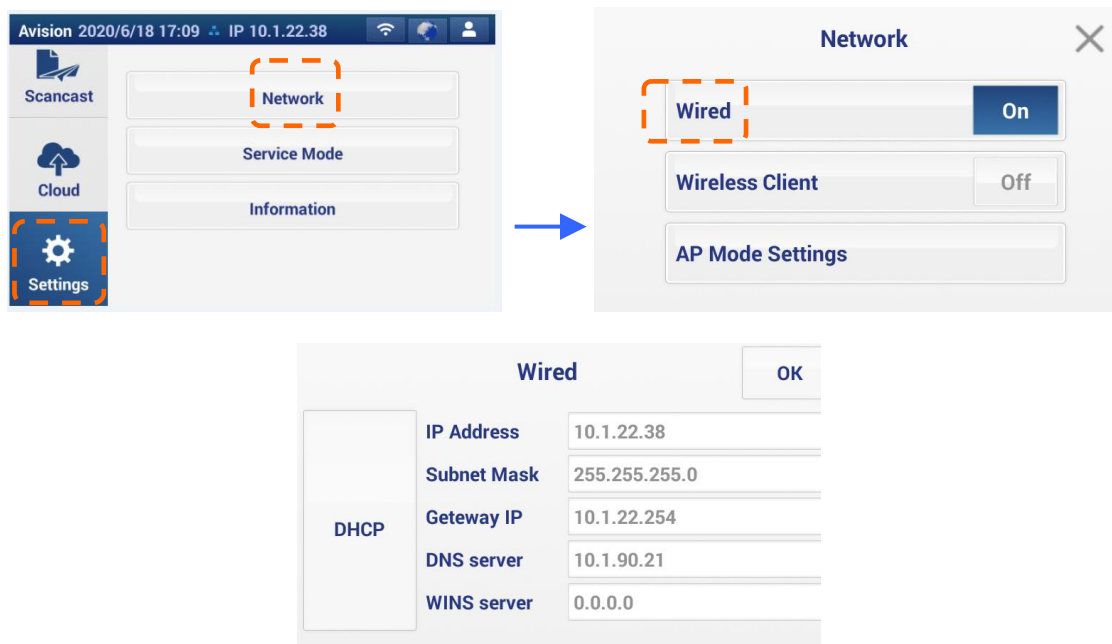


3. [Save(保存)]をタップして、設定を保存します。

本製品の TCP/IP アドレスを指定する

ネットワーク上の他のデバイスに本製品を認識させるには、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。以下の手順に従って IP アドレスを設定してください。

1. 液晶タッチパネル上のホーム画面で[Settings(設定)]> [Network(ネットワーク)]> [Wired(有線)]の順にタップして、本製品の IP アドレスを設定します。



- DHCPをオンにする場合は[DHCP]にチェックを入れます。
- 静的IPアドレスを指定する場合は[Static IP(静的IP)]にチェックを入れます。[Static IP(静的IP)]を選択した場合は、IP Address(IPアドレス)/Subnet Mask(サブネットマスク)/Gateway IP(ゲートウェイIP)/DNS Server(DNSサーバー)欄をそれぞれタップしてソフトキーボードを表示し、適切な値を入力します。

2. [Save(保存)]をタップして設定を保存し、前の画面に戻ります。

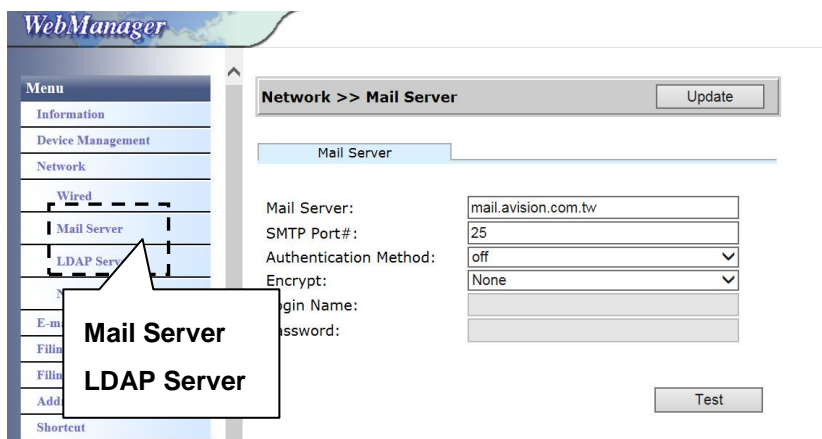
注:

- システム管理者が DHCP を選択した場合、TCP/IP、ゲートウェイ、サブネットマスクおよび DNS サーバーの IP アドレスは自動的に割り当てられます。
- 初めて本製品をインストールする場合は、管理者が規定のシステム設定を残しておくことを推奨します。操作や機能に慣れた後に、後ほど設定をカスタマイズすることができます。

本製品のメールサーバーを指定する

電子メールでスキャンした画像を受信者に送信するためには、最初に本製品のメールサーバー情報を指定する必要があります。以下の手順に従ってメールサーバーを設定してください。


1. ブラウザを開いて、URL 欄に本製品の IP アドレスを入力して、本製品に組み込まれたウェブページを表示します。
ウェブページの全ての情報にアクセスするには、デフォルトのユーザー名とパスワード[admin]でログインしてください。パスワードは、後ほどウェブページで変更することができます。
2. 本製品のウェブページから[**Network**] (ネットワーク) > [**Mail server**] (メールサーバー) / [**LDAP server**] オプションを選び、 [**Mail server**] (メールサーバー) / [**LDAP server**] ページを表示します。



- **Mail Server**(メールサーバー)オプションに、メールサーバーの IP アドレスとポート番号を入力します。
 - **Authentication Method**(認証方法)オプションを、[**ON**(オン)]をタップして有効、または [**OFF**(オフ)]をタップして無効にします。
 - **Login Name**(ログイン名)/**Password**(パスワード)/**Mail Server**(メールサーバー)/**Port#**(ポート番号)欄をそれぞれタップしてソフトキーボードを表示し、適切な値を入力します。
3. メールサーバー情報を入力します。必要に応じて認証情報も入力します。(例として以下の画面をご覧ください。)

電子メールサーバー設定	
メールサーバー	SMTP サーバーの IP アドレスを入力します。
SMTP ポート番号	SMTP サーバーのポート番号を入力します。 * 25
デバイス電子メールアドレス	デバイスの電子メールアドレスを入力します。電子メール設定内で[From] (差出人) アドレスがまだ設定されていない場合、このアドレスは送信メールの[From] (差出人) アドレスとして表示されます。
認証方法	電子メールの認証方法を入力します。 選択肢: *なし、SMTP、POP3
暗号化	SMTP サーバーに送る電子メールの暗号化方式を選択します。 選択肢: *なし、STARTTLS、SSL/TLS
ログイン名	SMTP 認証用のログイン名を入力します。
パスワード	SMTP 認証用のパスワードを入力します。
LDAP サーバー設定	
LDAP サーバーの IP または URL	LDAP サーバーの IP アドレスまたは URL を入力します。
ポート番号	LDAP サーバーのポート番号を入力します。 * 389
ログイン名	LDAP サーバーのログイン名を入力します。 ご注意: 1. Microsoft Active Directory の場合、サーバーによってはフルログイン名に「ドメイン名」を追加する必要があります。例えば、ドメイン名が「company」でユーザー名が「administrator」の場合、フルログイン名は「company¥administrator」になります。 2. LDAP サーバーが「匿名ログイン」を要求している場合は、「anonymous (匿名)」とは入力せずに、ログイン名とパスワードを空欄にしておきます。
パスワード	LDAP サーバーのパスワードを入力します。
ルート検索	ベース DN を入力します。ベース DN (識別名) は検索の開始点を特定します。DN は LDAP ツリーで表示するレコードを指します。LDAP ディレクトリツリーのトップ層がベースとなり、これは「ベース DN」と呼ばれます。例えば、ベースを dc=com、dc=net に指定して、トップから下に進む検索をすることができます。
属性検索	cn
電子メールアドレスの取得先	メール
タイムアウト (秒)	LDAP サーバーの接続に指定された時間です。
認証タイプ	選択肢: Anonymous (匿名)、Simple

ご注意：SMTP サーバーおよび LDAP サーバーの情報については、ネットワーク管理者に確認してください。

External address book	
LDAP Server IP or URL:	10.1.90.115
Port#:	389
Login Name:	avision\av00365
Password:	●●●●
Search Root:	dc=avision,dc=com,dc=tw
Search attribute:	cn
Obtain e-mail address from:	mail
Timeout[seconds]:	5
Authentication Type:	SIMPLE 

4. [Update] (更新) をクリックして設定を保存し、ページを閉じます。

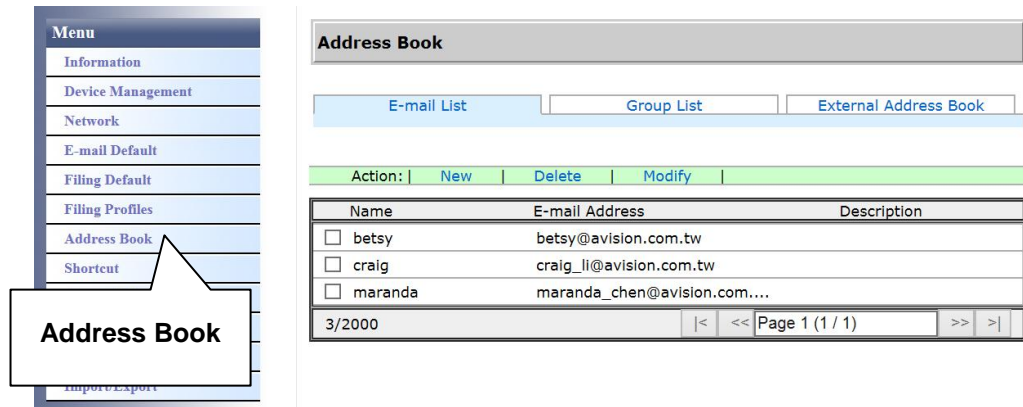
ご注意：

1. ログイン名は大文字と小文字を区別します。また、最大で **32** 個の数字または文字までです。
2. パスワードは大文字と小文字を区別します。また、最大で **16** 個の文字までです。
3. **LDAP 検索：**
 - 本製品は、LDAP サーバーへのログインに **2** 種類の認証タイプをサポートしています。Simple と匿名です。
 - **1** 回の検索で最大 **100** 件の一致結果が可能です。
 - 「cn」や「mail」などの属性は検索欄に事前に定義されています。このため、検索文字列が「m」の場合、LDAP 検索エンジンは文字「m」が含まれた名前または電子メールアドレスを検索します。例えば返される一致結果には「mary、mary@abc.com」あるいは「jack、jack@abc.com」などがあります。

アドレス帳を作成する

電子メールアドレスの入力を省いて時間を節約するためには、アドレス帳を作成してプロセスを早めることができます。

1. 製品の Web ページで、[Address Book(アドレス帳)]オプションを選択して、[アドレスブック]ページを表示します。



2. **E-mail List**] (電子メールリスト) タブで、[**New**] (新規) を選択して [**Add a New E-mail Address**] (新しい電子メールアドレスの追加) ページを表示します。
[**Save(保存)**] をタップして設定を保存し、画面を閉じます。

Address Book>> New E-mail Addresses Submit Quit

Name:

E-mail Address:

Description:

3. 電子メールアドレスとその説明を入力します。
4. アドレスの情報を変更します。[**Submit**] (送信) をクリックして設定を保存するか、[**Quit**] (中止) をクリックして設定を保存せずにページを閉じます。

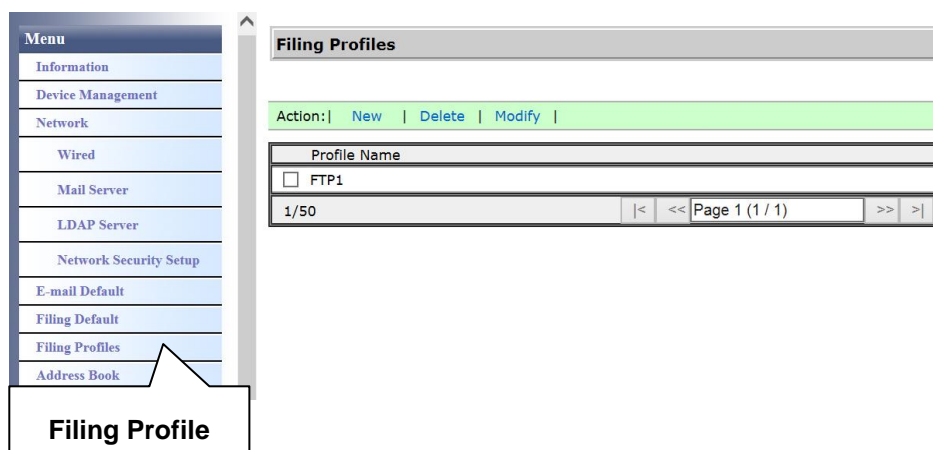
ご注意：

アドレス帳には最大 2000 個の電子メールアドレスを入力できます。

ファイリングプロファイルを作成する

スキャンした画像をネットワークフォルダに保管するためには、まず最初に、FTP または SMB を含めた、画像を保存するネットワークフォルダをいくつか設定する必要があります。

1. 製品の Web ページで、[Filing Profiles (ファイリングフォルダ)]>オプションを選択して、[Filing Profiles (ファイリングフォルダ)]>ページを表示します。





2. [New] (新規) を選択して [Add a New Filing Profile] (新しいファイリングプロファイルの追加) ページを表示します。



3. 以下の表を参照して、必ファイリングフォルダを作成します。設定の作成に成功したら、[Save (保存)]をタップします。

アイテム	説明
Profile Name(フォルダ名)	フォルダ名を入力します。
Scan to (スキャン保存先)	[Scan to (スキャン保存先)]の場所を選択します。 Choice(選択肢)には*FTP、FTPS、SMB、USB、パブリックフォルダがあります。 USB:スキャンした画像を挿入した USB フラッシュドライブに保存します。 パブリックフォルダ:スキャンした画像を本製品のメモリに保存して、本製品に組み込まれたウェブページから画像にアクセスします。
Target URL	FTP/FTPS または SMB を選択した場合は、右の欄に URL アドレスを入力します。ディレクトリパスにはドメイン名または IP アドレスのいずれかを入力できます。(eg. 10.2.32.15/test)
Port #(ポート番号)	[Scan to(スキャン保存先)]サーバーのポート番号を入力します。
Passive Mode(パッシブモード)	FTP の接続モードを設定します。選択肢:ON(オン)/OFF(オフ)(規定値:オフ)。
Login Name(ログイン名)	指定したフォルダで使用するログイン名を入力します。
Password(パスワード)	指定したフォルダで使用するパスワードを入力します。
File Name(ファイル名)	デフォルトファイル名を入力します。
Output Color(出力カラー)	スキャンした画像に使うデフォルト出力カラーを選択します。 Choice(選択肢):Color(カラー)、Gray(グレー)、B&W(白黒)
Document Side(ドキュメント面)	スキャンするデフォルト面を選択します。 Choice(選択肢):*1-Sided Face Down(片面裏向き)、1-Sided Face Up(片面表向き)、2-Sided(両面)
File Format(ファイル形式)	スキャンした画像に使うデフォルトのファイル形式を選択します。 Choice(選択肢):JPEG, TIFF (One-Page TIFF), M-TIFF (Multi-Page TIFF), PDF (One-Page PDF), *M-PDF (Multi-Page PDF), PDF/A(M-PDF), PNG

<p>Resolution(解像度)</p>	<p>解像度はピクセル・パー・インチ(ppi)で測定されます(1インチあたりのドット数である「dpi」で表す場合もあります)。解像度が高いとスキャン画像がより詳細になり、スキャンにかかる時間も増え、一般的にファイルのサイズも大きくなります。スキャンでOCR(光学式文字認識)を実行する時には、アジア言語を除くほとんどの言語の場合は300dpiを使用することを推奨します。アジア言語の場合は、400dpiを推奨します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>解像度: 150 dpi</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>解像度: 200 dpi</p> </div> </div> <p>注: duplex(両面)用紙をカラーモードでスキャンした場合、最大解像度は400dpiです。</p> <p>Choice(選択肢): 100 dpi, 150 dpi, *200 dpi, 300 dpi, 400 dpi, 600 dpi</p>
<p>* 工場出荷時の設定</p>	

4. **[Submit]** (送信) をクリックして設定を保存するか、**[Quit]** (中止) をクリックして設定を保存せずにページを閉じます。

3 操作

ADF 使用時の注意

ADF ご使用の前に、文書が下記の規格を満たしていることをご確認ください。

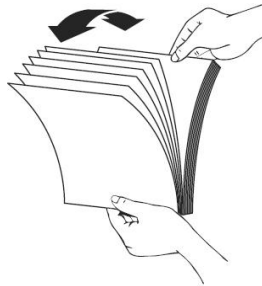
- 文書サイズは 50 x 50 mm (2 x 2 in.) インチから 216 x 356 mm (8.5 x 14 in.)。
- 文書の重量は 50 ~413 g/m² (12 to 110 lb.) ポンドです。
- ID カード厚は 1.25 mm (0.05 in.) までです。
- プラスチックカード：ISO7810 ID-1 タイプに準拠
- 文書は正方形または長方形で、状況が良好であるもの(破れやすかったりや擦りきれたりしていない)。
- 文書はめくれ、皺、破れ、乾ききっていないインクまたはパンチ穴などが無いものを御使用ください。
- 文書にはホチキス針、ゼムクリップ、付箋紙などが付いていないものを御使用ください。

ADF ペーパートレイへの文書のセット

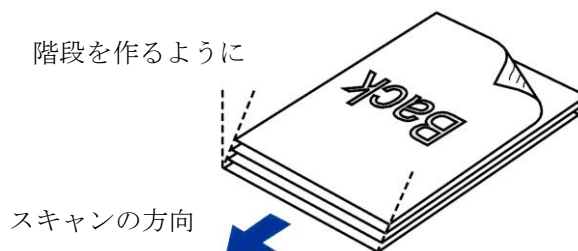
文書をさばく

複数の紙が送られることや紙詰まりを回避するには、原稿をパラパラめくり、上部の端を揃えてからスキャナに載せます。

1. 原稿の両端を持ち、数回パラパラめくります。

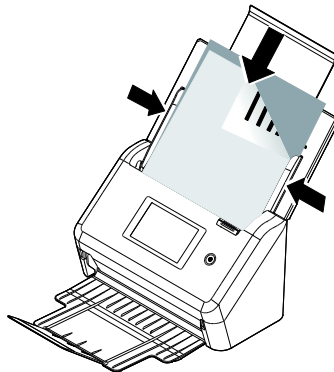


2. 原稿を 90 度回転させ、同じようにパラパラめくります。
3. 階段を作るような感じで原稿の端を揃えます。



ドキュメントを送る

1. 文書は表面を下に向けて(フェイスダウン)ADFペーパートレイにセットします。

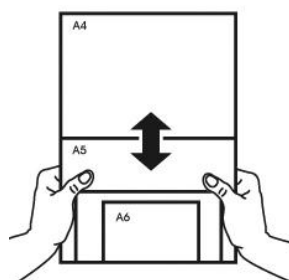


2. 文書の両側をペーパーガイドに合わせます。

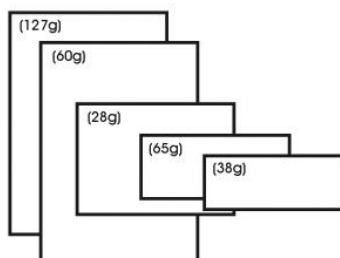
カードの読み方

大きさと重さが異なる書類をまとめてスキャンするときは、画像が斜めになったり、用紙が詰まったりしないように次のガイドラインに従ってください。

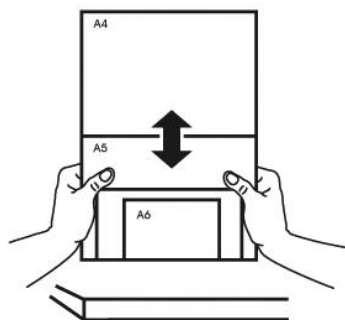
1. 最初に文書の**前端**を揃えます。このとき、大きい順に用紙を重ねます。



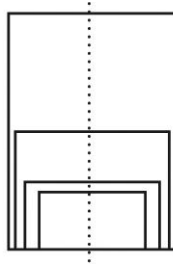
2. 2つのページの大きさが同じで重さが異なる場合、重いものから順にページを揃えます。



3. 束になった用紙の底を机の上で軽く叩き、文書の**端**を揃えます。



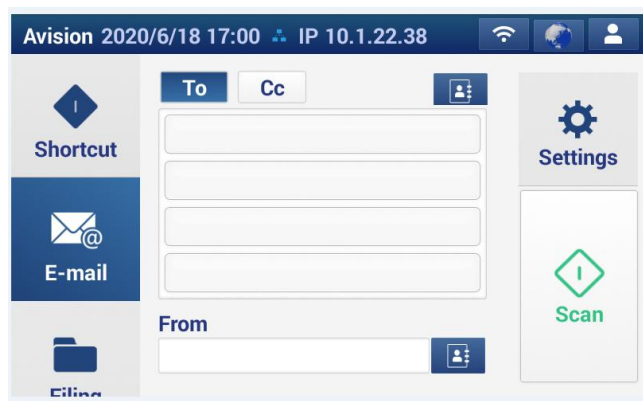
4. 挿入口の中心に用紙を置きます。最も大きいページの端が用紙ガイドに軽く触れるようにします。




スキャンして、ドキュメントを電子メールアドレスに送信する


1. 最初のページを裏向きにして、ページの上部がフィーダーに面するように、ADF に用紙を差込みます。

2. ホーム画面の E-mail(電子メール)  ボタンを押します。右側に、次の E-mail(電子メール)メイン画面が表示されます。



3. 電子メールアドレスを入力します。
 - 「To(宛先)」欄(中央にある空白のボックス)をタッチして、「ソフトキーボード」を表示し、電子メールアドレスを入力します。2 つ目の電子メールを入力するには、2 番目の欄をタップします。
 - 電子メールアドレスを入力した後に[Delete(削除)]ボタンをタッチすれば、電子メールアドレスを削除できます。
4. 必要に応じて、CC および BCC アドレスも選択して入力します。ソフトキーボードを使ってメールの件名を入力します。入力しない場合、受信者のメッセージには「デフォルト件名 (Default Subject)」と表示されます。
5. [設定](Settings)をタップします。ドキュメントの面、出力カラー、ファイル形式が合っているか確認します。違う場合は、設定を変更してニーズに合わせます。
6. [Scan]ボタン() をタップしてスキャンを開始します。
7. スキャンが始まり。瞬時に、スキャン画像が電子メールアドレスに挿入されます。

設定の説明

基本	
アイテム	説明
File Format(ファイル形式)	<p>スキャンした画像のファイル形式を選択します。</p> <p>Choice(選択肢): JPEG, TIFF (One-Page TIFF), M-TIFF (Multi-Page TIFF), PDF (One-Page PDF), *M-PDF (Multi-Page PDF), PDF/A(M-PDF), PNG</p> <hr/> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ MPDF または MTIFF ファイル形式では、ページが複数あるドキュメントをスキャンして、1つのファイルに変換することができます。 ■ PDF ファイル形式では、1枚の画像ページを1つのファイルに保存できます。 ■ JPEG ファイル形式は、カラーとグレイ画像にのみ使用できます。 ■ TIFF ファイル形式は白黒画像のみに使用できます。
Resolution(解像度)	<p>解像度はピクセル・パー・インチ(ppi)で測定されます(1インチあたりのドット数である「dpi」で表す場合もあります)。解像度が高いとスキャン画像がより詳細になり、スキャンにかかる時間も増え、一般的にファイルのサイズも大きくなります。スキャンで OCR(光学式文字認識)を実行する時には、アジア言語を除くほとんどの言語の場合は 300dpi を使用することを推奨します。アジア言語の場合は、400 dpi を推奨します。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>注: duplex(両面)用紙をカラーモードでスキャンした場合、最大解像度は 400dpi です。</p> <p>Choice(選択肢): 100 dpi, 150 dpi, *200 dpi, 300 dpi, 400 dpi, 600 dpi</p>
用紙サイズ	<p>ドキュメントサイズを選択してください: 選択: 自動、* A4、レター、リーガル、4x6、5x7。(*: 工場出荷時のデフォルト)</p>
Document Side(ドキュメント面)	<p>Choice(選択肢): *1-Sided Face Down(片面裏向き)、1-Sided Face Up(片面表向き)、2-Sided(両面)</p> <p>1-Sided Face Down(片面裏向き): ドキュメントの片面のみをスキャンする場合には選びます。必ずスキャンする面がドキュメントフィーダーで下を向くようにしてください。</p> <p>1-Sided Face Up(片面表向き): ドキュメントの片面のみをスキャンする場合には選びます。必ずスキャンする面がドキュメントフィーダーで上を向くようにしてください。</p> <p>2-Sided(両面): オリジナル用紙が両面ドキュメントの場合、2-Sided(両面)を選択してドキュメントの両面をスキャンします。</p>

ドキュメントの種類	ドキュメントの種類を選択します。 選択肢：*Mixed (混合)、Photo (写真)、Text (テキスト) テキスト： テキストのみが含まれるドキュメントに適しています。 写真： 写真が含まれるドキュメントに適しています。 混合： 写真またはテキストが含まれる一般的なビジネス文書に適しています。
Output Color (出力カラー)	スキャンした画像に使う出力カラーを選択します。 Choice (選択肢)：*Color (カラー)、Gray (グレー)、B&W (白黒) Color (カラー)： カラーのオリジナル文書でカラー画像をスキャンする場合は Color (カラー) を選択します。 Gray (グレー)： オリジナル文書にグレーの色合いが含まれている場合は Gray (グレー) を選択します。 オリジナル文書にテキスト、鉛筆やペンによるスケッチのみが含まれている場合は B&W (白黒) を選択します。
Batch (バッチ)	バッチスキャンを有効にするかどうかを選択します。有効にすると、スキャンが終了した後、スキャンを続行するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。はいの場合は、ドキュメントを読み込んで別のドキュメントセットをスキャンします。 選択：オン/ *オフ
* 工場出荷時の設定	

E-mail Options	
アイテム	説明
From(送信元)	本製品からの送信メールに使う「From(送信元)」アドレスを入力します。電子メールを送信できない場合には、このアドレスに通知が返されます。本デバイスの電子メールアカウントを管理者がメールサーバー設定でまだ設定していない場合は、ここに電子メールアドレスを入力できます。本製品からのメールを受信した時の、電子メールの「From(送信元)」アドレスです。
Reply to(返信用)	「From(送信元)」アドレスと異なる返信用アドレスを指定したい場合には、「Reply to(返信用)」アドレスを入力します。この欄には最大 60 文字を入力できます。アドレスを入力するには、「Reply to(返信用)」欄のいずれかのエリアを押してソフトキーボードを表示し、アドレスを入力します。
Message(メッセージ)	ここにメールのメッセージを入力します。テキストを入力するには、「Message(メッセージ)」欄のいずれかのエリアを押してソフトキーボードを表示し、テキストを入力します。
File Name(ファイル名)	スキャンしたドキュメントの拡張子を含めないファイル名を入力します。この欄に値を入力しなかった場合、システムがデフォルトのファイル名、画像を使用します。#n#Y#M#D#h#m#sを使用すると、時間とともにファイル名が変更されます。(n、Y、M、D、h、m、sはそれぞれシリアル番号、年、月、日、時間、分、秒を表しています。)例えば、ファイル名に「test#n#D」と入力した場合、ファイル名は「test000105」となります。
File Separation(ファイル分割)	各送信メールに添付するファイルのサイズを制限して、SMTP サーバーのサイズ制限を回避します。コンボボックスを使用して、リストから選択します。 Choice(選択肢): 5MB/10M/20M/30MB/* Unlimited(無制限)
* 工場出荷時の設定	

さまざまなメールサーバー用の設定

Scan-to-Email 機能を使用すると、メールサーバーにおいてさまざまな設定の問題が発生し、メールの送信に失敗します。本書は、このような設定の問題を解決することを目的としています。Gmail と Office 365 の場合の設定に関する情報を以下に示します。

Gmail の場合

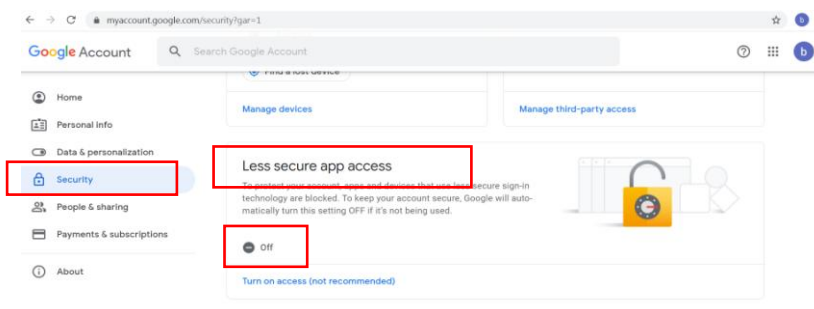
1. Gmail アカウントでの設定

Gmail をメールサーバーとして使用している場合、セキュリティ上の問題により、ログイン時に拒否され、マシンにエラーコード 531534 が表示されます。これを解決するには、次の 2 つの方法があります。1 つは、安全性の低いアプリへのアクセスを使用する方法です。もう 1 つの方法は、2 段階認証プロセスを有効化して、マシン用のアプリパスワードを生成する方法です。

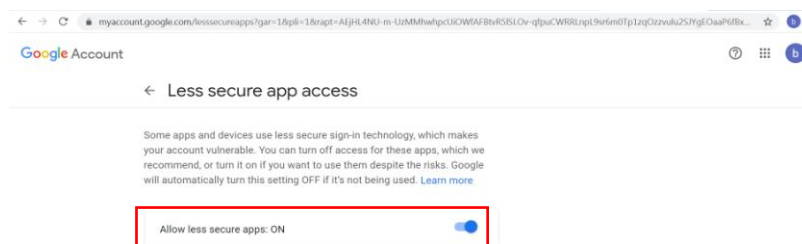
(1)安全性の低いアプリへのアクセス。

まず、テスト用のアカウント testxxx@gmail.com とパスワード (pwdxxx) を適用して、次の設定を指定してください。

(a) Gmail メールボックスにログインし、マイアカウントに入り、[Security](セキュリティ)を選択し、[Less secure app access](安全性の低いアプリへのアクセス)オプションで、[Off](オフ)をクリックしてください。



(b) 図のように、[Allow less secure apps: ON](安全性の低いアプリへのアクセス：オン)をオンに切り替えてください。

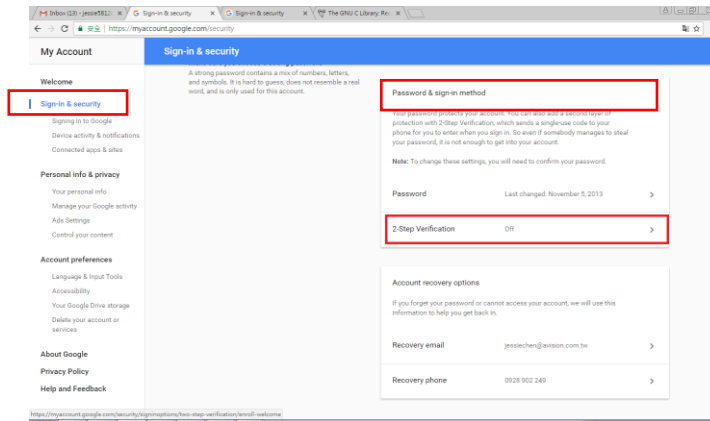


その後、マシンは、Gmail サーバーのログインパスワードを直接使用できるようになります。

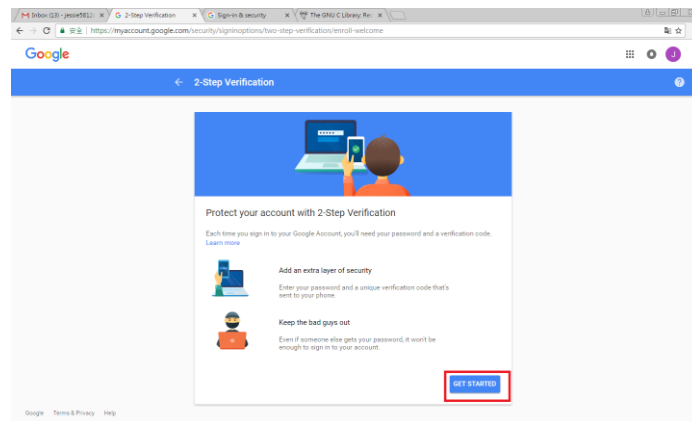
(2) 2段階認証プロセスを有効にして、マシン用のアプリパスワードを生成する。

2段階認証プロセスを有効にする場合は、次の手順を行ってください。

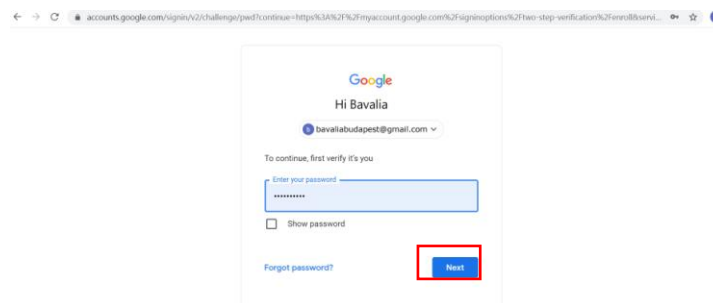
(a) 以下に示すように、[My Account] (マイアカウント)、[Sign-in & security] (サインインとセキュリティ)、[Password & sign-in method] (パスワードとサインイン方法) の順にクリックして、[2-Step verification] (2段階認証プロセス) をオンに切り替えてください。



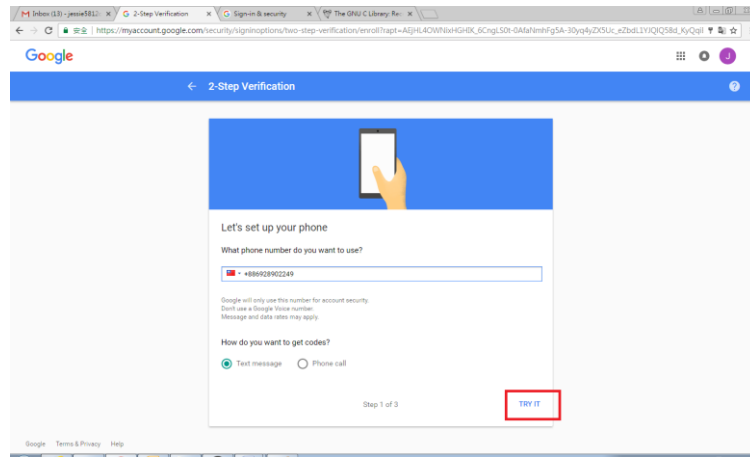
(b) 次のダイアログボックスが表示されたら、[GET STARTED] (使ってみる) をクリックしてください。



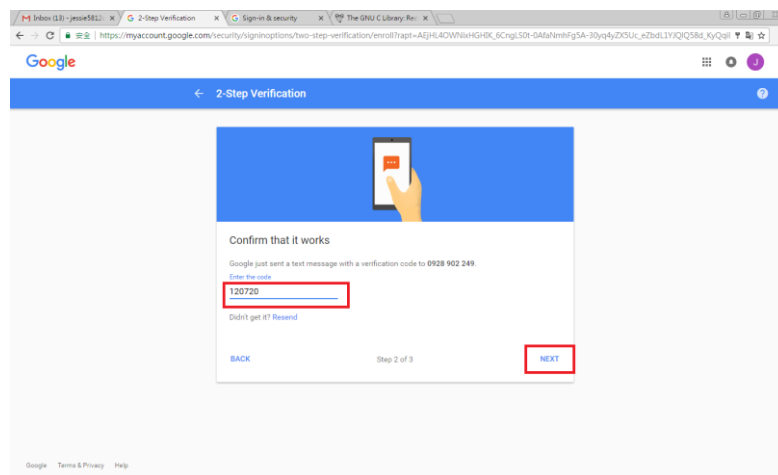
(c) 新しいログイン画面が表示されたら、パスワードを入力して、[Next] (次へ) をクリックしてください。



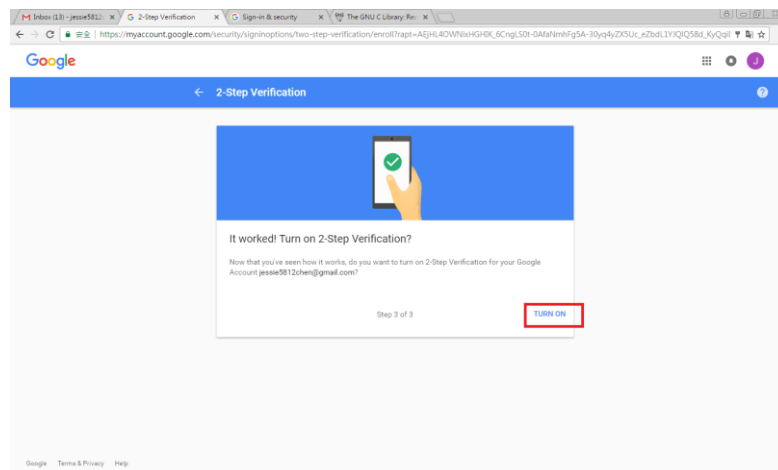
(d) スマートフォンの電話番号を入力し、[TRY IT] (続行) をクリックして、確認コードを取得してください。



(e) スマートフォンのテキストメッセージを確認し、次のダイアログボックスに確認コードを入力し、[Next] (次へ) をクリックしてください。

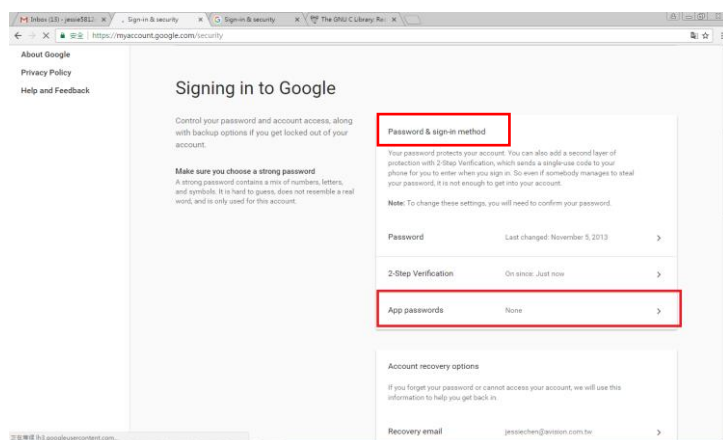


(f) [TURN ON] (有効にする) をクリックして、2段階認証プロセスの設定を完了してください。

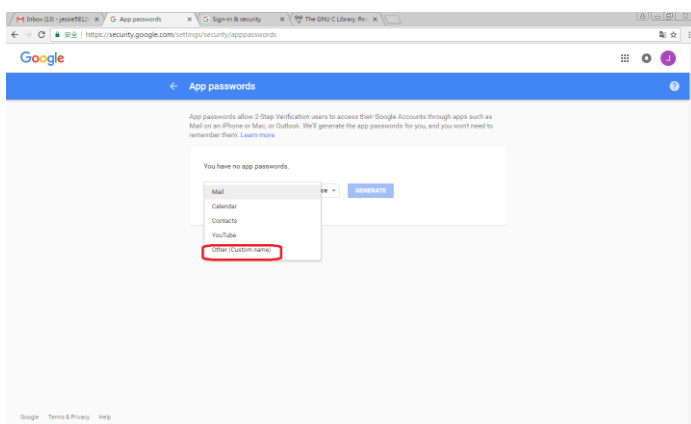


アプリパスワードを生成する場合は、次の手順に従ってください。

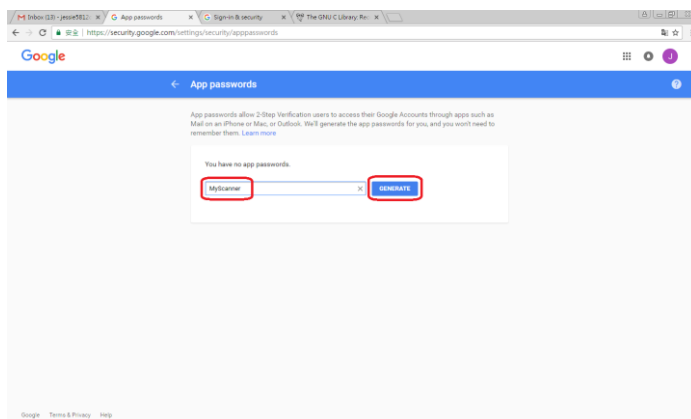
(a) [Signing in to Google] (Google へのサインイン) 画面に戻ると、以下に示すように、[Password & sign-in method] (パスワードとサインイン方法) オプションに[APP passwords] (APP パスワード) が追加されます。赤色ボックスに表示されている[>]をクリックしてください。



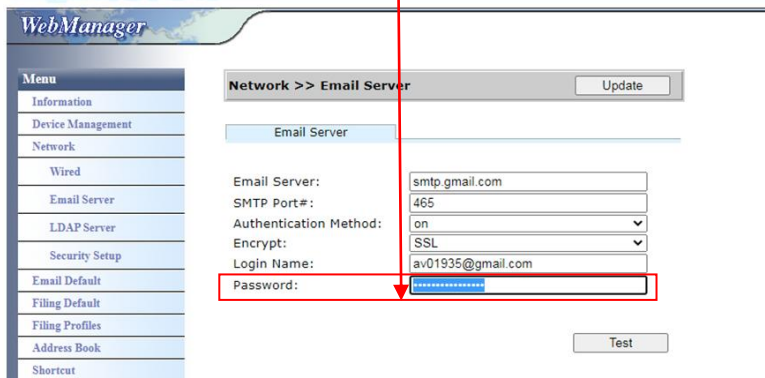
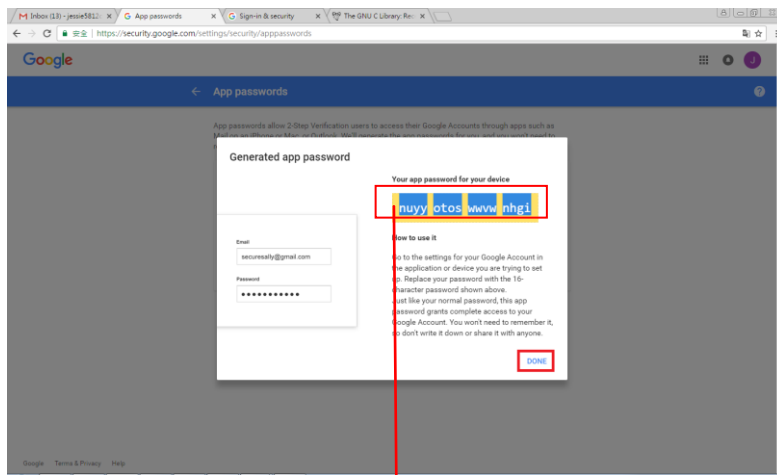
(b) 次の画面で[Other (custom name)] (その他 (カスタム名)) を選択してください。



(c) 出力デバイス-MyScanner で、[GENERATE] (生成) をクリックしてください。

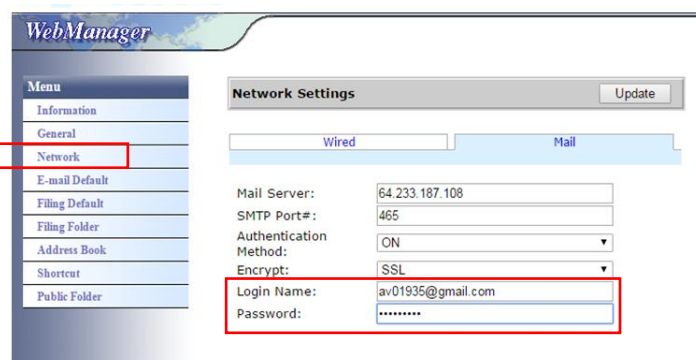


(d) 青色背景の白色テキストが、デバイスのアプリパスワードです。必ずパスワードをコピーしてから、[DONE] (完了) をクリックしてください。マシンのメールサーバー設定で、このパスワードを入力してください。



マシンのWEBページの設定

- ブラウザを開き、URL アドレスにマシンの IP アドレスを入力して、デバイスの埋め込み Web ページを開いてください。
- [Network] (ネットワーク) を選択して [Network Settings] (ネットワーク設定) ページを開き、Gmail のアカウントとパスワードを入力してください。アカウントの後に必ず @gmail.com を追加し、SSL などの暗号化タイプを選択してください。



注：

Gmail は非暗号化接続をサポートしていますが、メールを送信できるのは Gmail ユーザーのみです。設定は次のとおりです。

メールサーバー：aspmx.l.google.com

SMTP ポート番号：25

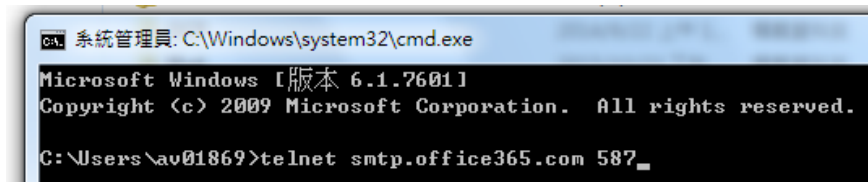
認証方法：オフ

<https://support.google.com/a/answer/176600?hl=zh-Hant>を参照してください

Office 365 の場合

接続ラインが OK かどうかを確認する

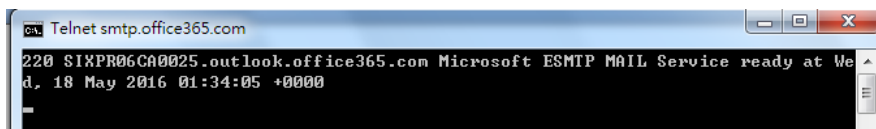
Office 365 を使用する場合は、外部回線を経由して、接続が OK かどうかを確認する必要があります。接続が OK かどうかを確認する方法は次のとおりです。
例として、Option1 メールサーバーを取り上げます。



```
CA> 系統管理員: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [版本 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\au01869>telnet smtp.office365.com 587_
```

成功すると、次の画面が表示されます。



```
CA> Telnet smtp.office365.com
220 $IXPR06CA0025.outlook.office365.com Microsoft ESMTPL MAIL Service ready at We
d, 18 May 2016 01:34:05 +0000
_
```

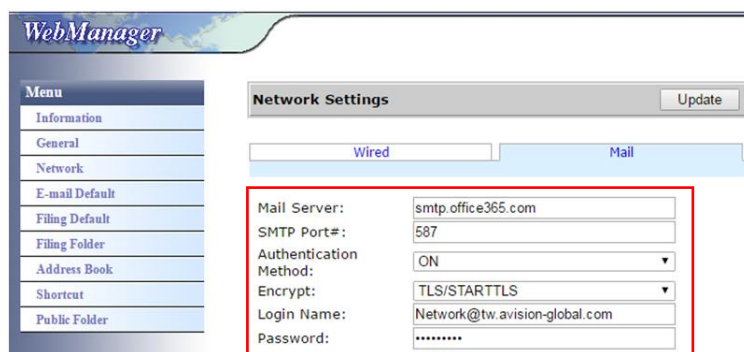
次のリンクは Office 365 に対するリンクです。さまざまなオプションの情報が含まれています。本書では、Option1、Option2、Office 365 メールボックスについて説明します。

[https://technet.microsoft.com/en-us/library/dn554323\(v=exchg.150\).aspx#option2](https://technet.microsoft.com/en-us/library/dn554323(v=exchg.150).aspx#option2)

(a) Option1

1. このオプションでは、Gmail や yahoo などの外部メールボックスにメールを送信することができます。この方法では、アカウントとパスワードによるログインが必要です。設定は次のとおりです。

認証：オン
暗号化：STARTTLS
ポート：587
メールサーバー：smtp.office365.com
ログイン名：Network@tw.avision-global.com
パスワード：Office365Pwd.txt を参照



2. 上記の設定が完了したら、必ず、[From]（差出人）フィールドに Office 365 アカウントを入力してください。本機のタッチパネルで、[E-mail]（メール）、[E-mail Options]（メールオプション）の順にタップし、下図に示すように、[From]（差出人）フィールド Office 365 アカウントを入力してください。



(b) Option2

このオプションでは、同じグループに登録されている Office 365 アカウントにのみメールを送信することができます。外部のメールボックスにメールを送信することはできません。この方法では、アカウントとパスワードの入力は必要ありません。設定は次のとおりです。

認証：オフ

暗号化：なし

ポート：25

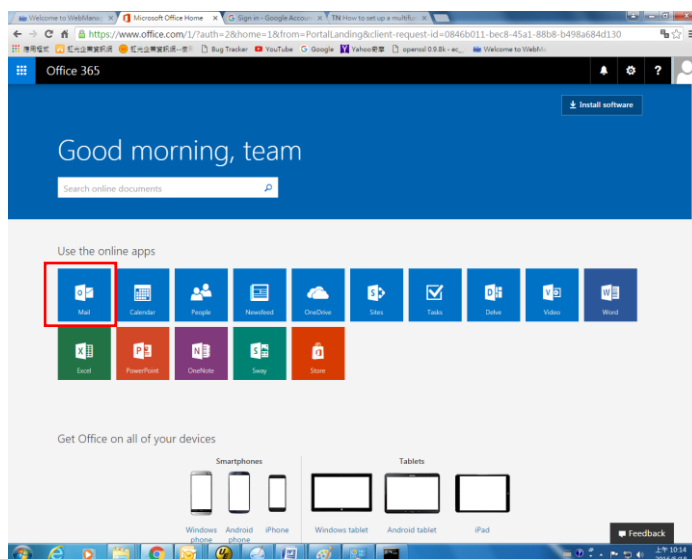
メールサーバー：contoso-com.mail.protection.outlook.com

次の画面は、Avison によって適用された Office 365 メールサーバーを示しています（Avison Office 365 メールサーバーアカウント：tw-avisionglobal-com02e.mail.protection.outlook.com）



(c) Office365 メールボックス

以下に示すように、Office 365 にログインした後、[Mail]（メール）をクリックしてください。



LDAPサーバーから電子メールアドレスをインポートする方法

1.LDAPサーバーを設定する：

- (1). ブラウザーを開き、URLアドレスにデバイスのIPアドレスを入力してください。デバイスのWebページが表示されます。
- (2). Webページにログインしてください（デフォルトのユーザー名とパスワードは「admin」です）。
- (3). **[Network]**(ネットワーク) > **[LDAP Server]**(LDAPサーバー) > **[Authentication LDAP]**(認証LDAP)の順に選択してください。
- (4). それぞれにLDAP情報を入力し、**[Update]**(更新)をクリックすれば完了です。次の例を参照してください。

Network >> LDAP Server [Update]

Email LDAP Authentication LDAP

LDAP Server IP or URL: 10.1.90.21
Port#: 389
Login Name: av01935
Password: *****
Search Root(Base DN): dc=avision,dc=com,dc=tw
Search attribute: cn
Obtain email address from: mail
Search Name from:
Get Account Name From: sAMAccountName
Ex:sAMAccountName
Timeout[seconds]: 5
Domain 1: avisionhq
Domain 2:
Domain 3:
Domain 4:
Domain 5:
Authentication Type: SIMPLE

Authentication LDAP Test

Select Domain: Domain 1 [Test]

- (5). **[Authentication LDAP test]**(認証 LDAP テスト)にて、管理者の AD (ActiveDirectory) アカウントでの接続テストとログインテストが成功するかどうかを確認することもできます。

2.LDAP認証を使用してアカウントを設定する：

- (1). デバイスのWebページで、**[Account Management]**(アカウント管理)を選択し、**[Enable Security Management]**(セキュリティ管理を有効にする)と**[Enable LDAP Authentication]**(LDAP認証を有効にする)にチェックを入れてください。

Basic Account List

Enable Security Management Enable Guest Account Enable LDAP Authentication

Default Enable Function

<input checked="" type="checkbox"/> Shortcut	<input checked="" type="checkbox"/> Cloud	<input checked="" type="checkbox"/> Email	<input checked="" type="checkbox"/> Filing
<input checked="" type="checkbox"/> BM2 Air	<input checked="" type="checkbox"/> Scancast	<input checked="" type="checkbox"/> AP Mode	

- (2). **[Account List]**(アカウント一覧)タブをクリックし、**[New]**(新規)をクリックして

- ください。[LDAP Authentication](LDAP認証)をクリックしてください。
- (3). [LDAP Search](LDAP検索)をクリックしてから、アカウントを入力し、[Submit](送信)をクリックして、ADアカウントを検索してください。図のように、検索結果が表示されます。

Account Management >> New Submit Quit

LDAP Authentication

User Name: LDAP Search

Password:

Email Address:

Enable Function

Shortcut Cloud Email Filing

BM2 Air Scancast AP Mode

LDAP Submit

User Group | Domain Domain1 (avisionhq) AV01935 search

CN	Name	Email Address
<input checked="" type="checkbox"/> 王博暉	AV01935	mark_wang@avision.com.tw
<input type="checkbox"/> AV01935-PC	AV01935-PC\$	mark_wang@avision.com.tw
<input type="checkbox"/> AV01935-20532	AV01935-20532...	mark_wang@avision.com.tw
<input type="checkbox"/> AV01935-20532...	AV01935-20532...	mark_wang@avision.com.tw
<input type="checkbox"/> AV01935-40675	AV01935-40675...	mark_wang@avision.com.tw

Page 1 (1 / 1)

3. アカウントを使用して、ネットワークスキャナーにログインしてください。

Account Management >> New Submit Quit

LDAP Authentication

User Name: avisionhq\AV01935 LDAP Search

Password:

Email Address: mark_wang@avision.com.tw

Enable Function

Shortcut Cloud Email Filing

BM2 Air Scancast AP Mode

Account Management

Basic Account List

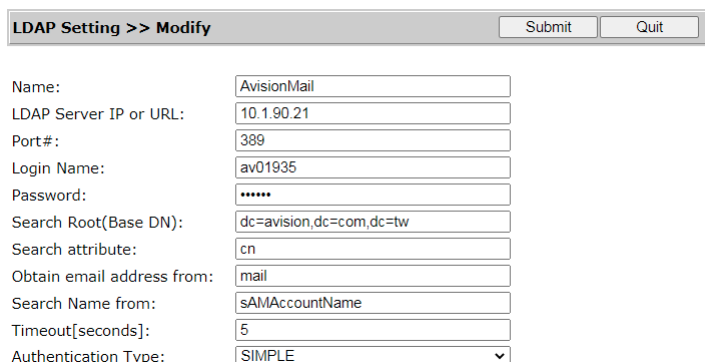
Action: | New | Delete | Modify |

Account	Email Address
<input type="checkbox"/> avisionhq\AV01935	mark_wang@avision.com.tw

Page 1 (1 / 1)

LDAPメールサーバーから電子メールアドレスをインポートする：

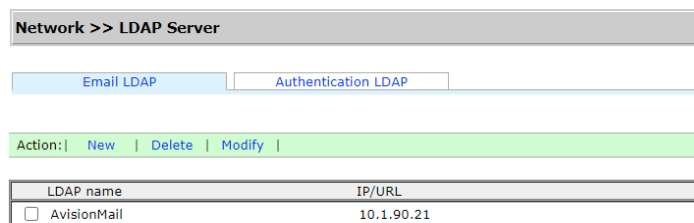
- (1). ブラウザーを開き、URLアドレスにデバイスのIPアドレスを入力してください。デバイスのWebページが表示されます。
- (2). Webページにログインしてください (デフォルトのユーザー名とパスワードは「admin」です)。
- (3). **[Network]**(ネットワーク) > **[LDAP Server]**(LDAPサーバー) > **[Email LDAP]**(電子メールLDAP)の順に選択してください。
- (4). 設定を入力し、**[Submit]**(送信)をクリックすれば完了です。次の例を参照してください。



LDAP Setting >> Modify

Name:	AvisionMail
LDAP Server IP or URL:	10.1.90.21
Port#:	389
Login Name:	av01935
Password:	*****
Search Root(Base DN):	dc=avision,dc=com,dc=tw
Search attribute:	cn
Obtain email address from:	mail
Search Name from:	sAMAccountName
Timeout[seconds]:	5
Authentication Type:	SIMPLE

- (5). 次に、メールLDAPを設定してください。



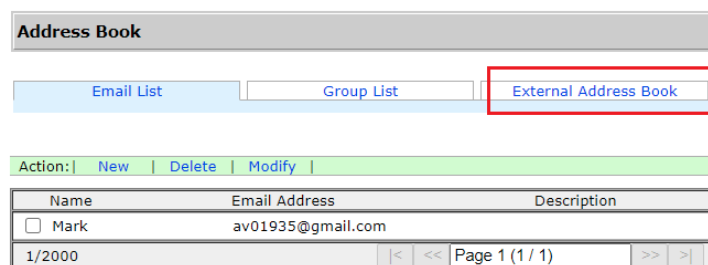
Network >> LDAP Server

Email LDAP Authentication LDAP

Action: | New | Delete | Modify |

LDAP name	IP/URL
<input type="checkbox"/> AvisionMail	10.1.90.21

- (6). **[Address Book]**(アドレス帳) > **[External Address Book]**(外部アドレス帳)の順に選択してください。
- (7). 設定したメールLDAPを選択してください。



Address Book

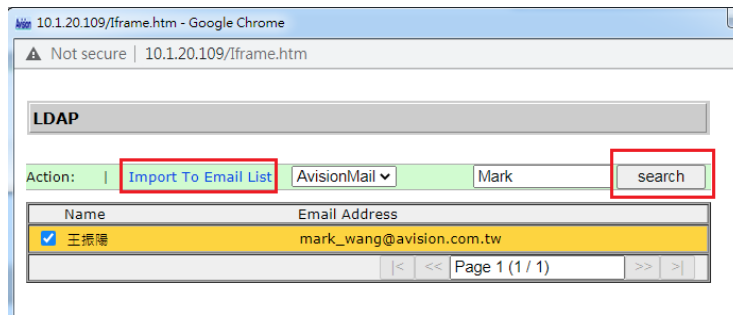
Email List Group List External Address Book

Action: | New | Delete | Modify |

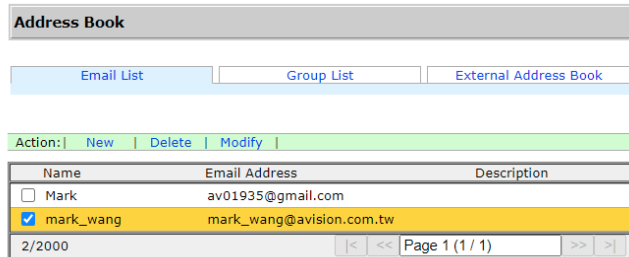
Name	Email Address	Description
<input type="checkbox"/> Mark	av01935@gmail.com	

1/2000 |< << Page 1 (1/1) >> >|

- (8). アカウントを検索し、**[Import to Email List]**(電子メールリストにインポートする)を選択してください。



- (9). 最後に、デバイスのWebページを更新してください。LDAPメールサーバーからアドレス帳に追加された電子メールアドレスが表示されます。



ドキュメントをネットワークフォルダ、パブリックフォルダに送信する


重要:

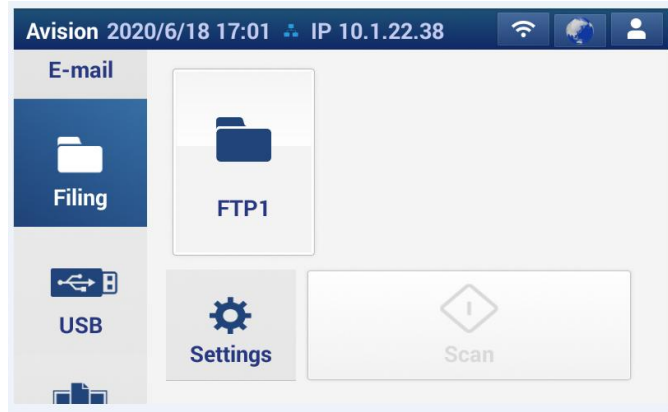
FTP/FTPS/FTPES/SharePoint や SMB などのネットワークフォルダにスキャンした画像を送信するには、ネットワークフォルダにアクセスする権利があることを確認してください。例えば、まず最初にログイン名とパスワードを作成するなどの処理が必要です。


基本操作

デフォルト設定を使用する

1. 最初のページを裏向きにして、ページの上部がフィーダーに面するように、ADFに用紙を差込みます。

2. ホーム画面の Filing(ファイリング)  ボタンを押します。以下の Filing(ファイリング)が表示されます。



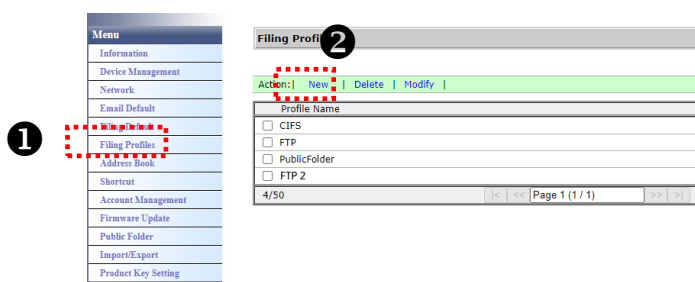
3. [Scan to(スキャン保存先)] を選択して、スキャンした画像を保存します。
4. [設定](Settings)をタップします。ドキュメントの面、出力カラー、ファイル形式が合っているか確認します。違う場合は、設定を変更してニーズに合わせます。
5. [Scan]() ボタンをタップします。スキャナがドキュメントのスキャンを開始します。
6. スキャンが始まり、プレビュー画像が表示されます。

画像を SharePoint に送信する方法

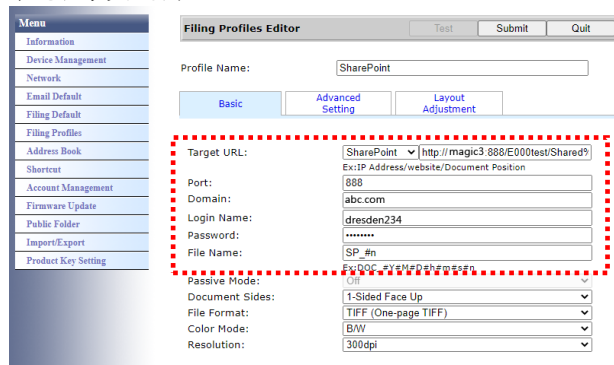
SharePoint (サーバー) は、会社が所有または運営する Web ベースのプラットフォームです。Web サイトを Web ブラウザーを通して、任意のデバイスから情報を保管、整理、共有する安全な場所として使用することができます。

SharePoint サーバーをファイリング プロファイルに追加するには、

1. ブラウザーを開き、スキャナーの IP アドレスを入力します。埋め込み Web ページが表示されます。
2. 既定のユーザー名とパスワード (admin) を使って、詳細設定にアクセスするためにページにログインします。
3. [Filing Profile] (ファイリング プロファイル) をクリックしてから、[New] (新規) をクリックして、新しいファイリング プロファイルを作成します。

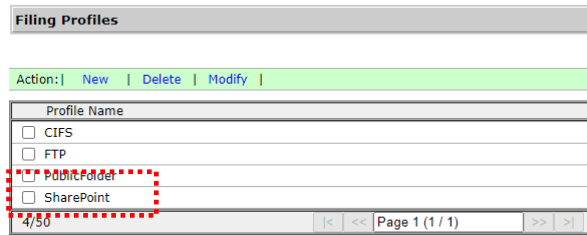


4. プロファイル名を入力します。たとえば、SharePoint です。
5. 下図に示すように、[Target URL] (ターゲット URL) フィールドから [SharePoint] を選択し、会社の IT 部門から提供される SharePoint サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。



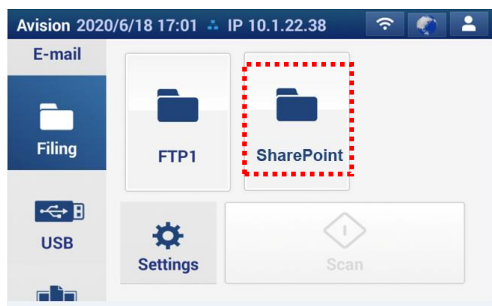
また、IT 担当者と共にサーバー ポート、ドメイン名を確認し、承認されたアカウントがあることを確認することができます。


6. ログイン名とパスワードを入力します。
7. [Submit] (送信) をクリックして、SharePoint の設定を完了します。
8. 成功した場合、以下に示すように [SharePoint] プロファイルが Profile (プロファイル) リストに表示されます。



画像をスキャンし、**SharePoint** サーバーに送信するには、

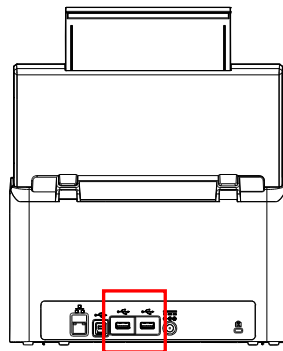
1. [Filing] (ファイリング) をタップしてから、[SharePoint] を選択します。



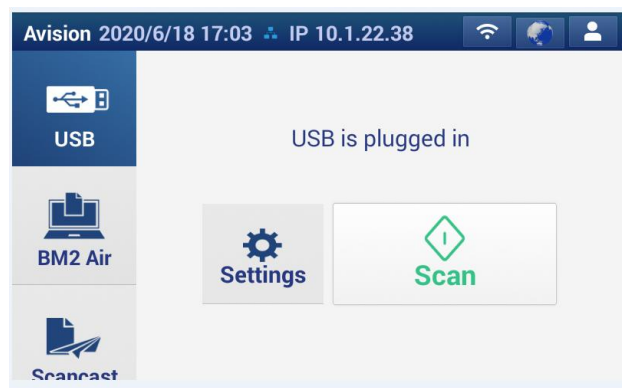
2. ドキュメントをスキャナーに載せてから、[Start] (開始)  ボタンをタップします。
3. すぐに、スキャンされた画像が **SharePoint** サーバーに送信されます。


スキャンした画像を **USB** フラッシュドライブに送信する

1. 最初のページを裏向きにして、ページの上部がフィーダーに面するように、ADFに用紙を差込みます。
2. USB フラッシュドライブをスキャナーの背面にあるフラッシュドライブポートに挿入します。



3. ホーム画面の **USB** ボタンを押します。液晶タッチスクリーンに次の **USB** メイン画面が表示されます。



4. [設定](Settings)をタップします。ドキュメントの面、出力カラー、ファイル形式が合っているか確認します。違う場合は、設定を変更してニーズに合わせます。
5. [Scan] () ボタンをタップします。スキャナーがドキュメントのスキャンを開始し、USB フラッシュドライブに保存します。

ドキュメントをクラウドに送信する

基本操作

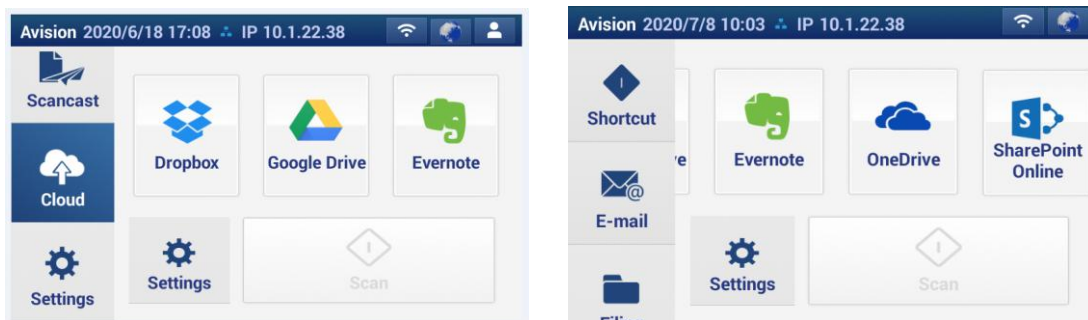
重要:

Google Drive、SharePointOnline、OneDrive、Evernote などのクラウドサーバーにスキャンした画像を送信するには、クラウドサーバーにアクセスする権限があることを確認してください。例えば、まず最初にログイン名とパスワードを作成するなどの処理が必要です。


デフォルト設定を使用する

1. 最初のページを裏向きにして、ページの上部がフィーダーに面するように、ADF に用紙を差込みます。

2. ホーム画面の Cloud(クラウド)  ボタンを押します。液晶タッチスクリーンに次の Cloud(クラウド)メイン画面が表示されます。



3. 必要なクラウドサーバーを選択して、スキャン画像を保存します。Choice(選択肢): **Evernote、Google Drive、SharePointOnline、OneDrive。**
4. [設定](Settings)をタップします。ドキュメントの面、出力カラー、ファイル形式が合っているか確認します。違う場合は、設定を変更してニーズに合わせます。
SharePointOnline の場合、スキャンした画像を保存するために希望のサイト名を入力できます。それ以外の場合、画像はデフォルトのサイト名に送信されます。

5. Start(開始)  ボタンをタップします。指定したクラウドサーバーへのスキャンした画像のアップロードが開始します。

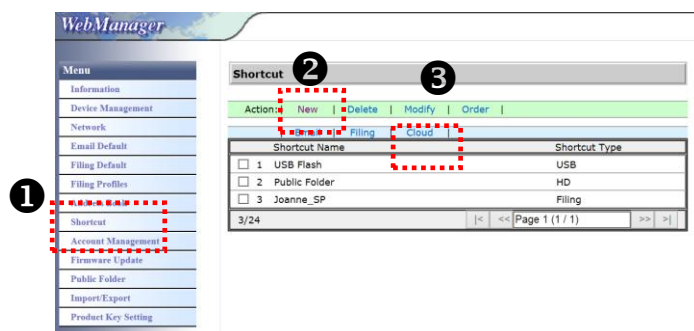
指定したクラウドサーバーのウェブサイトで、ログイン認証を完了させる必要があります。成功すると、アカウントが表示されクラウドサーバーにスキャン画像が保存されます。

画像を SharePointOnline に送信する方法

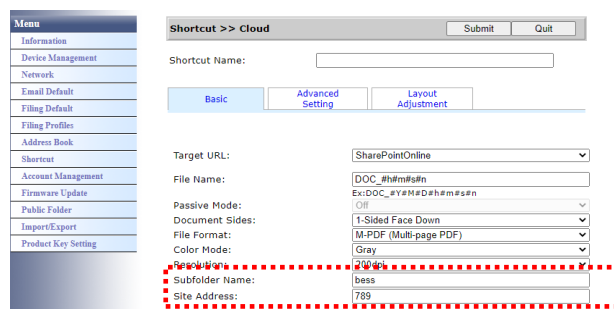
SharePointOnline とは、Microsoft Office 365 内のプラットフォームであり、Microsoft が直接提供するクラウドベースのサービスです。

SharePointOnline 設定を行うには:

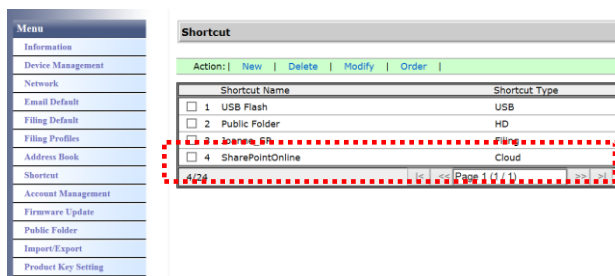
1. ブラウザーを開き、スキャナーの IP アドレスを入力します。埋め込み Web ページが表示されます。
2. 既定のユーザー名とパスワード (admin) を使って、詳細設定にアクセスするためにページにログインします。
3. [Shortcut] (ショートカット) > [New] (新規) > [Cloud] (クラウド) の順にクリックして、処理を高速化するために、新しい ShorCut (ショートカット) を作成します。




4. Shortcut (ショートカット) 名を入力します。たとえば、SharePointOnline です。
5. [Target URL] (ターゲット URL) フィールドから [SharePointOnline] を選択します。
6. 画像を保存するサブフォルダー名を入力します。たとえば、bess です。("/") を追加して (たとえば、bess/invoice)、次のレベルのサブフォルダーを作成することができます。
7. サイド アドレス (グループ名) を入力します。たとえば、789 です。または、既定のサイト アドレスを使用して、[Group website] (グループ Web サイト) サイトに保存します。



8. [Submit] (送信) をクリックして、設定を完了します。
9. 成功すると、以下に示すように、SharePointOnline が一覧に追加されます。

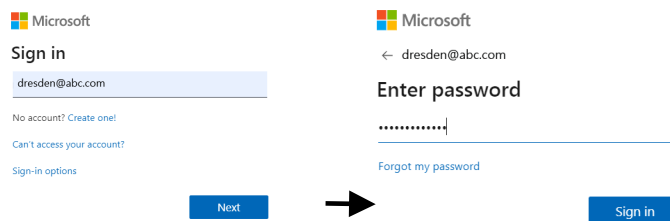


画像をスキャンし、SharePointOnline に送信するには、

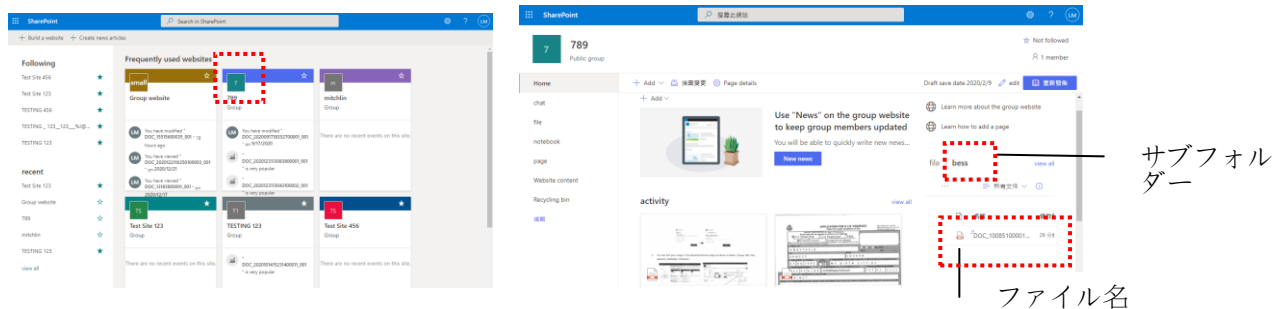
1. ドキュメントをスキャナーに載せます。
2. タッチ パネルで[SharePoint] ショートカットの [Start] (開始)  ボタンをタップします。



3. 次の [Sign in] (サインイン) ダイアログ ボックスが表示されたら、アカウント名、パスワードを入力してから、[Next] (次へ) をクリックします。 [Stay sign in] (サインインしたままにする) ダイアログ ボックスが表示されたら、[Yes] (はい) をクリックします。



4. スキャニングされた画像が、SharePointOnline クラウドに送信されます。
5. ブラウザーを開き、会社の SharePointOnline サーバーの IP アドレス/ドメイン名を入力します。下に示すように、SharePointOnline ページに画像が表示されます。(グループ名:789、サブフォルダー: bess)



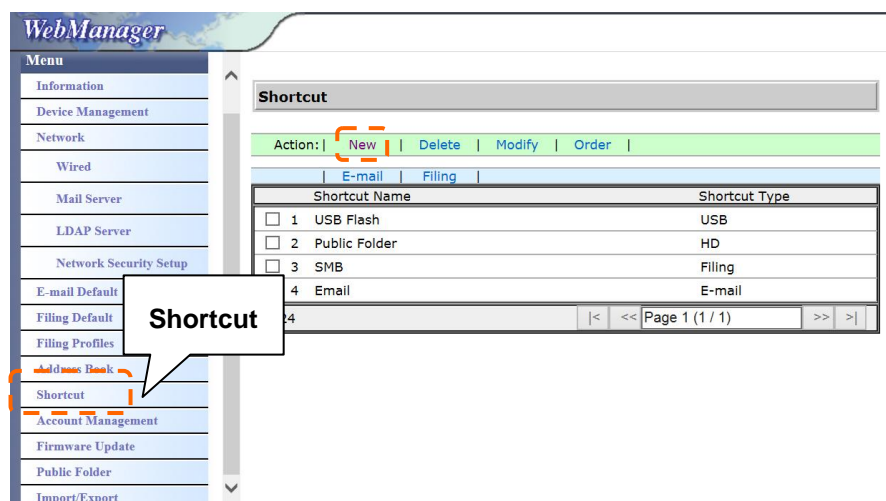
ショートカットボタンを作成する

頻繁に使うスキャン設定や送信先をホーム画面のショートカットに割り当てれば、作業が簡素化され、スキャン作業が1つのボタンだけで完了します。

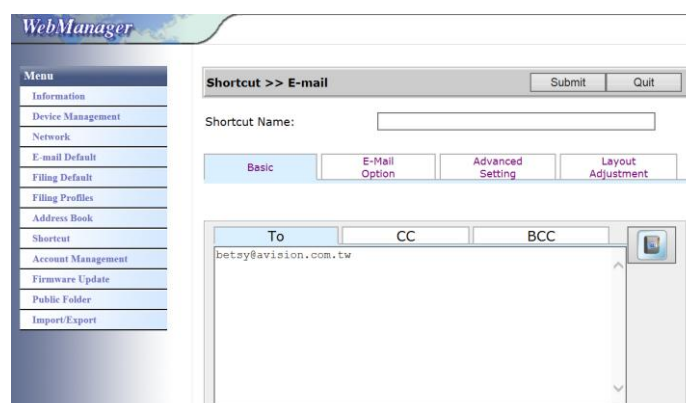
また、クラウドサーバーがメイン画面のショートカットボタンとして設定されている場合、ログイン名とパスワードが記憶されるため、クラウドサーバーにアクセスするたびに情報を入力する手間が省けます。

ショートカットボタンの作り方

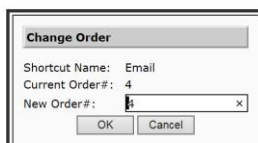
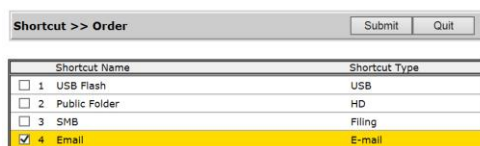
1. ブラウザを開いて、URL 欄に本製品の IP アドレスを入力して、本製品に組み込まれたウェブページを表示します。
ウェブページの全ての情報にアクセスするには、デフォルトのユーザー名とパスワード[admin]でログインしてください。パスワードは、後ほどウェブページで変更することができます。
2. Web ページで、[ショートカット]> [新規]> [メール]または[ファイリング]をタップします。たとえば、[メール]をタップしてメールページを表示します。



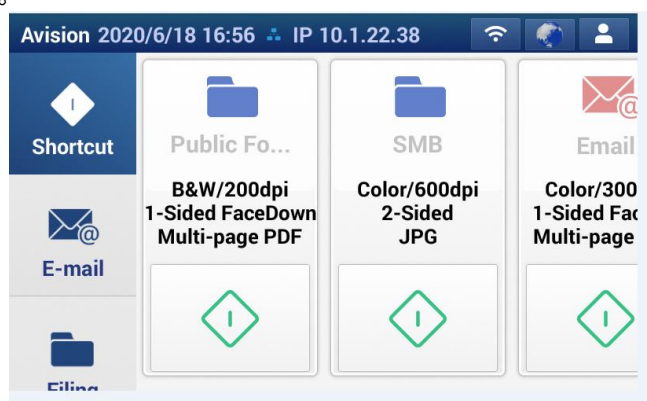
3. ショートカット名を入力します。[To(宛先)]/[CC]/[BCC]欄で、頻繁に使う電子メールアドレスを選択します。



4. [E-mail Options(電子メールオプション)]画面で、[From(差出人)]アドレスを入力します。
5. よく使う電子メール作業に合わせて、スキャン設定を変える必要がないか確認します。
6. [Order]をタップして、シーケンス番号を入力します。タッチパネルに表示するショートカットの。



7. [OK]、[Submit]の順にタップします。LCD タッチパネルに新しいショートカットボタンが表示されます。

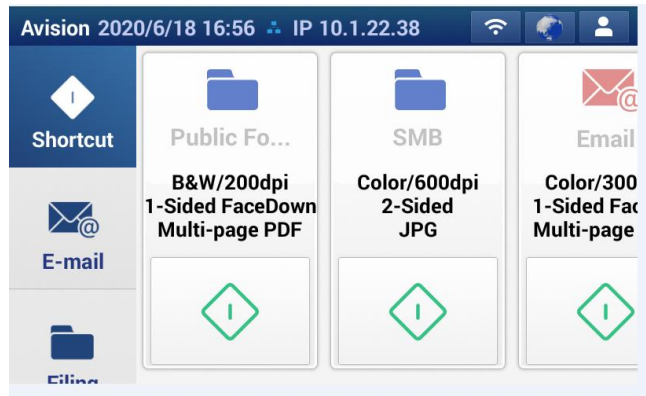


同じような手順で、頻繁に使うクラウドまたはファイリングの保存先を使って液晶タッチパネルのショートカットを作ります。

ショートカットボタンを使う

ショートカットボタンの使い方

1. タッチスクリーン上にある、使いたいショートカットボタンの[Start(開始)]ボタンをタップします。




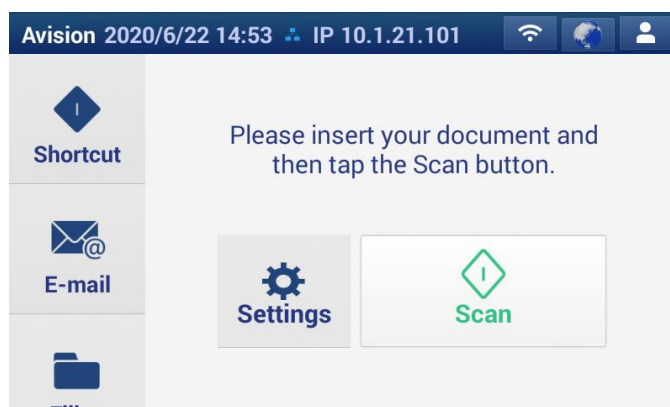
2. スキャンが始まり、プレビュー画像が表示されます。

画像をスキャンしてブロードキャストする

スキャンキャスト(スキャン+ブロードキャスト)機能を使えば、最初にドキュメントをスキャンして、たくさんの送信先に送ることができます。

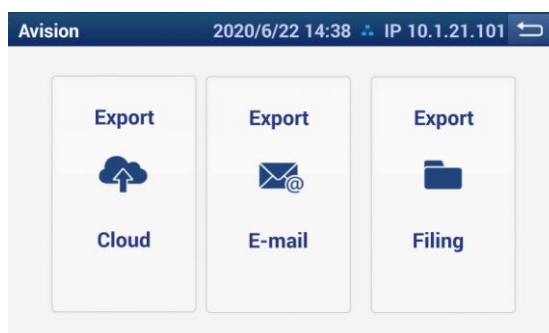
1. 最初のページを裏向きにして、最初のページの上部がフィーダーに面するように、ADF に用紙を差込みます。

2. タッチスクリーンの Scancast(スキャンキャスト)  ボタンを押します。以下の Scancast(スキャンキャスト)メイン画面が表示されます。



3. [設定](Settings)をタップします。ドキュメントの面、出力カラー、ファイル形式が合っているか確認します。違う場合は、設定を変更してニーズに合わせます。

4. [Scan]  ボタンを選択すると[Scancast(スキャンキャスト)]画面が表示され、複数の送信先が表示されます。



5. スキャンした画像の[Cast to(キャスト先)] を選択します。選択肢: Cloud(クラウド)、E-mail(電子メール)、Filing(ファイリング)
 - **Cloud(クラウド)**:Evernote、Google Drive の中から必要なクラウドサーバーを選びます。
 - **E-mail(電子メール)**: [To(宛先)/From(差出人)]電子メールアドレスを入力します。
 - **Filing(ファイリング)**: ローカル(Local)または Network(ネットワーク)の中から、ネットワークフォルダを選択します。**Network(ネットワーク)**を選択した場合、利用可能なネットワークサーバーが右のボックスに表示されます。**Up-arrow(上矢印)**または**Down-arrow(下矢印)**ボタンを使って、リストをスクロールします。

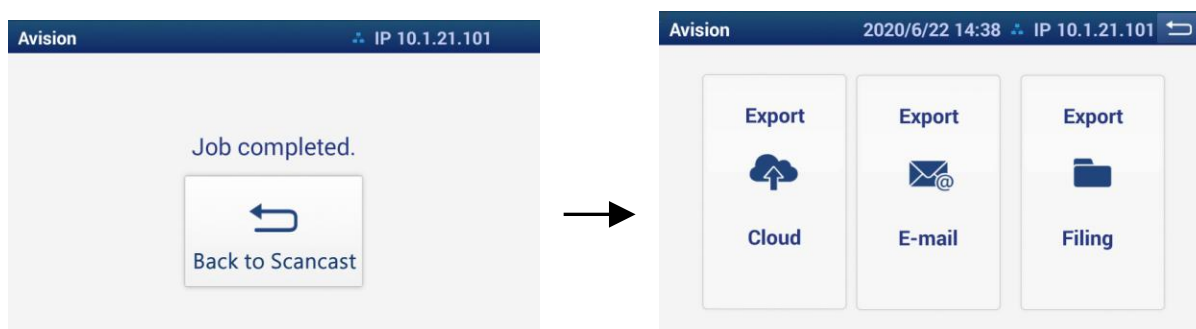
Local(ローカル)を選択した場合、USB とパブリックフォルダが右のボックスに表示されます。USB を選択する場合は、本製品の USB フラッシュドライブポートに USB フラッシュドライブが挿入されていることを確認してください。


Public Folder(共有フォルダ)を選択した場合、スキャンした画像は本製品のメモリに保存されます。スキャン中に PIN 番号(フォルダ名)を入力します。本製品に組み込まれたウェブページからスキャン画像にアクセスできます。(詳細は、次章「組み込まれたウェブページから本製品の設定をカスタマイズする」を参照してください。)

- 最初の送信先を指定したら、[Export]ボタンを押して、スキャンした画像を送信先に送信します。



- スキャン画像が最初の送信先に無事送信されると、[Scancast(スキャンキャスト)]画像に複数の送信先が再び表示されます。



- [Back to Scancast]をタップして[スキャンキャスト]ウィンドウに戻り、2 番目の宛先を選択します。。
- 手順 6～7 を繰り返して、別の送信先にスキャンした画像を送信します。
- すべての送信先へのスキャンした画像の配布が完了したら、[Back(戻る)]  ボタンを押して画面を閉じます。

4 送信先の設定と管理

このセクションでは、スキャンしたドキュメントをネットワーク上で配信するために、電子メールアドレスやネットワークフォルダなどの送信先の設定および管理を、管理者が行う手順について説明します。

電子メールアドレス帳を設定する

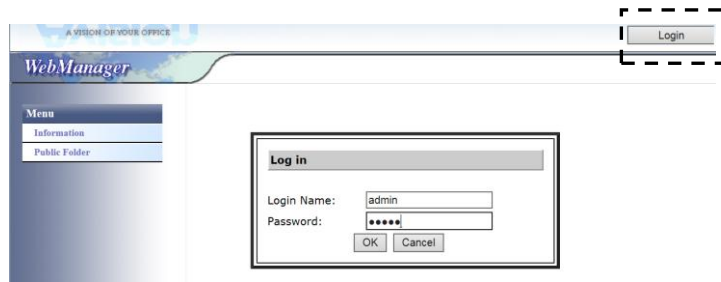
本セクションでは、電子メールアドレス帳を管理者が設定する方法について、手順を説明します。アドレス帳は、液晶タッチパネルまたは本製品に組み込まれたウェブページから設定および管理できます。本セクションでは、例として液晶タッチパネルを使用します。

新しい電子メールアドレスを追加する

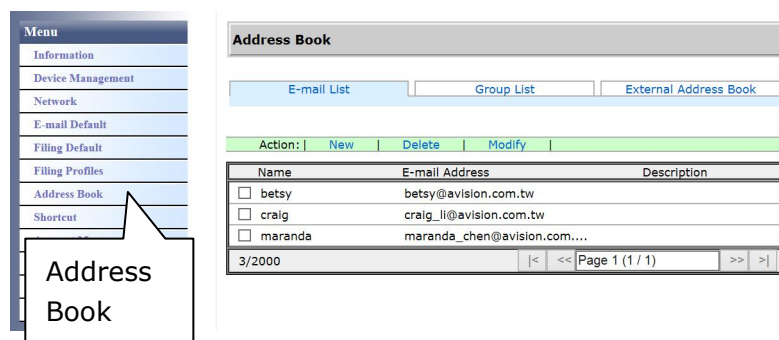
以下の手順に従って、新しい電子メールアドレスを追加します。

1. ブラウザを開いて、URL欄に本製品のIPアドレスを入力して、本製品に組み込まれたウェブページを表示します。

ウェブページの全ての情報にアクセスするには、デフォルトのユーザー名とパスワード[admin]でログインしてください。パスワードは、後ほどウェブページで変更することができます。



2. [Address Book] (アドレス帳) を選択して[Address Book] (アドレス帳) ページを表示します。



3. [New(新規)]を選択して[New E-mail Address(新しい電子メールアドレス)]ページを表示します。

Address Book >> New E-mail Addresses Submit Quit

Name:

E-mail Address:

Description:

4. 電子メールアドレスとその説明を入力します。
5. アドレスの情報を変更します。[Submit] (送信) をクリックして設定を保存するか、[Quit] (中止) をクリックして設定を保存せずにページを閉じます。

注:

アドレス帳には最大 2000 個の電子メールアドレスを入力できます。

既存の電子メールアドレスを変更する

既存の電子メールアドレスを変更する方法

1. 前のセクション「Adding a New E-MAIL Address(新しい電子メールアドレスを追加する)」のステップ1を繰り返します。[E-mail Address Book(電子メールアドレス帳)]が表示されます。
2. リストから変更する電子メールプロファイルを選択して[Edit(編集)]を選択し、[Edit E-mail Addresses(電子メールアドレスの編集)]ページを表示します。
3. アドレスの情報を編集します。
4. [Save(保存)]をタップして設定を保存し、電子メール画面を閉じます。または[Cancel(キャンセル)]をタップして、設定を保存せずにページを閉じます。

既存の電子メールアドレスを削除する

既存の電子メールアドレスを削除する方法

1. 前のセクション「Adding a New E-MAIL Address(新しい電子メールアドレスを追加する)」のステップ1を繰り返します。[E-mail Address Book(電子メールアドレス帳)]が表示されます。
2. リストから削除するアドレスを選択して[Delete(削除)]を選択し、アドレスを消去します。削除を確認するため、確認ダイアログボックスが表示されます。[OK]をクリックして承諾するか、[Cancel(キャンセル)]をクリックして閉じます。

新しい電子メールグループを追加する

一度に複数のアドレスに同時送信するなら、アドレスグループを作成してプロセスを早めることができます。1つのグループに最大50個のアドレスを含めることができます。また、アドレス帳には最大50個のグループを作成できます。

新しい電子メールグループを追加する方法

1. 前のセクション「Adding a New E-MAIL Address(新しい電子メールアドレスを追加する)」のステップ1を繰り返します。[E-mail Address Book(電子メールアドレス帳)]が表示されます。
2. [Group(グループ)]をタップして[New(新規)]を選び、[Add a New Group(新しいグループの追加)]ページを表示します。
3. グループ名とその説明を入力します。
4. アドレスリストからアドレスを選択して←をクリックし、メンバーをグループに追加します。

Address Book >> New Group Sets

Submit Quit

Group name: marketing

Description:

Group Member:	E-Mail List:
betsy/betsy@avision.com.tw	betsy/betsy@avision.com.tw
windy/windy@avision.com.tw	craig/craig_li@avision.com.tw
	maranda/maranda_chen@avision.com.tw
	windy/windy@avision.com.tw

<--

-->

5. [Submit(送信)]をクリックして設定を保存するか、[Cancel(キャンセル)]をクリックして設定を保存せずにページを閉じます。

既存の電子メールグループを変更する

既存の電子メールグループを変更する方法

1. 前のセクション「Adding a New E-MAIL Address(新しい電子メールアドレスを追加する)」のステップ1を繰り返します。[E-mail Address Book(電子メールアドレス帳)]が表示されます。
2. [Group(グループ)]をタップして、リストから変更するグループを選択してから[Edit(編集)]をタップし、[Edit E-mail Group(電子メールグループの編集)]ページを表示します。
3. グループの情報を編集します。追加するグループメンバーを選択して、←をクリックして新しいメンバーを追加するか、→をクリックして、グループから古いメンバーを削除します。
4. [Save(保存)]をタップして設定を保存し、電子メール画面を閉じます。または[Cancel(キャンセル)]をタップして、設定を保存せずにページを閉じます。

既存の電子メールグループを削除する

既存の電子メールグループを削除する方法

1. 前のセクション「Adding a New E-MAIL Address(新しい電子メールアドレスを追加する)」のステップ1を繰り返します。[E-mail Address Book(電子メールアドレス帳)]が表示されます。
2. [Group(グループ)]をタップして、リストから削除するグループを選択し、[Delete(削除)]をタップしてグループを削除します。
3. 削除を確認するため、確認ダイアログボックスが表示されます。[OK]をクリックして承諾するか、[Cancel(キャンセル)]をクリックして閉じます。

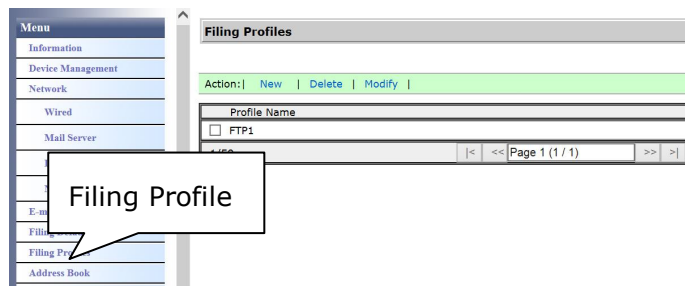
ファイリングプロファイルを設定する

本セクションでは、スキャンしたドキュメントを指定したネットワークフォルダに送信するため、ファイリングプロファイルを設定する手順について説明します。ファイリングフォルダは、液晶タッチパネルまたは本製品に組み込まれたウェブページから設定および管理できます。

新しいファイリングプロファイルを追加する

ファイリングプロファイルを作成するには、以下の手順に従ってください。

1. 製品のウェブページで、[Filing Profiles (ファイリングプロファイル)]を選択して次のページを表示します。



2. [New(新規)]を選択して[New Filing profile(新しいファイリングプロファイル)]ページを表示します。



3. ファイリングフォルダ情報を入力します。プロファイル情報の入力方法については、前セクションの「ファイリングプロファイルを作成する」(p.20)を参照してください。
4. [Save(保存)]をタップして設定を保存するか、[Cancel(キャンセル)]をタップして設定を保存せずにページを閉じます。

既存のファイリングプロファイルを変更する

既存のファイリングプロファイルを変更する方法

1. 前のセクション「Adding a new Filing Profile(新しいファイリングプロファイルを追加する)」のステップ1を繰り返します。[Filing Profile(ファイリングプロファイル)]ページが表示されます。
2. リストから変更するファイリングフォルダを選択して[Edit(編集)]を選択し、[Edit Filing Profile(ファイリングプロファイルの編集)]ページを表示します。
3. プロファイルの情報を変更します。
4. [Save(保存)]をタップして設定を保存し、ファイリングプロファイル画面を閉じます。または[Cancel(キャンセル)]をタップして、設定を保存せずにページを閉じます。

既存のファイリングプロファイルを削除する

既存のファイリングプロファイルを削除する方法

1. 前のセクション「Adding a new Filing Profile(新しいファイリングプロファイルを追加する)」のステップ1を繰り返します。[Filing Profile(ファイリングプロファイル)]ページが表示されます。
2. リストから削除するフォルダを選択して[Delete(削除)]を選択し、フォルダを消去します。削除を確認するため、確認ダイアログボックスが表示されます。[OK]をクリックして承諾するか、[Cancel(キャンセル)]をクリックして閉じます。

5 モバイルデバイスからスキャンを開始する

ワイヤレス (Wi-Fi) ネットワーク: この機能を利用できるかどうかは、製品モデルによって異なります。

無線ネットワークに接続する

AP(アクセス ポイント)モードで Wi-Fi ネットワークに接続する

AP (Access Point、アクセス ポイント) モードでは、スキャナー自身が AP として稼働しているため、モバイル デバイスとスキャナーは追加の AP (Access Point、アクセス ポイント) なしで無線接続されています。



1. スキャナにイーサネットケーブルが有線接続されている場合は、ネットワークケーブルを外してください。
2. スキャナの背面にあるWi-Fiスイッチをオンにします。Wi-Fi LEDランプが点滅した後、完全に点灯します。
3. LCD タッチパネルのホーム画面で、[Settings(設定)]> [Network(ネットワーク)]> [AP Mode (AP モード)]をタップします。すぐに、SSID と IP アドレスが表示されます。

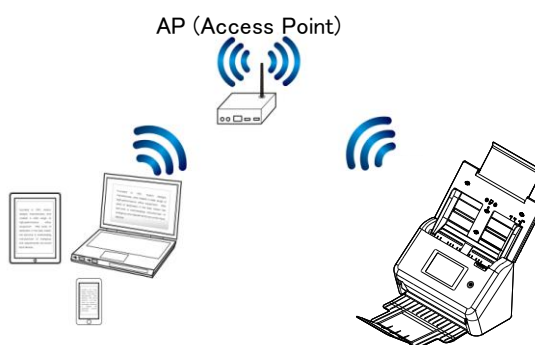


AP Mode		Exit	Apply
IP address	192.168.200.1		
Network SSID	Avision-F20106		
Security	Disabled		

4. モバイルデバイスで、Avision-xxxxxx (xxxxxxはMACアドレスの最後の6桁を示しています) がネットワーク名(SSID)として選択されているか確認してください。

スキャナーをクライアントモードで Wi-Fi ネットワークに接続する

クライアントモードでは、モバイルデバイスとスキャナーが、追加の AP (Access Point、アクセス ポイント) 経由で無線接続されます。このモードは、デフォルトの無線モードでもあります。

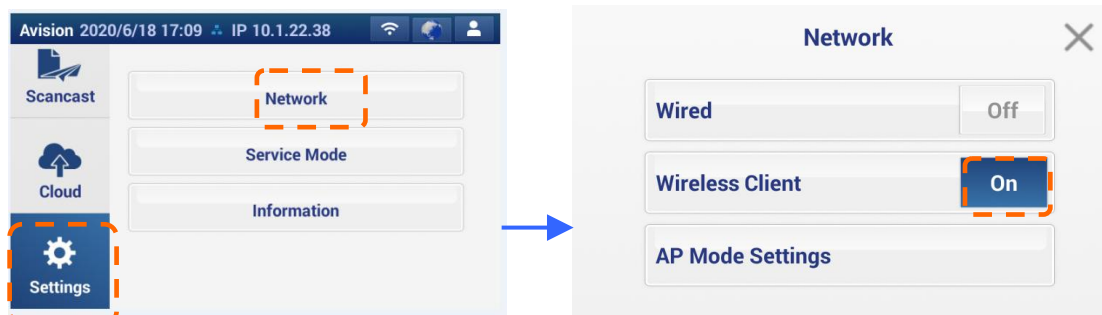


スキャナーをアクセスポイントに接続する:

重要:

有線モードと無線モードを同時に使用することはできません。無線ネットワークにスキャナを接続する際には、まず最初にスキャナに接続されているイーサネットケーブルを外してください。

1. スキャナにイーサネットケーブルが有線接続されている場合は、ネットワークケーブルを外してください。
2. 液晶タッチパネル上のホーム画面で、[Settings (設定)] > [Network (ネットワーク)] をタップします。[Wireless Client (無線クライアント)] がオンになっていることを確認します。



3. すぐに、現在近くにある無線ネットワークが、下記のように表示されます。

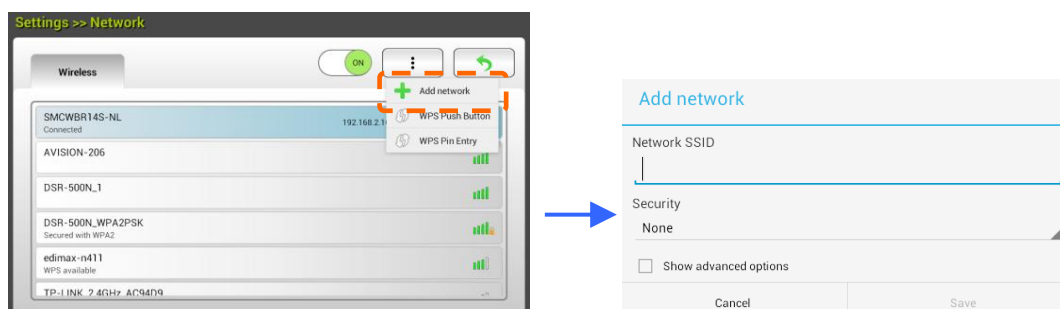


4. AP(アクセスポイント)を選択して[Connect(接続)]をクリックします。SMCWBR14S-NL などの特定のアクセスポイントにスキヤナを接続します。ほんの数秒で、接続に成功した場合、スキヤナの IP アドレスと MAC アドレスが上記のように表示されます。

注:

アクセスポイントの SSID ブロードキャストが無効になっている場合は、以下の手順に従って、手動で SSID 名(ネットワーク名)を追加します。

1. 無線ページで[More Settings(詳細設定)]ボタンをタップして、[Add network(ネットワークの追加)]を選択します。[Add network(ネットワークの追加)]ページが表示されます。



2. ネットワークSSID名を入力して、セキュリティモード、暗号化タイプ、ネットワークキーを選び、[Save(保存)]をタップして、無線ネットワークを手動で検索します。

スキヤナは以下の認証方法に対応しています:

セキュリティモード	暗号化の方法	キーインデックス
WPAPSK	TKIP、AES、TKIPAES	X
WPA2PSK	TKIP、AES、TKIPAES	X

WPSボタンを使って無線アクセスポイントに接続する

スキャナの背面にある WPS ボタンを押して、スキャナを WPS に対応した無線アクセスポイントに接続できます。

始める前に

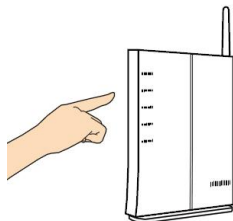
アクセスポイントの WPS 接続を有効にするには、アクセスポイントのユーザーズガイドを参照してください。

以下の手順に従って接続してください。

1. 無線アクセスポイント/ルーターに、以下の図に記されたWPSまたはAOSS™シンボルがあるか確認します。



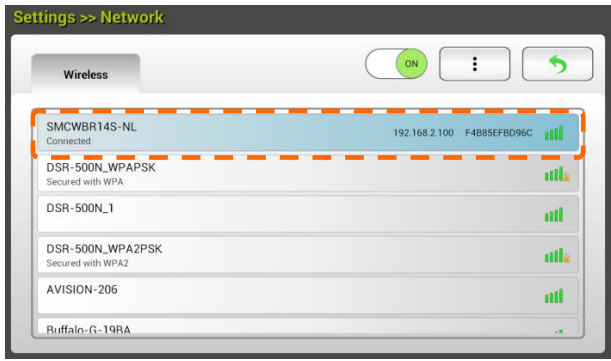
2. 無線アクセスポイントのWPSボタンを押します。(WPSボタンの使い方についての説明は、アクセスポイント/ルーターのユーザーズガイドを参照してください。)



3. 液晶タッチパネル上のホーム画面で、[Settings(設定)]> [Network(ネットワーク)]をタップします。[Wireless Client(無線クライアント)]がオンになっていることを確認します。無線ページで [More Settings(詳細設定)] ボタンをタップして、[WPS button]を選択します。



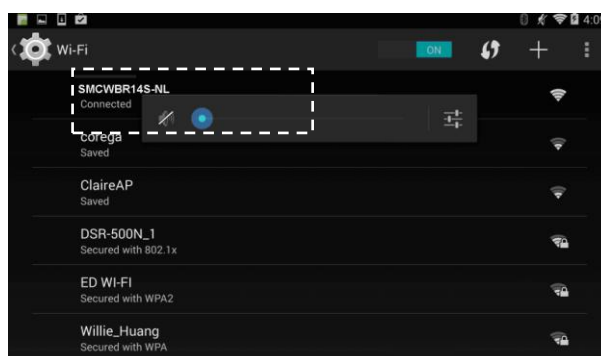
4. 接続が確立されると、AP名が選択したAPになっていれば、WPSボタンを使った無線接続に成功したことになります。



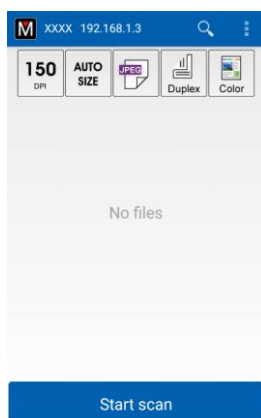
モバイルデバイスからドキュメントをスキャンする

MB Application (スキャンアプリ) がモバイルデバイスにインストールされているか確認します。**MB Application** は Google Play などのアプリケーションストアから無料で購入できます。

1. 無線コンピュータ、スマートフォンあるいはタブレットの **[Settings]** (設定) で **[Wi-Fi]** を有効にして、スキャナと同じネットワーク名 (SSID) を選択します。例：
SMCWBR14S-NL。



2. 画面上の **MB** アプリ () をタップして、スキャンアプリケーションを起動します。メイン画面が表示され、同じ無線 LAN 内のスキャナが自動検索されます。スキャナが見つかった場合、以下の図のように画面の下に **[Start scan]** (スキャンを開始) と表示されます。








ご注意：

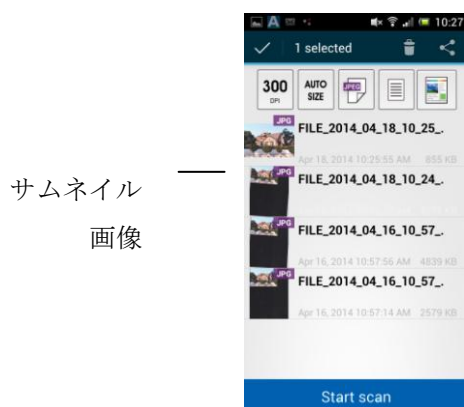
スキャナが見つからなかった場合は以下を確認してください：

1. スキャナの準備ができていない場合があります。 **[More Settings]** (詳細設定) をタップして **[Search scanner]** (スキャナの検索) をタップし、もう一度スキャナを検索します。
 2. モバイルデバイスとスキャナが同じ無線LAN内にあるか確認してください。
-

3. デフォルト設定が要件を満たしているか確認してください。満たしていない場合、個別のスキャン作業に合ったスキャン設定に変更してください。

アイテム	説明
	解像度：必要な解像度を選択します。解像度が高いほど、画質が良くなり消費ディスクスペースも大きくなります。 選択肢：*150、200、300 dpi
	スキャンサイズ：用紙サイズを選択します。Auto（自動）を選択すると、スキャナが用紙サイズを自動的に検知します。 選択肢：*Auto size（自動サイズ）、A4、LTR（レター）、LGL（リーガル）、4x6、5x7
	ファイル形式：画像のファイル形式を選択します。 選択肢：*JPEG、PDF、TIFF ご注意： <ul style="list-style-type: none"> • JPEGファイルは白黒画像には対応していません。 • TIFFファイルのみが白黒画像に対応しています。
	ドキュメントの表面（片面）または裏表面両方（両面）のどちらをスキャンするか選択します。 選択肢：*片面、両面 ご注意：duplex（両面）モードは、自動ドキュメントフィーダーからスキャンした場合のみ利用できます。
	カラーモード：必要なカラーモードを選択します。 選択肢：*カラー、黒白、グレー
* デフォルト設定：	

- オートドキュメントフィーダーにページを入れるか、フラットベッドにページを置きます。
- [Start scan]**（スキャンを開始）ボタンをタップします。（ネットワーク上に複数台のスキャナが接続されている場合は、スキャナを選択します。）ほんの数秒で、スキャナでドキュメントのスキャンが開始され、スキャンした画像のサムネイルが表示されます。



- サムネイル画像をタップすると画像全体を確認できます。

6 本製品の設定をカスタマイズする

本章は、特に本製品を管理する担当者を対象としています。機器をインストールする前に、管理者が本章に目を通しておくことを推奨します。

本製品の設定は、液晶タッチパネルからカスタマイズすることができます。タッチスクリーンを使う以外にも、本製品に組み込まれたウェブページを起動して、遠隔操作で機器を設定することもできます。これらの2つの方法で、本製品の設定をカスタマイズする方法について、次のセクションで説明します。



注:

初めて本製品をインストールする場合は、管理者が規定のシステム設定を残しておくことを推奨します。操作や機能に慣れた後に、後ほど設定をカスタマイズすることができます。

タッチスクリーンから本製品の設定をカスタマイズする

タッチスクリーンの **[Settings(設定)]** ボタンを押します。デフォルトのユーザー名とパスワード [admin]でログインしてください。パスワードは後ほどウェブページで変更できます。次のように、**[Settings(設定)]**画面が表示されます。

[Network]、[Service Mode]、[Information]などのオプションが表示されます。

Network :

[Network]をタップして、スキャナーの有線または無線情報を構成します。

Service Mode (サービスモード) :

[Service Mode]をタップして、FW アップロード、Reset to Default(デフォルトにリセット)、Run-in Test、Save Log (保存ログ)、LCM テストなどのサービスモードのオプションにアクセスします。



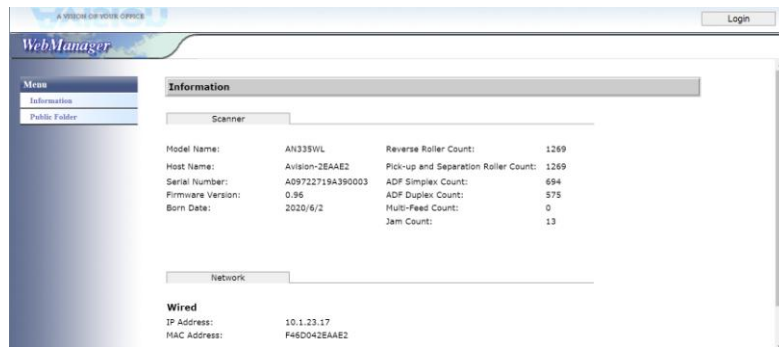
これらのオプションについては、次のセクション「サービスモードへのアクセス」(68 ページ)で説明します。

Information(情報) :

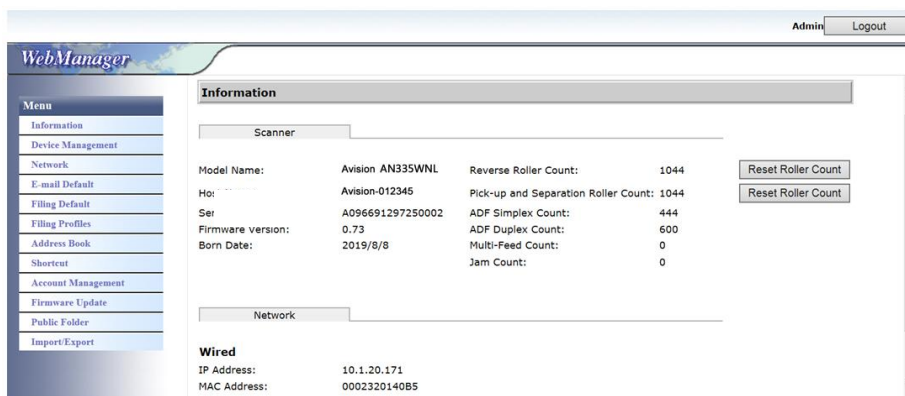
[Information]をタップすると、スキャナーの基本情報が表示されます。

本製品のウェブページから本製品の設定をカスタマイズする

1. ブラウザを開きます。
2. ブラウザの URL 欄に本製品の IP アドレスを入力して、Enter (入力) キーを押します。本製品に組み込まれたウェブページが表示されます。



3. ウェブページの全ての情報にアクセスするには、デフォルトのユーザー名とパスワード [admin] でログインしてください。パスワードは後ほどウェブページで変更できます。



タブ内の各項目をクリックして、適切な値を設定します。各設定の詳細については、次章「本製品の設定の概要」を参照してください。

本製品の設定の概要

情報:本製品の基本情報が表示されます。

スキャナ	
項目	説明
Model Name(モデル名)	本製品のモデル名が表示されます。
Host Name(ホスト名)	有線および無線環境のスキャナ用に、本製品のホスト名(Avision-xxxxxx)が表示されます。xxxxxx は本スキャナの MAC アドレスの最後の 6 桁を示しています。
Serial Number(シリアル番号)	本製品の現在の時刻が表示されます。時刻の表示形式は 24 時間制です。
Firmware Version(ファームウェアバージョン)	ファームウェアバージョンが表示されます。
Born Date(製造日)	製造日が表示されます。
Scan Count(スキャンカウント)	スキャンカウントには、リバースローラーカウント(Reverse Roller Count)、ピックアップ&分離ローラーカウント(Pick-up and Separation Roller Count)、ADF 片面カウント(ADF Simplex Count、Multi-Feed Count(マルチフィードカウント)、Paper Jam Count(用紙詰まりカウント)があります。 Reset Roller Count(ローラーカウントのリセット) :ローラーを交換した後は、このボタンをクリックしてローラーカウントをリセットします。
ネットワーク	
項目	説明
Wired(有線)	有線ネットワーク環境での、本製品の IP および MAC アドレスが表示されます。
Mail Server(メールサーバー)	IP アドレスや暗号化方式、ログイン情報を含めた、本製品のメールサーバー情報が表示されます。
Wireless AP(無線 AP)	無線ネットワーク環境での、本製品の AP(アクセスポイント)の IP および MAC アドレスが表示されます。
AP Mode(AP モード)	無線ネットワーク環境での、本製品の SSID(ネットワーク名)および IP アドレスが表示されます。

デバイス管理

一般: 本製品の一般情報を設定するのに使用します。

General (一般)	
項目	説明
Host Name (ホスト名)	Avision-xxxxxx: 有線および無線環境における本スキャナのネットワーク名 (SSID) です。Xxxxxx は本スキャナの MAC アドレスの最後の 6 桁を示しています。
NTP Server (NTP サーバー)	本製品の NTP サーバーの指定に使用します。
Date (日付)	本製品の現在の日付の指定に使用します。
Time (時刻)	本製品の現在の時刻の指定に使用します。時刻の表示形式は 24 時間制です。
Time Zone (タイムゾーン)	ユーザーがいる地域のタイムゾーンの指定に使用します。
Power Saving (節電)	最後のアクションから節電モードに入るまでの時間の指定に使用します。範囲: 1 ~ 240 分 (* 15 分)
Enable Auto Power Off (自動電源オフを有効にする)	チェックすると自動電源オフが有効になります。範囲: 0 ~ 480 分 (*240 分)
Screen Off (画面オフ)	最後のアクションから画面をオフにするまでの時間の指定に使用します。 選択肢: * Never (オフにしない)、3 min (3 分)、5 min (5 分)、10 min (10 分)
Device E-Mail Address (デバイスの電子メールアドレス)	デバイスの電子メールアドレスを入力します。ファイリングレポートを電子メールアドレスに送信する場合は、この電子メールアドレスは、ファイリング機能の [Report to E-mail (レポート先電子メール)] アドレスとして機能します。
Multi-Feed Detection Def. (マルチフィード検出定義)	超音波ユニットを介するマルチフィード検出を有効または無効にするために使用します。 超音波マルチフィード検出を用いて、文書間の紙の厚みを検出することにより、重なった文書を設定することができます。 選択肢: オン/* オフ
Reset to User Default (ユーザーのデフォルトにリセット)	最後のアクション後にユーザーのデフォルトモードに戻る時間を設定します。 選択: ON / OFF、30 秒、1 分、3 分、5 分。
Auto Add Contact to Address Book (アドレス帳に連絡先を自動追加)	送信後に住所録に連絡先を自動的に追加する。

Admin Profile (管理者プロフィール)	本製品のウェブページにログインするログイン名とパスワードを指定するのに使用します。 E-mail Address (電子メールアドレス) : 管理者の電子メールアドレスを指定するのに使用します。
Function Lock (機能ロック)	
Scan to USB (スキャンして USB へ)	機能を有効または無効にするのに使用します。選択肢: *ON (オン) / OFF (オフ)
A+ Manager Settings (管理者センター設定)	
A+ Manager Settings (管理者センター設定)	[Enable (有効)] にチェックを入れて特定のサーバーの IP アドレスを入力すると、システムのログファイルが送信され、早急に解決方法を得ることができます。
*: 工場出荷時の設定	

ネットワーク本製品のネットワーク設定の特定に使用します。

項目	説明								
Wired(有線)									
DHCP:	<p>本製品の IP アドレスが、DHCP または静的 IP のどちらに割り当てられたかを特定するために使用します。</p> <p>Choice(選択肢): OFF(オフ)、ON(オン)</p> <p>DHCP サーバーがネットワーク上にあり DHCP が有効になっている場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーが自動的に割り上げられます。</p> <table border="1"> <tr> <td>IP Address(IP アドレス)</td> <td>ネットワーク管理者が機器に割り当てた、インターネットプロトコル(IP) アドレスです。</td> </tr> <tr> <td>Subnet Mask(サブネットマスク)</td> <td>ネットワーク管理者によって割り当てられた、ネットマスクのアドレスです。</td> </tr> <tr> <td>Gateway IP(ゲートウェイ IP)</td> <td>ネットワーク管理者によって割り当てられた、ゲートウェイ IP のアドレスです。</td> </tr> <tr> <td>DNS Server (DNS サーバー)</td> <td>ネットワーク管理者によって割り当てられた、ドメインネームサーバーです。</td> </tr> </table>	IP Address(IP アドレス)	ネットワーク管理者が機器に割り当てた、インターネットプロトコル(IP) アドレスです。	Subnet Mask(サブネットマスク)	ネットワーク管理者によって割り当てられた、ネットマスクのアドレスです。	Gateway IP(ゲートウェイ IP)	ネットワーク管理者によって割り当てられた、ゲートウェイ IP のアドレスです。	DNS Server (DNS サーバー)	ネットワーク管理者によって割り当てられた、ドメインネームサーバーです。
IP Address(IP アドレス)	ネットワーク管理者が機器に割り当てた、インターネットプロトコル(IP) アドレスです。								
Subnet Mask(サブネットマスク)	ネットワーク管理者によって割り当てられた、ネットマスクのアドレスです。								
Gateway IP(ゲートウェイ IP)	ネットワーク管理者によって割り当てられた、ゲートウェイ IP のアドレスです。								
DNS Server (DNS サーバー)	ネットワーク管理者によって割り当てられた、ドメインネームサーバーです。								
メールサーバー									
項目	説明								
Mail Server(メールサーバー)	SMTP サーバー(メールサーバー)の IP アドレスを入力します。								
SMTP ポート番号 (SMTP Port #)	SMTP サーバーのポート番号を入力します。 * 25								
Authentication Method(認証方式)	電子メール認証方式を有効にする場合に選択します。 Choice(選択肢): OFF(オフ)、*ON(オン)								
Encrypt(暗号化)	SMTP サーバーに送る電子メールの暗号化方式を選択します。 Choice(選択肢): *None(なし)、STARTTLS、SSL/TLS								
Login Name(ログイン名)	SMTP 認証用のログイン名を入力します。								
Password(パスワード)	SMTP 認証用のログイン名を入力します。								
* :工場出荷時の設定									

LDAP 設定	
項目	説明
Authentication LDAP(認証 LDAP)	LDAP サーバーの IP アドレスとポート番号を入力します。
New(新規)	新しい LDAP 設定を設定します。 LDAP サーバーの IP アドレスとポート番号、LDAP サーバーにアクセスするためのログイン名とパスワード、そして検索情報を入力します。 注: LDAP サーバー情報は、ネットワーク管理者に確認してください。
Delete(削除)	既存の LDAP 設定を削除します。
Edit(編集)	既存の LDAP 設定の情報を編集します。

電子メールデフォルト: 本製品の電子メール用スキャン設定のデフォルト指定に使用します。

デフォルトのスキャン設定には 5 つのタブがあります。それぞれ、Basic(基本)、E-mail Option(電子メールオプション)、Advanced Settings(詳細設定)、Layout Adjustment(レイアウト調整)となります。各タブにあるオプションの詳細については、前セクション 30 ページの「スキャンして、ドキュメントを電子メールアドレスに送信する」にある設定の説明を参照して下さい。

ファイリングデフォルト: 本製品のファイリング用スキャン設定のデフォルト指定に使用します。デフォルトのスキャン設定には 5 つのタブがあります。それぞれ、Basic(基本)、E-mail Option(電子メールオプション)、Advanced Settings(詳細設定)、Layout Adjustment(レイアウト調整)となります。各タブにあるオプションの詳細については、前セクション 35 ページの「スキャンして、ドキュメントをネットワークフォルダ、USB フラッシュドライブ、パブリックフォルダに送信する」にある設定の説明を参照して下さい。

ファイリングプロファイル:FTP、SMB、USB(挿入したUSBフラッシュドライブ)、パブリックフォルダ(本製品のメモリ)を含むファイル送信先の設定および管理に使用します。

項目	説明
Add(追加)	新しいファイリングプロファイルを追加します。 [Basic(基本)], [Advanced Settings(詳細設定)], [Layout Adjustment(レイアウト調整)]タブに情報を入力します。 各タブにあるオプションの詳細については、前セクション 35 ページの「スキャンして、ドキュメントをネットワークフォルダ、USBフラッシュドライブ、パブリックフォルダに送信する」にある設定の説明を参照して下さい。
Delete(削除)	既存のプロファイルを削除します。
Edit(編集)	既存のプロファイルを編集します。
Folder Name(フォルダ名)	送信先のフォルダ名の指定に使用します。

アドレス帳:アドレス帳の作成または編集に使用します。オプションには、Add(追加)、Edit(編集)、Delete(削除)、Group(グループ)があります。

ショートカット:液晶タッチパネルに表示される本製品のショートカットの設定に使用します。

項目	説明
Destination(送信先)	選択肢: USB Flash(USBフラッシュ)、Public Folder(パブリックフォルダ)、FTP、FTPS、SMB、E-mail(電子メール) オプション: New(新規)、Edit(編集)、Delete(削除)

アカウント管理:ユーザーの設定と、アカウントの認証方法を割り当てることで、本製品のコピー、電子メール、クラウド、ファイリング機能の使用を含むユーザーの権限の設定に使用します。

基本	
項目	説明
Enable Security Management(セキュリティ管理を有効にする)	チェックを入れると、アカウントがセットアップされLDAP認証が有効になり、セキュリティが実施されます。
Enable Guest Account(ゲストアカウントを有効にする)	チェックを入れるとゲストアカウントが許可されます。
Enable LDAP Authentication(LDAP認証を有効にする)	チェックを入れるとLDAP認証が有効になります。
Default Enable Function(デフォルトで有効にする機能)	実行を許可する機能の名前(ショートカット、クラウド、電子メール、ファイリング、スキャンしてPCへ、APモード、スキャンキャスト)にチェックを入れます。

アカウントリスト	
項目	説明
New(新規)	新しいアカウントを設定します。 ユーザー名、パスワード、電子メールアドレスを入力し、実行を許可する機能にチェックを入れて、LDAP 認証を使う場合はこれにチェックを入れます。
Delete(削除)	既存のアカウントを削除します。
Edit(編集)	既存のアカウントの情報を編集します。

ファームウェアの更新:まず最初にウェブサイト(www.avision.com)から最新のファームウェアファイル入手してください。その後[Browse(参照)]をクリックして、コンピュータ上のファイルを見つけます。最後に[Update(更新)]をクリックして、本製品を最新のファームウェアにアップデートします。

液晶タッチスクリーンからのみカスタマイズできる設定

例えばサービスモードなど、液晶タッチスクリーンからのみ設定できるアクティビティがいくつかあります。サービスモードは、早急に問題を解決するために、システムのフォルファイルを保存したり、ファームウェアを更新するためのものです。

サービスモードにアクセスする

サービスモードにアクセスする方法

1. 液晶画面で[Settings(設定)]を選択して[Service Mode(サービスモード)]を選びます。
2. 以下のオプションが含まれたサービスモード画面が表示されます。[FW Updated(ファームウェア更新済み)]、[Reset to Default(デフォルト値にリセット)]、[Run-in Test(通電テスト)]、[Save Log(ログの保存)]。

FW Updated(ファームウェア更新済み):	次の手順に従って、ファームウェアを更新します。 <ol style="list-style-type: none">1. ウェブサイト(http://www.avision.com)から最新のファームウェアファイル入手します。2. USB リムーバブルディスクにファームウェアファイルを保存します。3. USB リムーバブルディスクを本機器の USB ディスクポートに差し込みます。4. [FW Updated(ファームウェア更新済み)]をタップしてファームウェアファイルを更新します。
Reset to Default(デフォルト値にリセット):	選択には[Reset Admin(管理者のリセット)]、[Reset Network Settings(ネットワーク設定のリセット)]、[Reset Admin and Network(管理者およびネットワークのリセット)]、[Reset to Factory Default(工場出荷時の設定にリセット)]があります。 Reset Admin(管理者のリセット): 本製品のウェブページのログインユーザー名とパスワードをリセットします。 Reset Network Settings(ネットワーク設定のリセット): ネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。 Reset Admin and Network(管理者およびネットワークのリセット): ログイン情報とネットワーク設定の両方をデフォルトに戻します。 Reset to Factory Default(工場出荷時の設定にリセット): すべての設定を工場出荷時の値に戻します。
Run-in Test(通電テスト):	社内情報です。
Save Log(ログの保存):	USB リムーバブルディスクを本機器の USB ポートに差し込み、[Save Log(ログの保存)]をタップしてシステムのログファイルを保存します。

本製品のウェブページからのみカスタマイズできる設定

本製品のウェブページからのみ設定できるアクティビティがいくつかあります。例としては、[**Device Management (デバイス管理)**]、[**Import/Export (インポート/エクスポート)**]、[**Public Folder (パブリックフォルダ)**]にある一部のオプションがあります。次のセクションでは、これらのオプションの使い方について説明します。

システムデータをエクスポート・インポートする

ネットワーク上にある複数台の XXXX を簡単に管理できるように、本製品にはシステム管理者が 1 台の XXXX からシステムデータをファイルにエクスポートして、このデータをネットワーク上の他の XXXX にインポートする機能が含まれています。(XXXX はモデル番号を示します)

例えば、まず最初に 1 台の XXXX からアドレス帳、ファイリングプロファイル、およびデフォルトシステム設定をバックアップとしてファイルにエクスポートしておいて、その後これらのファイルを他の XXXX にインポートすることができます。

システムデータをエクスポートしてからインポートするには、以下の手順に従ってください。

システムデータをエクスポートする方法

1. 本製品のウェブページで[**Import/Export (インポート/エクスポート)**]を選択します。
2. エクスポートしたいシステムデータを選択します。選択肢: アドレス帳、ファイリングプロファイル、設定(デバイス管理、アカウント管理、メールサーバー/LDAPサーバー、電子メールのデフォルト、ファイリングのデフォルト)。
3. [**Export Now (今すぐエクスポートする)**]を選択します。選択したシステムデータがファイルにエクスポートされます。[**Address Book (アドレス帳)**]を選択した場合、XXXX_addressbook.csvファイルが生成されます。[**Filing Profile (ファイリングプロファイル)**][**Settings (設定)**]を選択した場合、XXXX_profile.jsonまたはXXXX_settingが生成されます。(XXXXはモデル番号を示します)
4. エクスポートしたファイルを、バックアップとしてコンピュータに保存します。

パブリックフォルダにアクセスする

本機器では、スキャンした画像を一時的に本製品のメモリに保存してから、本製品のウェブページからスキャンした画像にアクセスすることができます。次の手順に従って、スキャンした画像にアクセスします。

スキャンした画像にアクセスする方法

1. 本製品のウェブページで[Public Folder(パブリックフォルダ)]を選択します。
2. ピン番号を入力するダイアログボックスが表示されます。必要に応じて、パブリックフォルダにアクセスするピン番号を入力します。
3. [Public Folder(パブリックフォルダ)]でスキャンしたファイルを選択し、[Download(ダウンロード)]をクリックして、ファイルをコンピュータにダウンロードします。

注: スキャンした画像は、本製品のメモリに24時間だけ保管されます。24時間後、画像ファイルは自動的に削除されます。

7 通常のスキャナとして本製品を利用する

ソフトウェアのインストール

ご注意：

- 最初のコンピュータにスキャナを接続する前にスキャナドライバをインストールしてください。
- スキャナドライバにはTWAIN、ISIS、WIAドライバが含まれます。スキャナドライバのインストールが完了した後に、このスキャナではTWAIN、ISISまたはWIA経由でスキャンを行うことができます。TWAIN準拠の画像編集ソフトウェアアプリケーションを起動して、TWAINまたはWIAユーザーインターフェースまたはISISソフトウェアを選択して、ISISユーザーインターフェースを選択します。Microsoftのスキャナとカメラウィザードを起動して、WIAユーザーインターフェース経由でスキャンすることもできます。

1. 付属のCDをご使用のCD-ROMドライブに入れます。下図のようなインストールメニューが表示されます。
2. ソフトウェアのインストールグラフィックが表示されます。、「setup.exe」を実行していない場合。



インストール画面の内容：

- **スキャナドライバのインストール：** スキャナと通信を行うには、スキャナドライバをインストールする必要があります。

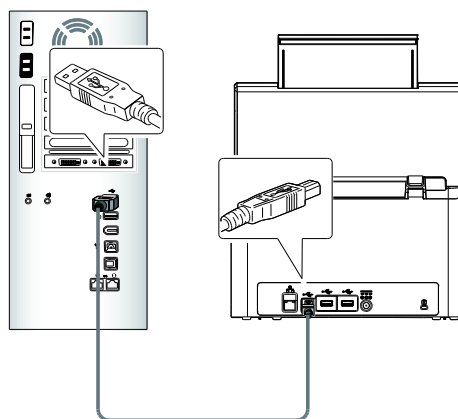
- ボタンマネージャのインストール： 使用する関数[BM2 Air]には、ボタンマネージャV2ソフトウェアアプリケーションをインストールする必要があります。
 - **Virtual Scanner Link**のインストール： ネットワーク内で、ご利用のコンピュータをスキャナーに接続するには、Network Setup Toolをインストールする必要があります。
 - **AVSCAN X** のインストール： スキャンし、複数ページの文書を整理するためには、簡単かつ効果的に管理するためのソフトウェアアプリケーションをインストールすることができます。
 - マニュアルの表示： **【マニュアルの表示】** をクリックして、スキャナとボタンマネージャの詳しいユーザーズマニュアルを表示や印刷ができます。
3. 「スキャナドライバのインストール」をクリックしてスキャナドライバをインストールし、「**Button Manager V2** のインストール」をクリックしてコンピュータに **Button Manager V2** をインストールします。

コンピュータへの接続

USB ケーブルを介する方法

1. USBケーブル正方形の端子(注1)をスキャナーのUSBポートに接続します。お使いのパソコンの後側にあるUSBポートに長方形の端子を接続してください。

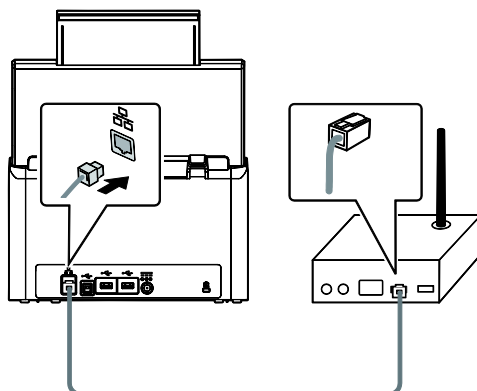
注：最適なスキャン速度を確保するために、外部インタフェースに **USB3.2 Gen 1x1** を採用します。お使いのパソコンが **USB3.2 Gen 1x1** に対応している場合は、必ずお使いのパソコンの後側にある、青色で区別された **USB3.2 Gen 1x1** ポートにスキャナを接続してください。USB3.2 Gen 1x1 接続により、スキャン速度を向上でき、また、**USB 2.0/1.1** にも互換性があります。



2. コンピュータはこのUSB装置を検出して“New Hardware Found (新しいハードウェアが検出されました)”というメッセージを表示するはずですが。
3. 画面の指示に従い、次へボタンをクリックして続行します。認証画面が表示されたら、続行をクリックしてインストールを完了します。
4. **Finish (完了)**ダイアログボックスが表示される時、**Finish (完了)**ボタンをクリックします。

有線ネットワークを介する方法

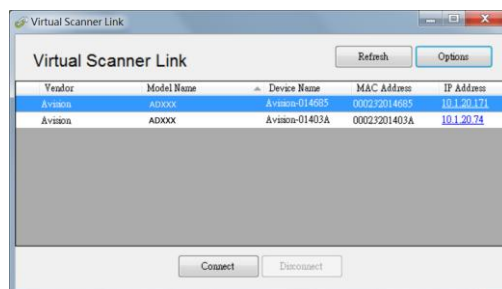
1. イーサネット LAN ケーブルの一端をイーサネットハブの空きポートに接続します。
2. もう一方の端を本製品の裏側にある LAN ポートに接続します。



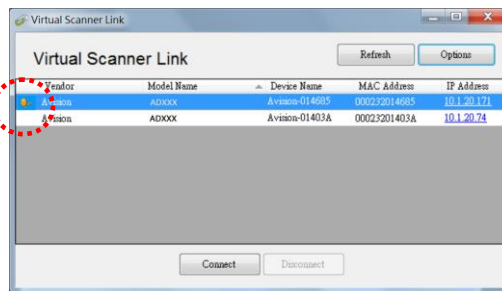
ネットワークスキャナーへの接続

ネットワークスキャナーに接続する前に、Virtual Scanner Link (Network Setup Tool) が、ご利用のコンピュータにインストールされていることを確認してください。 Network Setup Tool は、付属の CD に含まれています。

1. **Start (スタート) > All Programs (すべてのプログラム) > Avison Virtual Scanner (Avison 仮想スキャナー) > Virtual Scanner Link (仮想スキャナーリンク)** を選択することにより、**[Virtual Scanner Link (仮想スキャナーリンク)]** を起動します。メインウィンドウが表示され、自動的にネットワーク内のスキャナーが検索されます。数秒後、スキャナーモデルとスキャナーの IP アドレスを含む結果が、下に示すように表示されます。



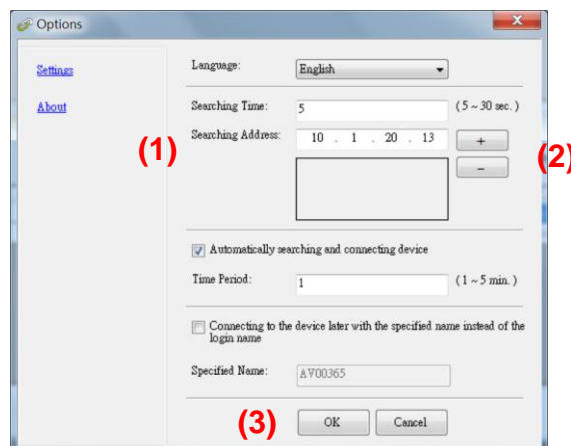
2. 接続するスキャナーを選択し、**[Connect (接続)]** を押します。接続に成功すると、下に示すように接続マークが表示されます。



3. スキャナーの接続に成功した後、ご利用の TWAIN 互換画像編集ソフトウェアを起動し、スキャンを開始します。

注：

- ネットワークスキャナーは、同時に 1 人のユーザーのみが使用できます。 ネットワークスキャナーが、他ユーザーにより使用中である場合、後でスキャナーに接続するよう促すメッセージが表示されます。 スキャナーが利用可能である場合、スキャナーに接続する旨のメッセージが表示され、ドキュメントのスキャンが開始されます。
- ネットワークスキャナーが検索されない場合、スキャナーとご利用のコンピュータが、同じ LAN 内に無い可能性があります。 この場合、スキャナーに固有の IP アドレスを割り当て、自動的に [Virtual Scanner Link (仮想スキャナーリンク)] が、スキャナーを検索できるようにすることができます。 [Option (オプション)] ボタンをクリックし、[Searching Address (アドレスの検索)] フィールド **(1)** に IP アドレスを入力し、次に [+] ボタン **(2)** をクリックし、最後に [OK] **(3)** をクリックして、完了します。

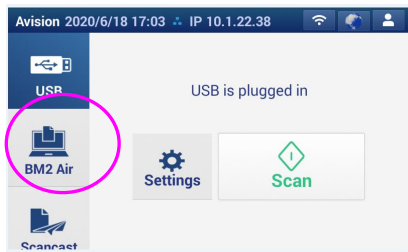


- 検索時間：プログラムを起動すると、自動的にネットワーク内のスキャナーを 5 秒間 (デフォルト) 検索します。 検索時間を 5 ~ 20 秒の範囲で変更することができます。
- [Virtual Scanner Link (仮想スキャナーリンク)] プログラムを閉じ、その後、再度、起動した場合、[Virtual Scanner Link (仮想スキャナーリンク)] は、自動的に以前接続していたネットワークスキャナーを検索し、接続します。
- スキャナーがスリープモードに入る、または電源を切って再起動させても、接続は常に有効です。VSLは以前接続したスキャナーを自動的に検出し、再接続します。
- [デバイスを自動的に検索し接続する]:スリープモード中のデバイスを復帰させる場合やオフになっているデバイスを再度オンにする場合に、時間 (1 ~ 5 分) を入力し、指定した時間ごとにデバイスに VSL を再接続する場合は、このオプションにチェックを入れてください。
- [長い名前の代わりに指定した名前を使ってデバイスを接続する]:このオプションにチェック入れ、コンピューターの希望の名前を入力します。ただし、デバイスを再接続し、状態を更新する必要があります。

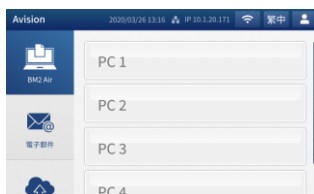
ネットワークスキャナーで他のコンピューターに切り替える方法

ネットワークスキャナーをネットワーク内の他のコンピューターに接続するには、以下の手順に従ってください。

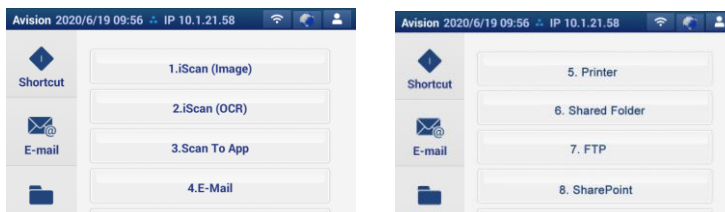
1. スキャナーの電源をオンにします。
2. LAN (イーサネット) ケーブルがスキャナーに接続されていること、および仮想スキャナーリンク (VSL) がコンピューターにインストールされていることを確認してください。
3. **Start>All Programs>Avision Virtual Scanner>Virtual Scanner Link** を選択して、**[Virtual Scanner Link]** を起動させます。メインウィンドウが表示され、ネットワーク内のスキャナーが自動的に検索されます。
4. VSL のメインウィンドウで、スキャナーを接続します。
5. [スタート]>[すべてのプログラム]>[Avision ボタンマネージャー] を選択して、ボタンマネージャー 2 を開きます。
6. スキャナーの画面で、**[BM2Air]** をタップします。



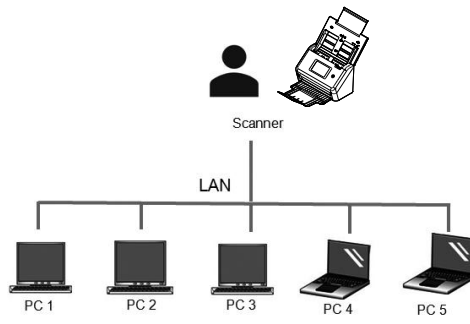
7. スキャナーに接続しているコンピューター (長い名前) のリストが表示されます。



8. 接続したいコンピューターをタップします。ボタンパネルが表示されます。
9. 希望のボタン番号または宛先をタップします。



10. スキャナーが、用紙の給紙を開始して、指定したアプリケーションまたは宛先にスキャンした画像を送信します。



スキャナのインストールの確認

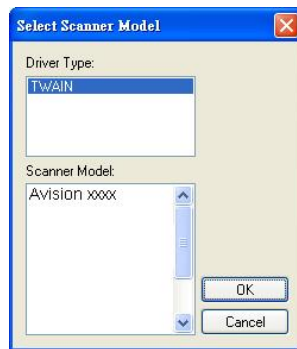
スキャナが正しくインストールされたかどうかを確認するため、**Capture Tool** という便利なテストプログラムを用意しています。このツールを使い、簡単なスキャンを実行し、取り込まれた画像を確認できます。また、指定の速度でスキャンを実行することができます。

以下の手順でスキャナのインストールを確認してください。インストールが正しく行われていない場合は、前章をご覧になり、ケーブル接続やスキャナドライバのインストールについてご確認ください。

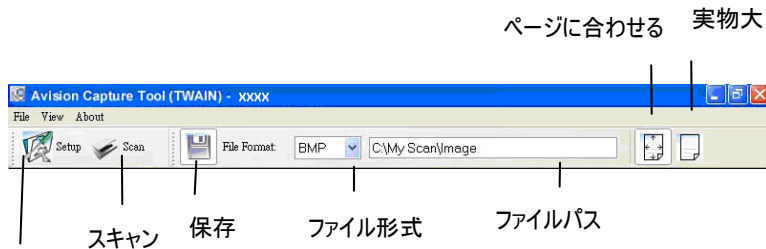
スキャナの電源を入れてください。

1. [スタート] - [プログラム] - [Avision xxx Scanner] - [Avision Capture Tool] を選択します。(xxx:model)

[スキャナモデルの選択] のダイアログボックスが表示されます。




2. ドライバタイプとスキャナモデルを選択し、[OK] をクリックします。以下の **Avision Capture Tool** のダイアログボックスが表示されます。



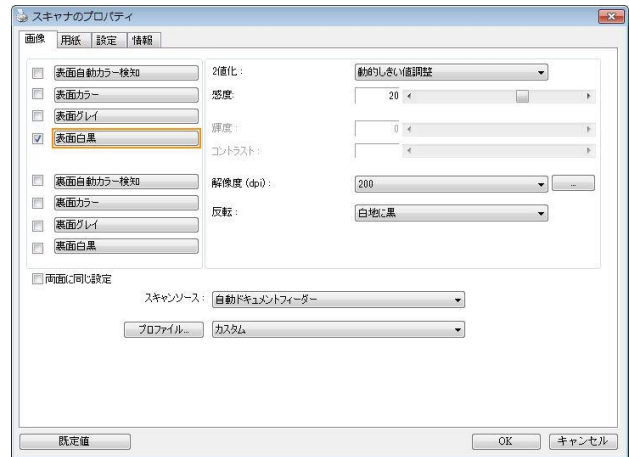
セットアップ


3. ファイル形式のドロップダウンリストから、ファイル形式を選択します (既定値は JPEG ですが、TIFF, MTIFF, PDF, MPDF, GIF、BMP などからも選択できます)。
4. ファイルパスの欄に任意のフォルダ名とファイル名を入力してください (既定値は C:¥Documents and Settings¥User Name¥My Documents¥My Scan¥Image です)。

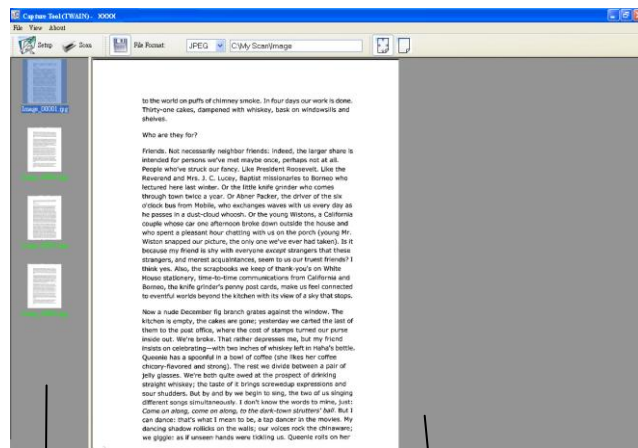
メモ: スキャンした画像を保存しない場合は、[保存] ボタンの選択を解除してください (既定では有効になっています)。保存を解除すると、サムネイル表示ができなくなります。このため、スキャンしたすべての画像を表示した後、最後の画像が画面に表示されたままとります。

5. セットアップボタン () をクリックするか、または [ファイル] メニューから [セットアップ] を選択し、[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスを表示してください。

画像選択欄





6. 画像選択欄でスキャンした画像の種類を選択してください。(既定値は表面 B&W です)。両面スキャナをお持ちの場合、表面と裏面の両方を選択し、ドキュメントの両面をスキャンすることもできます。
7. [OK] ボタンをクリックして、[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスを終了します。([スキャナのプロパティ] ダイアログボックスに関する詳細は、「スキャナのプロパティダイアログボックスを使用する」の章をご覧ください。)
8. ADF に文書の表を上にして、またはガラス面に向けて置いてください。
9. [スキャン確認] のダイアログボックスで、[スキャン] ボタン () をクリックするか、または [ファイル] メニューから [スキャン] を選択してください。
10. 文書がスキャンされ、[スキャン確認] 画面に表示されます。スキャンされた画像が表示されると、スキャナのインストールの確認は完了です。



サムネイル表示

ページに合わせる

11. スキャンされた画像は、右側の表示ツールバーを押し、ページに合わせて () 表示させるか、または実物大(100%) () で表示することができます。
12. 右上の終了マーク(X)をクリックするか、[ファイル] メニューから [閉じる] または [終了] をクリックし、Capture Tool を終了します。

ユーザインタフェースの一覧



1. タブ	選択： Image (画像)、Compression (圧縮)、Color Dropout (カラードロップアウト)、Paper (用紙)、Multi-Feed Detection (用紙重送検知)、Preview (プレビュー)、Options (オプション)、Settings (設定)、Information (情報)。
2. 画像タイプ	画像タイプとスキャンしたい面を選択します。
3. 輝度	輝度レベルを-100～+100 調節します。
4. コントラスト	コントラストレベルを-100～+100 調節します。
5. 解像度	スキャンされた画像の品質を決めます。標準解像度は200dpi です。
6. 反転	スキャンされた画像の色を反転します。
7. スキャンソース	オプション：自動原稿送り装置(Auto Document Feeder)、フラットベッド、自動(スキャナーモデルにより異なります。)
8. デフォルト値	タブ上の全ての値を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

8 【スキャナのプロパティ】ダイアログボックスの使い方

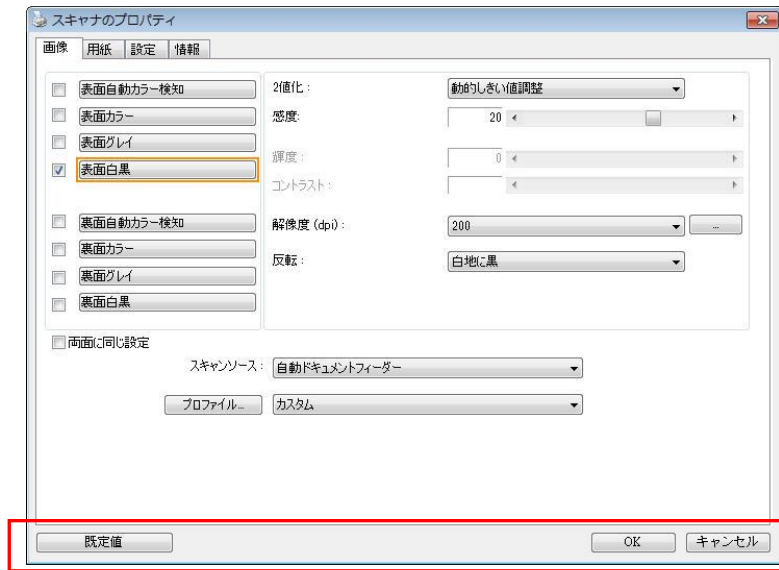
【スキャナのプロパティ】ダイアログボックスでは、スキャナの様々な設定を行うことができます。この章では、このダイアログボックスに含まれる各タブ付ウィンドウについて説明しています。

注: この章では、デュプレックス（両面）スキャナを基に全オプションが使用可能です。シンプレックス（片面）スキャナをお買い上げの場合は、片面のみで全オプションが使用可能です。



【スキャナのプロパティ】ダイアログボックス

[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン



[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン

ボタン	説明
既定値	[既定値] ボタンをクリックすると、各タブで工場出荷時の既定値が表示されます。
Cancel (キャンセル)	[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスを終了するときには、 Cancel [キャンセル] ボタンをクリックします。

下の表に既定値を示します：

タブの名前	既定値
画像	画像：前面白黒 2 値化：動的しきい値 解像度：200 dpi 反転：白地に黒 スキャン ソース：自動ドキュメントフィーダー しきい値：なし 輝度：なし コントラスト：なし
圧縮	なし
ドロップアウト カラー	なし
用紙	切り抜き：自動 傾き補正：あり 方向：垂直 オーバースキャン：0.00 単位：インチ
マルチフィード検出	なし
プレビュー	なし
オプション	回転角度：なし 白紙ページの削除：なし エッジフィル：白、0 mm 画像コントロール オプション：なし
設定	省電力設定： 有効、最後のスキャンから 15分後 スキャン過程を表示：はい 警告メッセージを表示：はい 閉じた後設定を保存：はい
プリンタ	デジタルプリンター


タブの表示と非表示を切り替える

初期設定では[スキャナプロパティ] ダイアログボックスが開き、Image (画像)、Paper (用紙)、Information (情報) の 3 つの基本タブが表示されます。他のタブを表示するには、[スキャナプロパティ] アイコンをクリックし、他のスキャン設定にアクセスします。

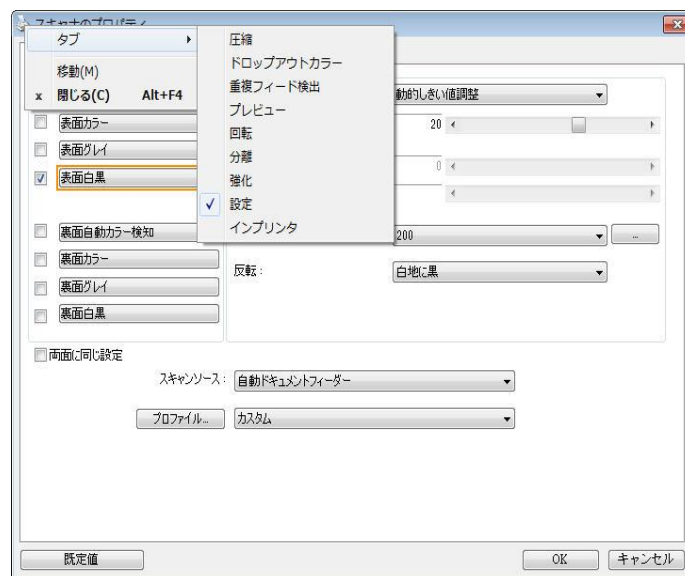
他のタブを表示するには、

1. 左上隅の [スキャナプロパティ] アイコン () をクリックし、[Tab (タブ)] を選択して利用できるタブ名を表示します。利用できるタブには、Compression (圧縮)、Color Drop out (カラードロップアウト)、Preview (プレビュー)、Rotation (回転)、Separation (分離)、Multi-Feed (用紙重送)、Options (オプション)、Settings (設定)、Imprinter (インプリンタ)があります。(注記: オプションはスキャナモデルによって異なります。)
2. 表示するタブを選択します。選択したタブにチェックマークが付き、[スキャナプロパティ] ダイアログボックスに内に表示されるようになります。
3. 設定にアクセスするには、[スキャナプロパティ] ダイアログボックスの上部で選択されたタブをクリックします。選択されたタブのページが表示されます。

タブウィンドウを非表示にするには、

1. 左上隅の [スキャナプロパティ] アイコン () をクリックし、[Tab (タブ)] を選択して利用できるタブ名を表示します。
2. 非表示にするタブを選択します。選択したタブが [スキャナプロパティ] ダイアログボックスで非表示になります。

注記: [Image (画像)], [Paper (用紙)], [Information (情報)] タブはデフォルト設定で表示するようにプログラムされているため、非表示にはできません。



画像タブ

[画像] タブでは、ドキュメントの表面または裏面、画像タイプなどを選択し、様々なスキャンの基本設定を行うことができます。解像度を除き、表面と裏面のスキャン設定は別々に行うことができます。タブ別に見ると、[画像] タブ、[圧縮] タブ、[ドロップアウト カラー] タブのすべての設定は、表面と裏面で別々な設定が可能です。一方、[用紙] タブ、[オプション] タブ、および [設定] タブは、表面と裏面が一致している必要があります。



[画像] タブのダイアログ ボックス

画像選択ボックス

||
||
||
||
||
||
||
||
||

【画像選択】 ボックスには、画像タイプとドキュメント表面/裏面オプションが含まれます。カラー ドキュメントの表面と裏面の両方をスキャンする場合は、[表面カラー] と [裏面カラー] の両方をチェックしておきます。オプションはスキャナタイプにより異なります。

例 1: 両面カラー ドキュメントの表面と裏面をカラー スキャン

<table border="1"> <tr><input type="checkbox"/> 表面自動カラー検知</tr></table>

表面/裏面および
画像選択

 表面 | 裏面 |

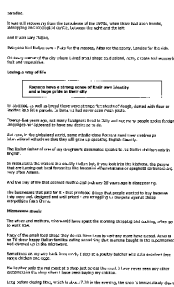
例 2: 両面カラー ドキュメントを、片面を白黒でスキャンし、もう片面をカラーでスキャン

<table border="1"> <tr><input type="checkbox"/> 表面自動カラー検知</tr></table>

表面/裏面および
画像選択

 表面 | 裏面 |

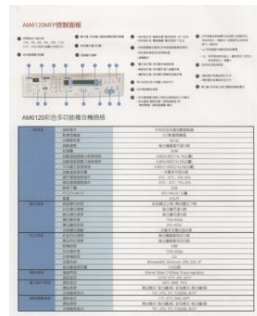
画像タイプ	説明
カラー	カラー画像を本来の色でスキャンする場合は、[カラー] を選択します。
グレイ	原稿に灰色の影が含まれている場合、[グレイ] を選択します。
白黒	原稿に文字、鉛筆やペンによるスケッチのみが含まれる場合、[白黒] を選択します。



白黒



グレイ



カラー

表面/裏面自動カラー検知：

クリックすると、カラー文書をカラー画像モードで自動検出し、表裏両面のスキャンを実行します。文書がカラーの場合、スキャナは自動的にカラー画像として取り込みます。文書がカラーではない場合は、非カラーセクションのオプションから白黒またはグレイモードの出力を選択できます。このオプションは、原稿にカラーとそうでない物が混在する場合に便利です。

注意：「表面自動カラー検知」を選ぶと、裏面の画像モードは指定できません。また、その逆の設定についても同様です。

自動カラー検知モード：

[前面/背面自動カラー検知] が選択されている場合、このモードは表示されません。選択肢には、ノーマル、紙の色を無視するが含まれます。請求書など背景色のある紙については、[紙の色を無視する] を選択すると、背景色が自動的に消去され、検知精度が向上します。

<p>通常</p>	<p>単色背景を無視する</p>

自動色検出の感度

主に白黒テキストで占められた少量の明色・淡色を含むドキュメントを、ファイルサイズ縮小のためにカラー画像として認識させたくない場合、バーを左に動かすことで感度値を下げ、これらの画像を白黒画像として検出させるようにできます。値の範囲は 1~100 で、デフォルト値は 37 です。

Standard	IEEE 802.11 b/g/n standards compliant
Wireless LAN	1T1R Mode
Frequency Range	2.400 ~ 2.4835GHz (subject to local regulations)
Number of Selectable Channels	802.11n: 20MHz/40MHz
	USA, Canada (FCC): 11 channels (2.412GHz~2.462GHz)
	802.11b/g: Europe (CE): 13 channels (2.412GHz~2.472GHz) Japan (TELECOM): 14 channels (2.412GHz~2.4835GHz)
Data Rate	802.11n: up to 150Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, 11Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps
Transmit Power(ERP)	11n HT40 MCS7 : +13 dBm
	11g OFDM: +15 dBm
	11b CCK: +18 dBm
Security	WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i

原本

<table border="1"> <tr> <td>Standard</td> <td>IEEE 802.11 b/g/n standards compliant</td> </tr> <tr> <td>Wireless LAN</td> <td>1T1R Mode</td> </tr> <tr> <td>Frequency Range</td> <td>2.400 ~ 2.4835GHz (subject to local regulations)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Number of Selectable Channels</td> <td>802.11n: 20MHz/40MHz</td> </tr> <tr> <td>USA, Canada (FCC): 11 channels (2.412GHz~2.462GHz)</td> </tr> <tr> <td>802.11b/g: Europe (CE): 13 channels (2.412GHz~2.472GHz) Japan (TELECOM): 14 channels (2.412GHz~2.4835GHz)</td> </tr> <tr> <td>Data Rate</td> <td>802.11n: up to 150Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, 11Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Transmit Power(ERP)</td> <td>11n HT40 MCS7 : +13 dBm</td> </tr> <tr> <td>11g OFDM: +15 dBm</td> </tr> <tr> <td>11b CCK: +18 dBm</td> </tr> <tr> <td>Security</td> <td>WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i</td> </tr> </table> <p>感度 : 1 (カラー画像として認識されます)</p>	Standard	IEEE 802.11 b/g/n standards compliant	Wireless LAN	1T1R Mode	Frequency Range	2.400 ~ 2.4835GHz (subject to local regulations)	Number of Selectable Channels	802.11n: 20MHz/40MHz	USA, Canada (FCC): 11 channels (2.412GHz~2.462GHz)	802.11b/g: Europe (CE): 13 channels (2.412GHz~2.472GHz) Japan (TELECOM): 14 channels (2.412GHz~2.4835GHz)	Data Rate	802.11n: up to 150Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, 11Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps	Transmit Power(ERP)	11n HT40 MCS7 : +13 dBm	11g OFDM: +15 dBm	11b CCK: +18 dBm	Security	WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i	<table border="1"> <tr> <td>Standard</td> <td>IEEE 802.11 b/g/n standards compliant</td> </tr> <tr> <td>Wireless LAN</td> <td>1T1R Mode</td> </tr> <tr> <td>Frequency Range</td> <td>2.400 ~ 2.4835GHz (subject to local regulations)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Number of Selectable Channels</td> <td>802.11n: 20MHz/40MHz</td> </tr> <tr> <td>USA, Canada (FCC): 11 channels (2.412GHz~2.462GHz)</td> </tr> <tr> <td>802.11b/g: Europe (CE): 13 channels (2.412GHz~2.472GHz) Japan (TELECOM): 14 channels (2.412GHz~2.4835GHz)</td> </tr> <tr> <td>Data Rate</td> <td>802.11n: up to 150Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, 11Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Transmit Power(ERP)</td> <td>11n HT40 MCS7 : +13 dBm</td> </tr> <tr> <td>11g OFDM: +15 dBm</td> </tr> <tr> <td>11b CCK: +18 dBm</td> </tr> <tr> <td>Security</td> <td>WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i</td> </tr> </table> <p>感度 : 100 (白黒画像として認識されます)</p>	Standard	IEEE 802.11 b/g/n standards compliant	Wireless LAN	1T1R Mode	Frequency Range	2.400 ~ 2.4835GHz (subject to local regulations)	Number of Selectable Channels	802.11n: 20MHz/40MHz	USA, Canada (FCC): 11 channels (2.412GHz~2.462GHz)	802.11b/g: Europe (CE): 13 channels (2.412GHz~2.472GHz) Japan (TELECOM): 14 channels (2.412GHz~2.4835GHz)	Data Rate	802.11n: up to 150Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, 11Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps	Transmit Power(ERP)	11n HT40 MCS7 : +13 dBm	11g OFDM: +15 dBm	11b CCK: +18 dBm	Security	WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i
Standard	IEEE 802.11 b/g/n standards compliant																																				
Wireless LAN	1T1R Mode																																				
Frequency Range	2.400 ~ 2.4835GHz (subject to local regulations)																																				
Number of Selectable Channels	802.11n: 20MHz/40MHz																																				
	USA, Canada (FCC): 11 channels (2.412GHz~2.462GHz)																																				
	802.11b/g: Europe (CE): 13 channels (2.412GHz~2.472GHz) Japan (TELECOM): 14 channels (2.412GHz~2.4835GHz)																																				
Data Rate	802.11n: up to 150Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, 11Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps																																				
Transmit Power(ERP)	11n HT40 MCS7 : +13 dBm																																				
	11g OFDM: +15 dBm																																				
	11b CCK: +18 dBm																																				
Security	WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i																																				
Standard	IEEE 802.11 b/g/n standards compliant																																				
Wireless LAN	1T1R Mode																																				
Frequency Range	2.400 ~ 2.4835GHz (subject to local regulations)																																				
Number of Selectable Channels	802.11n: 20MHz/40MHz																																				
	USA, Canada (FCC): 11 channels (2.412GHz~2.462GHz)																																				
	802.11b/g: Europe (CE): 13 channels (2.412GHz~2.472GHz) Japan (TELECOM): 14 channels (2.412GHz~2.4835GHz)																																				
Data Rate	802.11n: up to 150Mbps 802.11b: 1, 2, 5.5, 11Mbps 802.11g: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps																																				
Transmit Power(ERP)	11n HT40 MCS7 : +13 dBm																																				
	11g OFDM: +15 dBm																																				
	11b CCK: +18 dBm																																				
Security	WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i																																				

両面に同じ設定:

クリックすると、文書の両面に同じスキャン設定が適用されます。このオプションを選択すると、変更した設定が前面と背面の両方に自動的に適用されます。たとえば、最良の解像度として 300 DPI を選択した場合、文書の前面と背面の両方にそれが適用されます。

その他の画像オプション

2 値化□

これはグレイスケールまたはカラー画像を白黒のみの2トーンの画像に変換するプロセスです。(注:2値化と呼びます) この変換には、いくつかの方法があります。**オプション:ダイナミック閾値、固定処理、ハーフトーン 1~5、誤差拡散。**

動的しきい値:[動的しきい値] を選択すると、スキャナは各ドキュメントを動的に評価し、高画質画像を生成するための最適なしきい値を決定します。これは、薄い文字、影のある背景、カラー背景などが混在する複数のドキュメントを1つの設定だけでスキャンする際に使用します。[動的しきい値] を選択すると、[しきい値]、[輝度]、[コントラスト] の設定はできなくなります。

動的しきい値 (AD):「動的しきい値 (AD)」 を選択すると、**動的しきい値機能の拡張モード**を実行できます。ただし、このモードを使用した場合、スキャン速度が落ちることがあります。

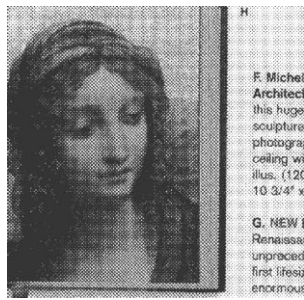
動的閾値の感度

時おり、スキャン画像に小さい点や斑点が入ることがあります。これらの斑点を除去するには、バーを右方向に動かすことで感度値を上げます。値の範囲は1~30で、デフォルト値は20です。

固定処理:白黒やその他のコントラストの高いドキュメントに使用します。白か黒かを判断する移行点のレベルを設定します。しきい値は、濃度の全範囲で設定可能です。**[固定処理]** は、**[コントラスト]** を0に設定します。**[固定処理]** を選択した場合、**[コントラスト]** は変更できません。

ハーフトーン:白黒表示の他に、ハーフトーンでは異なるサイズのドットを使用することで画像をモノクロ階調にできます。ハーフトーン画像は、新聞で見る写真に似ています。**オプションにはハーフトーン 1、ハーフトーン 2、ハーフトーン 3、ハーフトーン 4、ハーフトーン 5 があります。**

誤差拡散:誤差拡散は、ハーフトーンの種類です。誤差拡散により優れた画像テクスチャが得られ、画像のテキストがハーフトーンより読みやすくなります。



ハーフトーン画像



誤差拡散画像



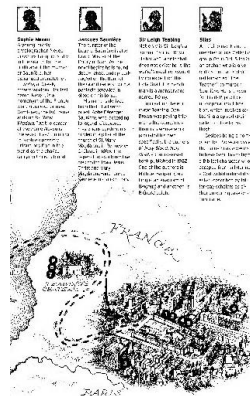
動的しきい値



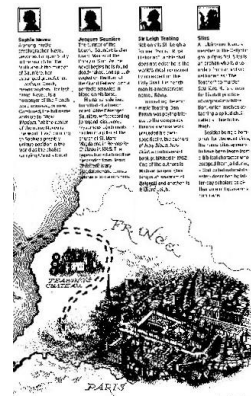
動的しきい値 (AD)

しきい値

グレイスケール画像を白黒2値の画像に変換するために使われます。0~255の値で設定します。しきい値が低いと画像は明るくなり、背景や、分かりにくく不要な情報を抑えることができます。しきい値が高いと、画像は暗くなり、薄い画像をより鮮明にすることができます。[しきい値]のスライダーを左右にドラッグしてしきい値を調整し、希望のしきい値に設定します。



200 dpi、
しきい値 50、輝度 0



200 dpi、
しきい値 100、
輝度 0

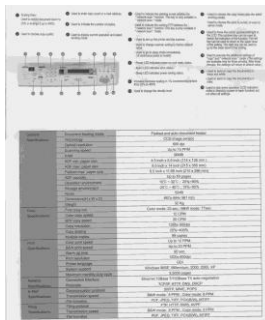
グレー:

ドキュメントタイプ: 選択肢: 標準、フォト、ドキュメント

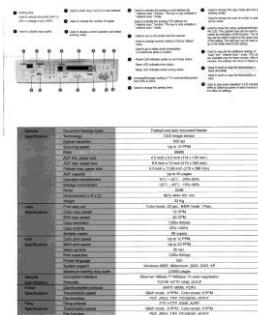
スキャンしたドキュメント用の画像タイプとしてグレーを選択すると、ドキュメントタイプの3つのオプションが提供されます。 選択肢: 標準、フォト、ドキュメント。

- **ドキュメント:** オリジナルドキュメントにテキストだけが含まれる場合や、テキストとグラフが含まれる場合は、ドキュメントを選択します。これは、通常のビジネスドキュメントに最適な設定です。ドキュメントを使う場合は、調整できるのはしきい値だけです。
- **フォト:** オリジナルドキュメントに写真が含まれる場合は、フォトを選択して、写真を鮮明なグレースケール画像で再生します。フォトを使う場合は、しきい値とコントラストは調整できません。
- **標準:** 標準を使う場合は輝度、コントラストを調整できます。

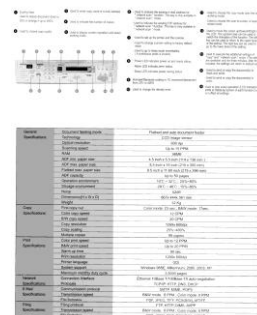
しきい値: 値の範囲は 0 ~ 255 です。 デフォルトは 230 です。 しきい値が低いと画像は明るくなります。これを使って、背景、微妙さ、不要な情報を抑制できます。しきい値が高いと画像は暗くなります。これを使って、フェイント画像をピックアップできます。しきい値設定を調整するには、しきい値スライダーを左右にドラッグして、希望するしきい値にします。



標準



フォト



ドキュメント

(しきい値: 230)



標準



フォト



ドキュメント

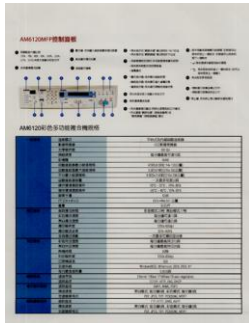
(しきい値: 230)

輝度

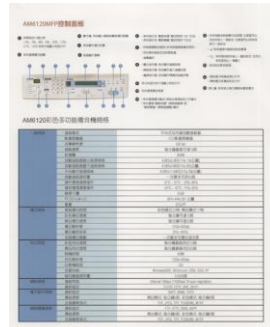
画像の明るさや暗さを調整します。値が高いほど画像は明るくなります。スライダーを左右にドラッグし、輝度を増加または減少してください。範囲は $-100 \sim +100$ です。

コントラスト

画像の暗い影と明るい影との間の範囲を調整します。コントラストが高いほど、グレイスケールの差は大きくなります。スライダーを左右にドラッグし、コントラストを増加または減少してください。範囲は $-100 \sim +100$ です。



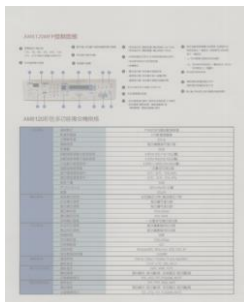
輝度: -50



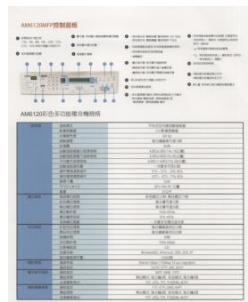
輝度: 0
(正常)



輝度: +50



コントラスト: -50



コントラスト: 0
(正常)



コントラスト: +50

解像度

解像度のコントロールで、希望するレベルの鮮明さをもったスキャン画像になります。解像度は 1 インチ当たりのドット数 (dpi という単位) で示されます。通常、dpi の数値が高いほど解像度が高くなり、画像ファイル サイズも大きくなります。解像度が高いほど、スキャンには時間がかかり、スキャン画像が多くのディスク容量を必要とします。たとえば、A4 サイズのカラー画像を 300 dpi の True Color モードでスキャンすると、約 25 MB のディスク容量を必要とします。高解像度 (通常は 600 dpi 以上を指します) は、小さな範囲を True Color モードでスキャンする場合にのみ推奨します。

ドロップダウン リストから解像度を選択してください。既定値は 200 dpi です。利用可能な解像度は 75、100、150、200、300、400、600 となっています。また、ドロップダウン リストの右側にあるボックスをクリックして任意の値を選択し、矢印キーを押して希望の値を選択し、[追加] ボタンをクリックすると、この値をドロップダウン リストに加えることができます。ドロップダウン リストに加えることができます。メモ:インプリンターまたは MICR リーダーがスキャナに接続されている場合、解像度は最高でも 300 dpi までです。



解像度: 75 dpi



解像度: 150 dpi

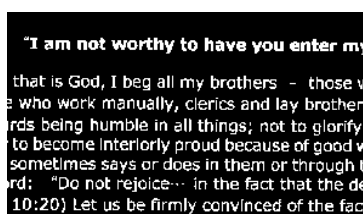
反転

画像の輝度と色を反転させる機能です。既定値は [白地に黒] です。反転モードは、[黒字に白] となります。カラー画像については、[反転] コマンドにより各ピクセルが補色に変換されます。

"I am not worthy to have you enter my

that is God, I beg all my brothers - those who work manually, clerics and lay brothers to be humble in all things; not to glorify themselves to become interiorly proud because of good works that sometimes says or does in them or through their words: "Do not rejoice... in the fact that the devil has fallen" (10:20) Let us be firmly convinced of the fact

白地に黒



黒地に白

スキャン ソース

オプション:

- **自動ドキュメント フィーダー:**複数ページをスキャンする場合に使用します。
- **フラットベッド:**1 枚の用紙のみをスキャンするときに使用します。例えば、新聞の切り抜き、しわやよじれのない用紙などです。
- **フラットベッド (ブックエッジ型):** 本の中の数ページをスキャンする場合に使用します。
- **自動:** スキャナが自動的にスキャン ソースを設定します。**[自動]** が選択されており、自動ドキュメントフィーダー (ADF) とフラットベッドの両方にドキュメントがある場合、スキャン ソースは自動的に ADF に設定されます。**[自動]** が選択されており、フラットベッドにのみドキュメントがある場合、スキャン ソースはフラットベッドに設定されます。
- **両面から 1 枚の画像に合成:**

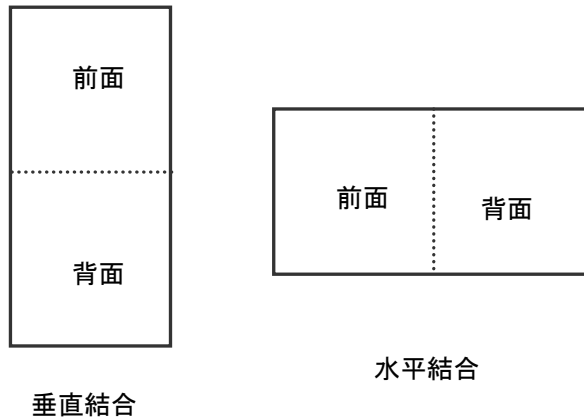
フロント入カトレイのあるシートフィード両面スキャナの場合、A3 サイズの原稿を画期的な方法でスキャンできます。この際、A3 サイズの原稿を 2 つに折って A4 サイズにし、フロントトレイから入れます。「スキャン原稿」オプションから「両面から合成」を指定すると、スキャナは原稿の両面をスキャンしてから 2 枚の A4 画像を 1 枚の A3 画像に合成します。

注：この機能を使うには、キャリアシートが必要です。キャリアシートで原稿を読み取る方法については、セクション 4.6.2 「その他用紙の選択」をご参照ください。

この機能は自動文書フィーダーで利用できるようになりました。ただし、一度に許可されるページは 1 ページだけです。

ご注意：「両面から 1 枚の画像に合成」を選ぶと、「切り取り」および「マルチフィード」機能はオフになります。

「両面を 1 つの画像にマージする」が選択されている場合、「水平マージ」、「垂直ページ」、「垂直マージ（裏面反転）」などが利用可能になります。文書の裏面が上下逆さまである場合は、「垂直マージ（裏面反転）」を選択すると、裏面が自動的に 180 度回転され、マージされます。



オプションはスキャナ タイプにより異なります。

カラーマッチング

カラーマッチングの目的は、正確な色を取得することです。このオプションは、デフォルトのパラメーター(ICCプロファイル)を使用して、画像の色を調整します。

選択肢:なし、文書、写真

- **なし:**「なし」を選択して、この機能を無効にします。
- **文書:**元のコンテンツに純粋なテキストかテキストとグラフィックの混合物が含まれている場合、通常のビジネス文書に最適な設定である「文書」を選択します。
- **写真:**元のコンテンツに写真が含まれている場合、写真を鮮やかな色で再現するために「写真」を選択します。



通常



カラーマッチングの後

カラー画像のスキャン

カラー画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 輝度
- コントラスト
- 解像度
- 反転

グレイスケール画像のスキャン

グレイスケール画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。 **Brightness**

- コントラスト
- 解像度
- 反転

白黒画像のスキャン

白黒画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 2 値化 (動的しきい値)
- 解像度
- 反転

または

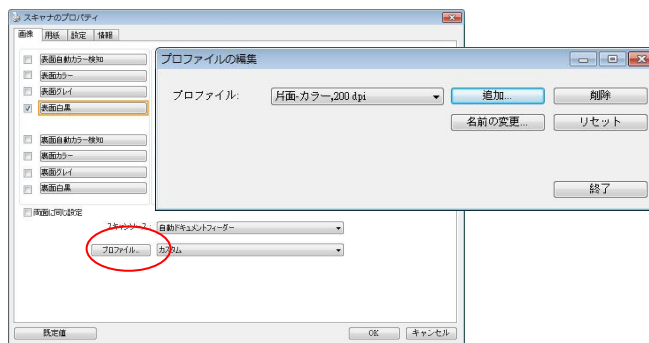
- 2 値化 (固定処理)
- しきい値
- 輝度
- 解像度
- 反転

プロフィールの編集

[スキャナのプロパティ]のダイアログボックスで、よく使用するスキャン設定を保存や、変更ができます。このプロフィールは、名前を変更したり、削除するなどして編集できます。

新規プロフィールを追加するには、以下の要領で行います。

1. 設定をカスタマイズします。(たとえば、解像度、ファイル形式、クロップ方法、スキャンサイズ、その他のスキャン設定などを変更します。)
2. [イメージ] タブをクリックし、[プロフィール] を選択します。[プロフィールの編集] ダイアログボックスが表示されます。



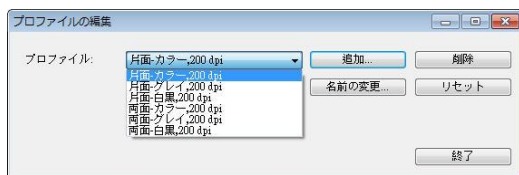
3. [追加] をクリックしてプロフィールの名前を入力し、[保存] を選択します。



4. 新しいプロフィールが保存され [プロフィール] のドロップダウンリストに表示されます。

プロファイルの読み込み方法:

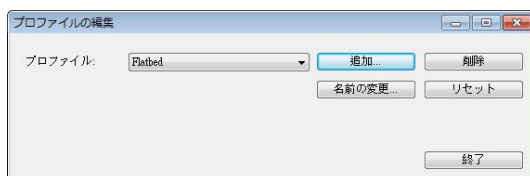
1. [イメージ] タブで、[プロファイル] のドロップダウンリストから、お気に入りのプロファイルを選択します。



2. お気に入りのプロファイルがすぐに読み込まれ、[スキャナのプロパティ] のダイアログボックスに表示されます。

プロファイルの削除は、次の要領で行います。

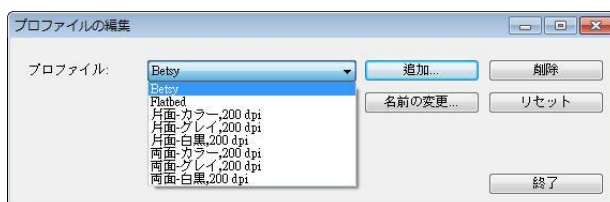
1. [イメージ] タブから [プロファイル] を選択し、[プロファイルの編集] ダイアログボックスを表示します。
2. ドロップダウンリストから削除するプロファイルを選択します。



3. [削除] をクリックします。"このアイテムを削除してよろしいですか?" という確認メッセージが表示されます。
4. [はい] をクリックして削除するか、または [キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

プロファイルの名前を変更するには、次の要領で行います。

1. [イメージ] タブから [プロファイル] を選択し、[プロファイルの編集] ダイアログボックスを表示します。
2. ドロップダウンリストから名前を変更するプロファイルを選択し、[名前の変更] をクリックします。



3. プロファイルの新しい名前を入力します。



4. [はい] をクリックして削除するか、または [キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

メモ:

- あらかじめ定義されたプリセットプロファイルには、フラットベッド、片面-白黒/200 dpi、片面-グレイ/200 dpi、片面-カラー/200 dpi、両面-白黒/200 dpi、両面-グレイ/200 dpi、両面-カラー/200 dpi があります。もし、片面なしシートフィードスキャナをつかう場合は、両面とフラットベッドはご利用になれません。
- 現在のプロファイルの設定が変更されている場合、現在のプロファイルの前に[*]記号が付きます。たとえば、[*二重、色、 200 dpi]のようになります。必要であれば、[OK]または[スキャン]ボタンをクリックします。ダイアログボックスが開き、新しいプロファイルを保存するように求められます。

圧縮タブ

[圧縮] タブでは、圧縮レベルを選択し、スキャンした画像を圧縮することができます。白黒2値画像は通常、[Group 4] (G4) と呼ばれる CCITT 標準で圧縮されます。カラーおよびグレースケール画像は JPEG 技術で圧縮されます。**[JPEG 画質]** のスライダーを左右に動かし、圧縮レベルを増加または減少します。圧縮レベルが大きいほど、画質は劣化します。既定値は 50% です。

圧縮は画像編集アプリケーションにより異なります。お使いの画像編集アプリケーションが対応していない圧縮形式については、警告メッセージが表示されるか、または圧縮ファイルの画質が利用できないものになります。

JPEG (Joint Photographic Editor Group)このグループは、スキャナやソフトウェア アプリケーションにより幅広く利用されているカラーおよびグレースケール画像のためのファイル圧縮標準を開発しました。Microsoft Windows ベース システムでは、この方法で圧縮されたファイルに .jpg という拡張子が与えられます。

カラーまたはグレースケール画像をスキャンする場合、次の圧縮を利用することができます。

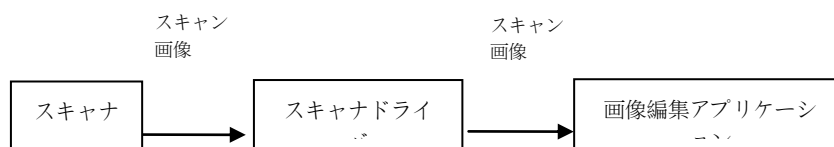
- なし
- JPEG

白黒画像をスキャンする場合、次の圧縮を利用することができます。

- なし
- G4

圧縮:

定格速度でスキャンを完了する場合、送信中、スキャンされた画像は、デフォルトで圧縮されます。しかし、最高の画質を得るために、画像データを出力する前に解凍することを選択できます。



アプリケーションへ:

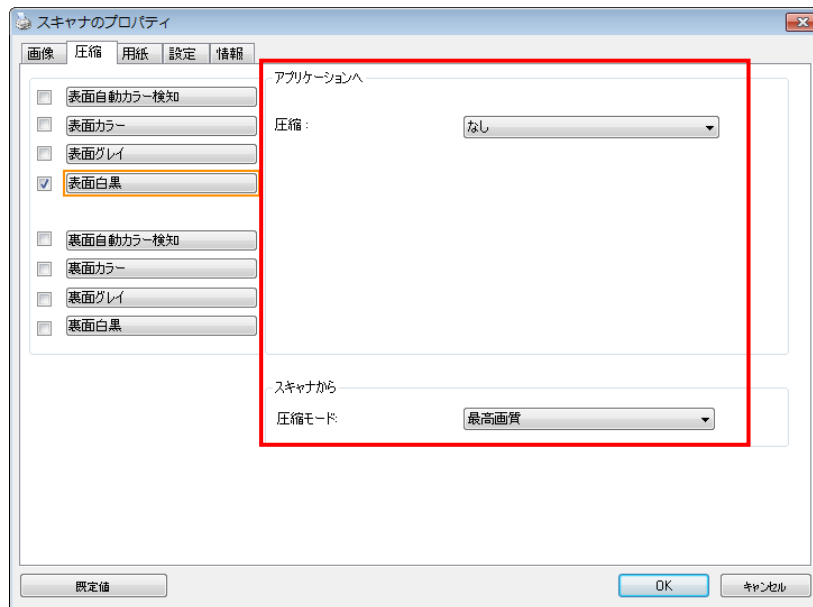
画像データを圧縮して、TWAIN ドライバからアプリケーションに転送するかどうかを選択します。注記: 通常、2 階調画像は、グループ 4 (G4) と呼ばれる CCITT 規格を使用して圧縮されます。多くの場合、カラー画像とグレースケール画像は、JPEG 技術を使用して圧縮されます。**[Image Quality] (画質)** スライダーを左右に動かして、画質を増減します。画質が高ければ高いほど、圧縮レベルは低くなります。デフォルトは 50 %です。

圧縮は画像編集アプリケーションによって異なります。画像編集アプリケーションが圧縮形式の種類をサポートしていない場合、圧縮ファイルの画像は異常に見えます。

スキャナから: (メモ:スキャナのタイプによりこの機能がついているものとないものがあります。)

スキャンした画像を圧縮してスキャナから TWAIN ドライバに転送するかどうかを選択します。

選択肢: 非圧縮、* 最高画質 (低圧縮レベル)、高画質 (通常圧縮レベル)、通常画質 (高圧縮レベル)。 (*: 工場出荷時デフォルト設定)



【圧縮】 タブのダイアログ ボックス

ドロップアウト カラー タブ

ドロップアウト カラーの選択

[カラードロップアウト] タブでは、緑、赤、青、あるいは自分で指定した色を選択し、スキャンした画像からその色の部分を削除できます。この機能は OCR (光学式文字認識) ソフトウェアの使用時に、テキストをシャープにするために利用されます。この機能はグレーまたは白黒の画像にのみ適用されることに注意してください。

選択肢：なし、自動、赤を削除、緑を削除、青を削除、カスタム

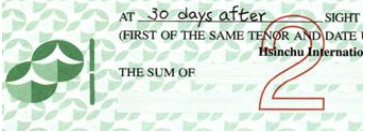
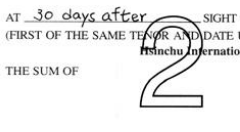
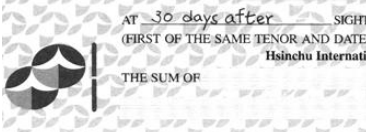
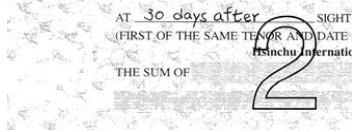
- なし：何の色も削除しません。
- 自動：自動的に主色を削除して画像を出力します。
- 赤を削除/緑を削除/青を削除：指定した色を削除して画像を出力します。
- カスタム：RGB (赤、緑、青) 値をそれぞれ入力して、削除する色を指定します。

詳細オプション：

- 品質モード：範囲：0~20 デフォルト：10


[品質モード] が選択されているとき、[フィルターしきい値] スライダーを利用して削除する色を決定できます。値が低いと、選択した色がそれだけ多く削除されます。値が高いと、選択した色がそれだけ多く残ります。

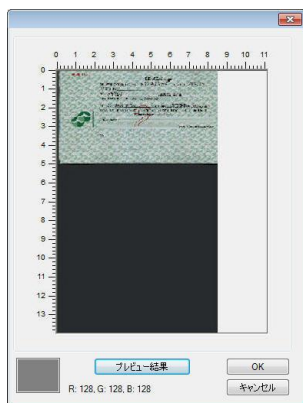
- 通常モード：最適化された設定を利用し、色を決定します。

 <p>元画像</p>	 <p>自動/緑を削除 (通常モード)</p>
 <p>赤を削除 (通常モード)</p>	 <p>緑を削除 (品質モード：しきい値： 18)</p>

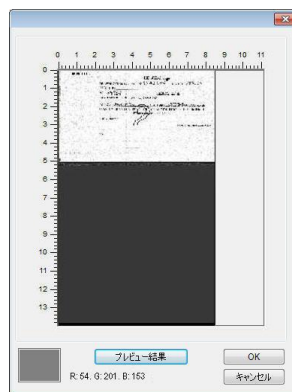
カラードロップアウトの結果をプレビューする：

カラードロップアウトの結果をプレビューするには、次の手順に従ってください。

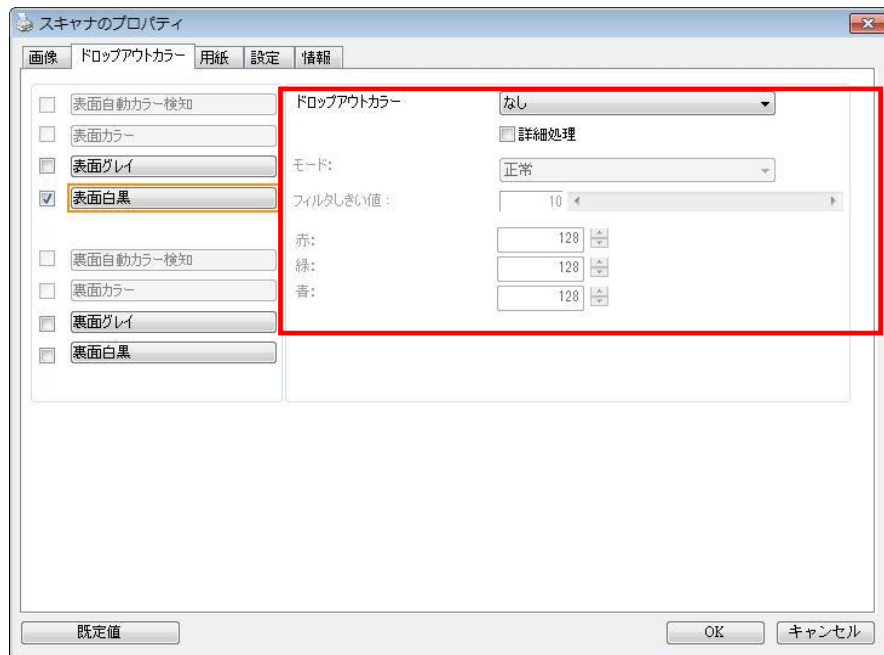
1. 左上隅の [スキャナープロパティ] アイコン () をクリックし、[タブ] を選択して利用できるタブ名を表示します。
2. [プレビュー] を選択して [プレビュー] タブを表示します。
3. [プレビュー] タブをクリックして [プレビュー] ページを表示します。
4. ドキュメントをスキャナーに載せ、[プレビュー] ボタンをクリックし、プレビュー画像を表示します。
5. [画像] タブで、[グレー] または [白黒] 画像モードをクリックし、[カラードロップアウト] タブで [カスタム] を選択します。[プレビューウィンドウ] ボタンが表示されます。
6. [プレビューウィンドウ] ボタンをクリックし、プレビュー画像を [プレビュー] ウィンドウに表示します。
7. カーソルをプレビュー画像の上に移動させます。マウスのカーソルがスポイトに変わります。
8. クリックして削除する色を選択します。
9. マウスボタンを押したままにすると、指定した色を削除した後の結果が表示されます。その結果で問題なければ、[OK] をクリックしてプレビューウィンドウを閉じます。



プレビューウィンドウ



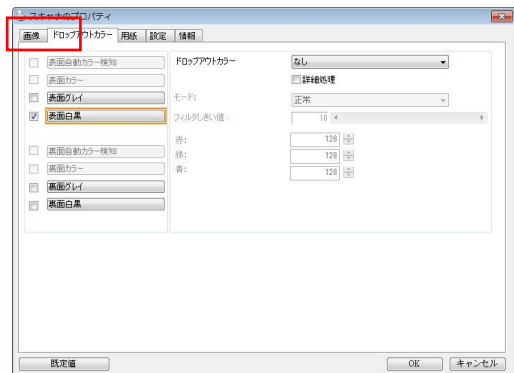
カラードロップアウトの結果



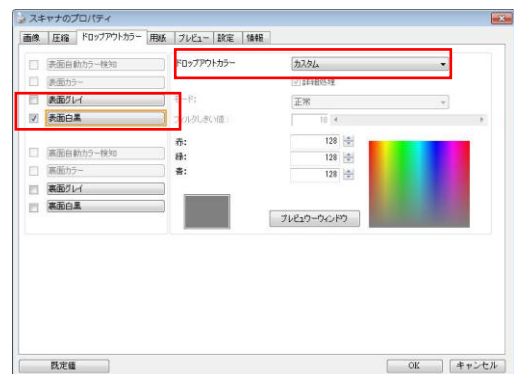
【ドロップアウト カラー】のダイアログ ボックス

カラー パレットで色を選択するには

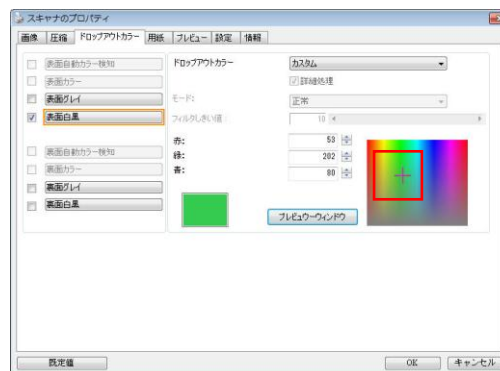
1. Color Dropout [スキャナーのプロパティ] ダイアログ ボックスで Scanner Properties [カラー ドロップアウト] をクリックします。



2. Image Selection [画像選択] ボックスで Gray 「グレー」または B&W「白黒」を選択し、Color Dropout [カラー ドロップアウト] ドロップダウンメニューで Custom 「カスタム」をクリックします。カラー パレットが表示されます。



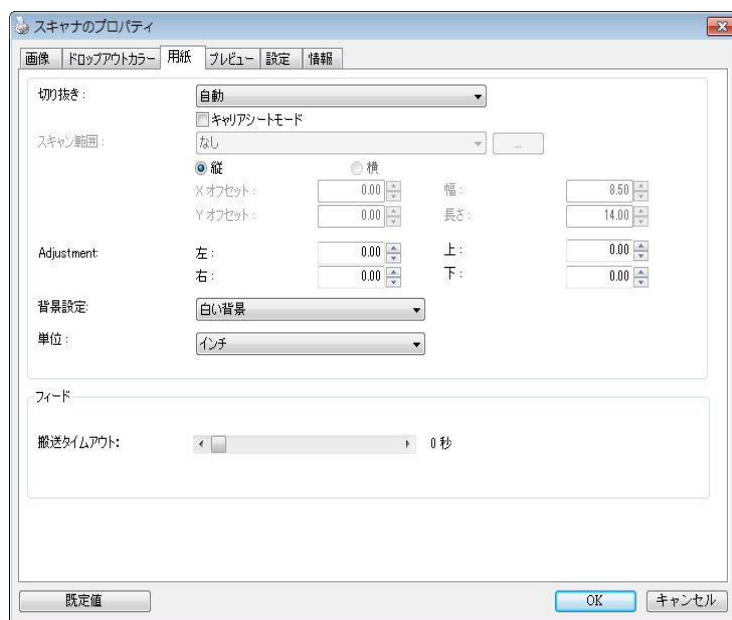
3. カーソルをパレットの上に移動させます。カーソルが + 印になります。



4. クリックして色を選択します。RGB 値も同時に変化します。

用紙タブ

[用紙] タブでは、画像出力に関する値を定義します（自動的に切り抜くかどうか、スキャン範囲、オーバースキャン、マルチフィード検出など）。



【用紙】タブのダイアログ ボックス

用紙タブ

[切り抜き] は、スキャンされたドキュメントの一部をキャプチャします。オプション:自動、自動(36")、転送固定、ドキュメントに基づく、EOP (ページエンド) 検出、オート多重。

オプション	説明
自動	自動を選ぶと、さまざまな文書サイズに合わせてクロップ ウィンドウが調整され、斜めになった文書を自動的にまっすぐ整えます。文書のサイズがまちまちである場合には、このオプションを使用します。
自動 (36")	自動(36")を選ぶと、最大 36" の文書サイズに合わせてクロップ ウィンドウが調整され、斜めになった文書が自動的にまっすぐ整えられます。(サポートされる最大長はスキャナ モデルによって異なります。) メモ:スキャナのタイプによりこの機能がっているものとないものがあります。

転送固定	この機能は、画像のある一定範囲またはゾーンを定義します。同じサイズのドキュメントを処理する際に使用します。このオプションを選択すると、矢印キーを使って X と Y のオフセット値、幅と長さを定義し、スキャン範囲を再指定することができます。[表示] ウィンドウは値を変更する際に、画像配置を表示します。
EOP (ページエンド) 検出	この機能は、画像のある一定範囲またはゾーンを定義します。同じ幅、異なる長さのドキュメントに使用します。このオプションを選択すると、矢印キーを使って X と Y のオフセット値、幅と長さを定義し、スキャン範囲を再指定することができます。[表示] ウィンドウは値を変更する際に、画像配置を表示します。
オート多重	このオプションにより、フォト、ID カードや名刺といった様々な大きさのドキュメントを平台(利用可能な場合)に置き、1 回のスキャンで複数の個別にクロップされた画像が作成できます。 メモ: 多重画像を正しく作成するには、各ドキュメントの間のスペースを少なくとも 12mm(0.5 インチ)空けてください。
ドキュメントに基づく	このオプションは、ドキュメントの様々な部分を切り取り、白黒、グレイ、カラーなどで別々にイメージを取り込むことができます。たとえば、あるアプリケーションでは、ドキュメント全体を白黒で保存し、次にドキュメントの一部をカラーで保存する必要があるとします。このオプションは、写真が入ったドキュメントや、履歴書などのドキュメントで同じ場所に書かれた署名を処理する場合などに便利です。

以下のオプションは、**【転送固定】** が選択されている場合のみ有効です。

- **X オフセット** — スキャナの左端からスキャン範囲の左端までの距離です。
- **Y オフセット** — スキャナの右端からスキャン範囲の右端までの距離です。
- **幅** — スキャン範囲の幅です。
- **長さ** — スキャン範囲の長さです。
- **中央:**中央に置かれたフィーディングの X オフセットを、選択されたドキュメント サイズに合わせて自動的に計算します。



- **中央:** — スキャン範囲は、スキャン範囲を維持しながら、矢印キーを使用して動かすことができます。結果は [表示] ウィンドウで確認できます。

調整オプション機能は**自動**が選択されている場合のみ利用できます。

- **調整**一正/負の値のマーヅンを画像の前/後ろ/左/右に入れます。

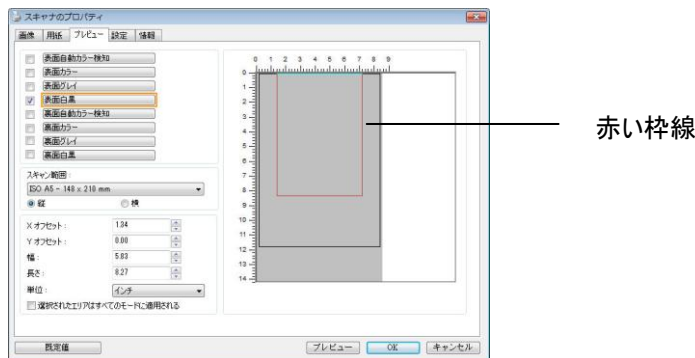
自動原稿送り装置を使用する場合、調整が行われます。調整により歪んだ画像上のコーナークリッピングの可能性が低減します。調整値を設定するには、上へ/下へボタンを使用して調整値を選択します。上/下または左/右を押して、インチ/mm/ピクセルの調整値を選択します。**1.00** から **-1.00**までの範囲内の値を選択できます。

ドキュメントに基づく:(同サイズのドキュメントの一括処理に使用)

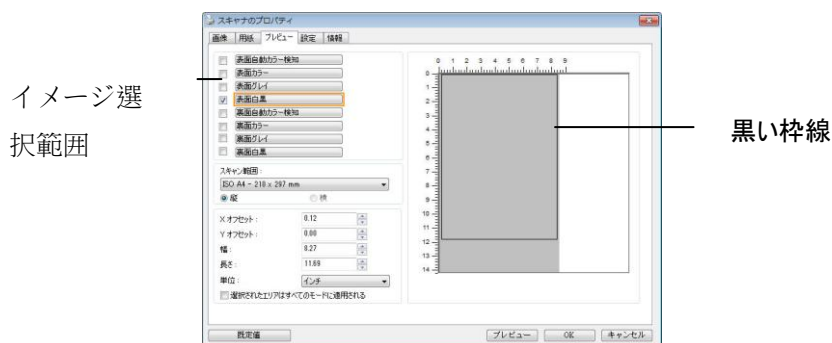
このオプションは、ドキュメントの様々な部分を切り取り、白黒、グレイ、カラーなどで別々にイメージを取り込むことができます。たとえば、あるアプリケーションでは、ドキュメント全体を白黒で保存し、次にドキュメントの一部をカラーで保存する必要があるとします。このオプションは、写真が入ったドキュメントや、履歴書などのドキュメントで同じ場所に書かれた署名を処理する場合などに便利です。

以下の手順では、ドキュメント全体を白黒で、ドキュメントの一部をカラーで処理する方法について説明しています。

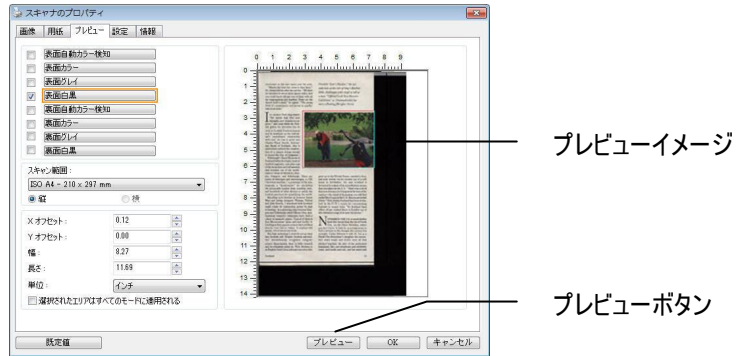
1. [用紙] タブで、[クロップ] オプションから [ドキュメントに基づく] または [固定転送] を選択します。
2. [スキャン範囲] から、スキャンサイズを選択します。選択されたスキャンサイズが赤い四角い枠線で表示されます。これは、ドキュメント全体のスキャンサイズでもあります。(例: ISO A5.別のスキャン範囲を選択せず、選択を [なし] にすると、既定の範囲がスキャナの最大範囲になります。)



3. [プレビュー] タブをクリックし、[プレビュー] ウィンドウを表示します。黒い四角い枠線が表示され、さきほど選択した最大スキャンサイズを示します。



4. [プレビュー] ボタンをクリックすると、低解像度でイメージ全体が表示されますので、スキャン範囲が正しくクロップされているかどうかを確認できます。



5. [イメージ選択] ボックスからイメージタイプを選択します。選択されたイメージがハイライトカラーで表示されます。(例: 表面カラーなど)
6. カーソルを [プレビュー] ウィンドウに置き、マウスの左ボタンをクリックします。図のようなプラス記号が表示されます。マウスの左ボタンをドラッグしながら希望のサイズを決め、スキャンサイズを設定します。選択された範囲は、図のように赤い枠線で表示されます。



7. イメージ選択ボックスから白黒イメージをチェックすると、ドキュメント全体をスキャンできます。
8. [スキャン] ボタンをクリックし、2種類のイメージタイプとサイズでドキュメントのスキャンを開始します。(以下はスキャン結果です。)



ドキュメント全体を白黒で

選択範囲のみをカラーで

その他用紙選択

キャリアシートモード

このオプションにチェックを入れると、キャリアシート（オプション）を使って標準サイズ以外の用紙（破れやすい、不定形の用紙）をスキャンする時に、用紙サイズに合わせて自動的にスキャンウィンドウをクランプします。

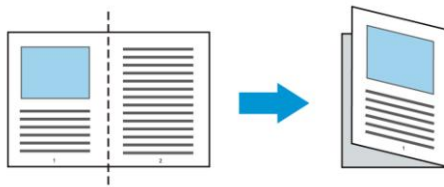
キャリアシートを利用して用紙を取り込む

キャリアシートは、標準サイズ以外の用紙をスキャナに取り込む時に使用する専横のプラスチックシートです。通常の方法ではスキャンできない用紙をスキャンできます。また、A3 や B4 など、A4 サイズより大きい用紙は半分に折り畳み、キャリアシートに入れ、両面モードでスキャンすることでスキャンできます。写真のような痛みやすい用紙や、切り抜きのような直接読み取るのが難しい不規則なサイズの用紙もスキャンできます。

キャリアシートを利用して用紙をスキャンするには、

A3 など、A4/レターサイズより大きい用紙の場合

- a. スキャンする用紙を半分に畳みます。
- b. 用紙はしっかりと畳み、しわを伸ばします。これを守らないとスキャン中に用紙が曲がる可能性があります。

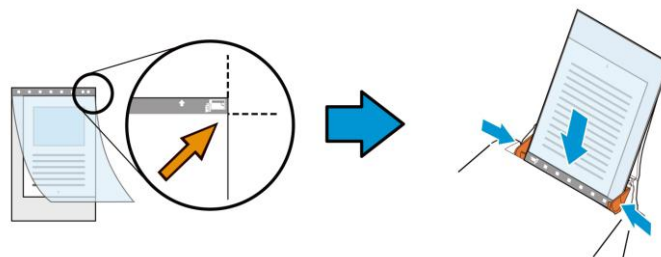


1. キャリアシートを開き、中に用紙を入れます。

用紙の上部をキャリアシートの上部（印刷される領域）に合わせます。

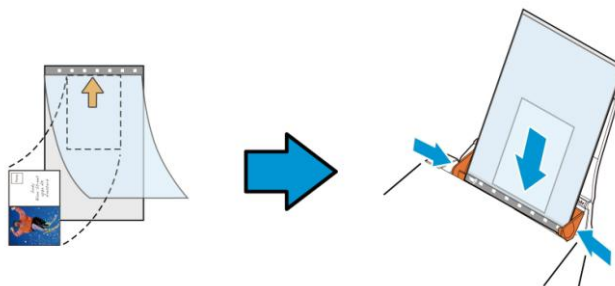
A3 など、A4/レターサイズより大きい用紙の場合

用紙の上部にキャリアシートの上部（印刷される領域）を合わせ、折り畳まれた部分をキャリアシートの右端に合わせます。それにより、上隅で用紙がキャリアシートに収まります。



標準サイズ以外の用紙の場合

キャリアシートの中心に用紙を置きます。



2. 灰色のセクション（印刷するセクション）が下を向くようにキャリアシートを取り込みます。

3. キャリアシートの幅に合わせて用紙ガイドを調整します。

ガイドとキャリアシートの間にスペースができないように用紙ガイドを調整します。ガイドとキャリアシートの間にスペースがあると、スキャン中にキャリアシートの位置がずれたり、スキャンされた画像が曲がる場合があります。

4. スキャンを開始します。

注意:

- [Carrier Sheet (キャリアシート)] はキャリアシートに対応しているモデルで利用できます。
- [Carrier Sheet (キャリアシート)] にチェックを入れると、一部の機能が無効になります。
- アプリケーションによってはこのオプションが正常に機能しない場合があります。

スキャン範囲

ドロップダウン リストから希望の用紙サイズを選択します。または、**【スキャン範囲】** ボックスをクリックし、**【追加】** をクリックして、これをオプション内に追加します。

オプション:

なし
US Letter- 8.5"x 11"
US Legal – 8.5" x 14"
ISO A4 – 21 x 29.7 cm
ISO A5 – 14.8 x 21 cm
ISO A6 – 10.5 x 14.8cm
ISO A7 – 7.4 x 10/5 cm
ISO B5 – 17.6 x 25 cm
ISO B6 – 12.5 x 17.6 cm
ISO B7 – 8.8 x 12.5 cm
JIS B5 – 18.2 x 25.7 cm
JIS B6 – 12.8 x 18.2 cm
JIS B7 – 9.1 x 12.8 cm
スキャナ最大サイズ
長いページ (<118")

長いページ(<118"):

スキャナの制限を超えた長いドキュメントをスキャンする際は、[長いページ] を選択します。[長いページ] を選択すると、[マルチフィード検出] 機能はご利用になれません。（*スキャナのタイプにより、オプションは異なります。）

長いページ (<118") が選択されているときは、必ず **Length (長さ)** と **Width (幅)** フィールドに文書のサイズを指定してください。

長いページの文書をスキャンするときの注意点:

1. ADF 用紙トレイのエクステンションを引き出します。
2. 出力トレイの周辺に十分な空間を確保し、飛び出した用紙が出力トレイから落ちないようにします。
3. 性能を維持するため、長いページの文書をスキャンするときは、カラーモードの場合、解像度を300 dpi 以下に、白黒モードの場合は600 dpi 以下に設定してください。
4. システム環境、アプリケーション、指定した用紙サイズによっては、メモリが不足して長いページの文書をスキャンできないことがあります。

オーバースキャン

[オーバースキャン]により、ユーザーは、画像の上下または左右に特定の余白を追加できます。（スキャナ タイプによりオプション内容は異なります）。この機能により、傾き補正の際に画像の角が切り取られる可能性を減らすことができ、ADFで傾いたドキュメントの束を一括スキャンする際に適用できます。0~+5 mm の値を選択します。オーバースキャンの結果は [表示] ウィンドウには表示されず、機能の利用方法はスキャナのタイプにより異なります。

プレフィード

選択肢：Enable（有効）、Disable（無効）。有効を選択時、原稿送り装置にセットされたドキュメントの、スキャナによるプレフィード開始までの時間を設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

注：このオプションの有効性はスキャナモデルにより異なります。

搬送タイムアウト

最初のスキャンジョブ完了後から自動スキャン開始までの、スキャナの待ち時間を設定します。この機能は特に、同じスキャン設定で複数の別々のドキュメントをスキャンする場合に便利です。デフォルト値は 0 で、値の範囲は 0~30 秒です。

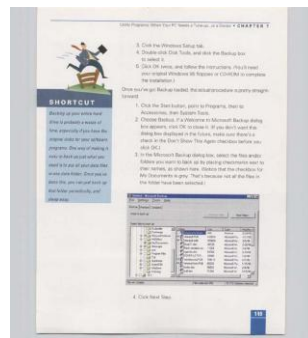
注意：

- 1 指定されたタイムアウト時間内にドキュメントを原稿送り装置にセットすると、スキャナによってスキャンが自動的に開始されます。
- 2 スキャナにフラットベッドオプションがあり、原稿をフラットベッドにセットする場合は、タイムアウト後に TWAIN ユーザーインターフェースの Scan（スキャン）ボタンをクリックしてスキャンを開始する必要があります。

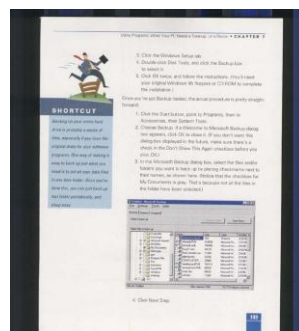
背景設定

このオプションにより、スキャニングの背景を設定できます。**選択肢：白背景、黒背景**

注：自動文書フィーダー付きのシートフィードスキャナの場合、このオプションは現在、「自動トリミング」モードでのみ利用可能です。平台プラテン付きのスキャナの場合、このオプションは、「自動トリミング」か「トランスポートに固定」モードで利用可能です。



白背景



黒背景

マルチフィード検出

マルチフィード検出

[マルチフィード検出] 機能は、ドキュメントが重なってADF を通る場合にそれを検出します。マルチフィードは通常、ホッチキスでとめられたドキュメント、装丁されたドキュメント、帯電したドキュメントなどで発生します。メモ: スキャナのタイプによりこの機能がついているものとなないものがあります。



追加長さ検出

[追加長さ検出] は、マルチフィードされたドキュメントの長さを定義することができます。この値は、スキャン範囲を超える追加の長さを示します。[表示] ウィンドウには、値を変更するたびにドキュメントサイズを表示します。値が 0 の場合、追加長さ検出はありません。[追加長さ検出] は、同じサイズのドキュメントを ADF でスキャンする際に理想的です。

超音波検出

超音波検出により、文書と文書の間を用紙の厚みを検出するので、重なった文書が検出可能です。

● 重送後にスキャンを停止する

これが選択されている場合、スキャナーはフィダーを停止し、重送警告メッセージを表示します。また、重送用紙がスキャナーから自動的に排出されます。

注: [重送用紙自動除去]機能はスキャナーの種類によってはご利用いただけない場合があります。お使いのスキャナーがこの機能に対応していない場合、重送用紙は手作業で取り除いてください。

これが選択されていない場合、重送が検出されても、文書全体のスキャンが続行します。文書全体がスキャンされた後に、重送ダイアログボックスが開き、重送が検出され、再スキャンの必要がある用紙の番号が表示されます。

- **マルチフィードのサウンドアラーム**

Wave ファイルを追加すると、マルチフィードが検出されているものの、警告ダイアログボックスが表示されない場合に、アラームが鳴るようになります。

サウンドアラームの追加方法:

1. スピーカー アイコン右側の [参照] ボタンをクリックします。[開く] のダイアログ ボックスが表示されます。
2. ここで wave ファイルを選択します。
3. [開く] ボタンをクリックします。wave ファイルが追加されます。

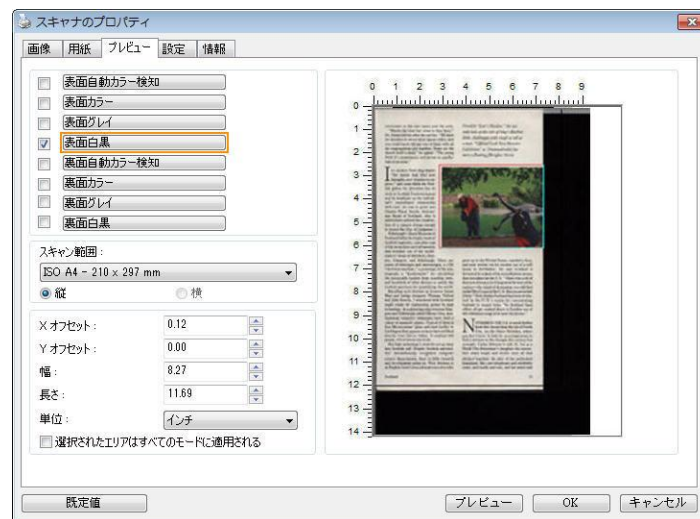
単位

主な測定システムを定義します。インチ、ミリ、ピクセルのいずれかを使用します。

プレビュータブ

プレビュータブでは、最終的なスキャンを行う前に、低解像度スキャンにより画像をプレビューすることができます。画像をプレビューすることで、スキャン範囲を設定することができます。[スキャン範囲] のドロップダウンボックス、またはディスプレイウィンドウでカーソルをドラッグ&ドロップして、スキャン範囲を設定してください。赤い四角い枠が選択範囲を示します。

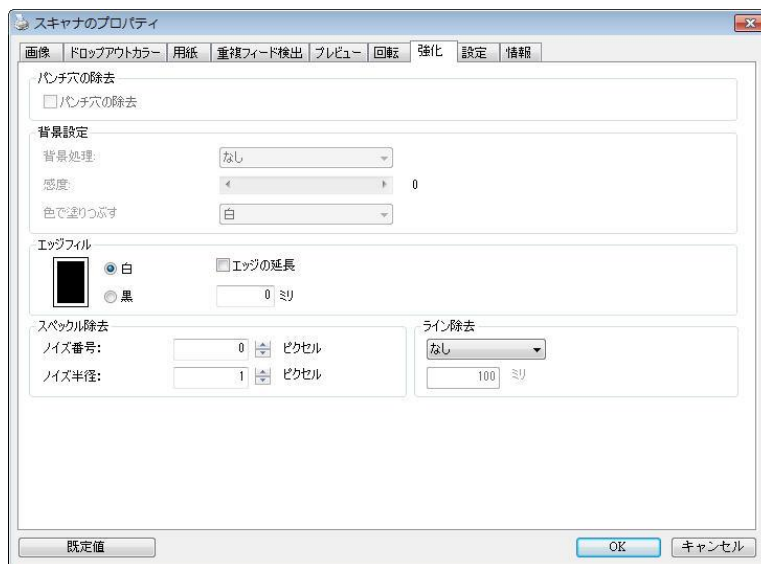
メモ:[用紙] タブで [自動クロップ] を選択した場合、[プレビュータブ] でスキャン範囲を選択することはできません。



プレビュータブ

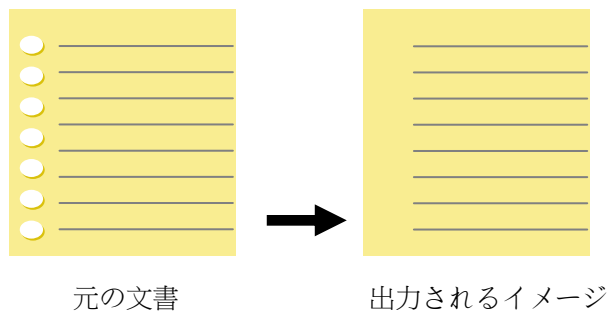
強化タブ

Enhancement（強化）タブでは、次の追加画像処理が設定可能です。



【オプション】 タブのダイアログ ボックス

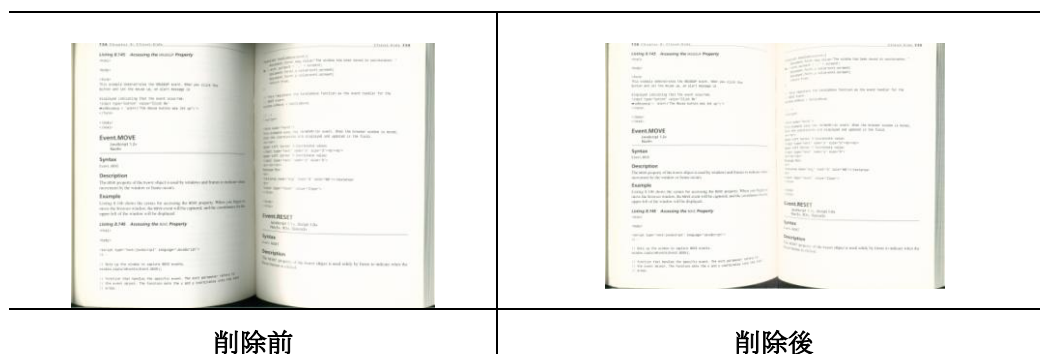
パンチ穴を消す パンチ穴のある文書をスキャンしたときに出力されるスキャンイメージからパンチ穴を消去できます。この機能はスキャナモデルによってはご利用いただけないことにご注意ください。



以下の場合、パンチ穴を消去できません。

- 解像度が 150dpi より低く設定されています。
- 穴が文書の端の近くににあります。
- 穴が文書の端に沿って整列していません。
- パンチ穴の消去機能は「Auto Crop (自動クロップ)」が有効になっている場合にのみ利用できます。 Paper (用紙) タブの Cropping (クロップ) オプションで「Fixed to Transport (移送箇所固定)」、「EOP (End of Page) Detection (改ページ検出)」、「Automatic Multiple (自動マルチ)」、「Relative to Documents (文書関連)」のいずれかが選択されている場合、Punch Hole Removal (パンチ穴の消去) オプションは無効になります。

陰影の削除 「画像」タブの「スキャンソース」オプションで「平台」が選択されているとき、「陰影の削除」オプションが有効になります。クリックすると、書籍のスキャン時に背部分の陰影が取り除かれます。



背景処理: [背景処理] オプションを利用すると、背景色を滑らかにするか、削除して画像をより鮮明にできます。このオプションは、請求書などの色のついた用紙に特に役立ちます。

選択肢: なし (既定)、滑らか、削除

- なし - 背景処理が行われません (既定)。
- 滑らか - より統一した背景色で画像を作ります。このオプションを選択すると画質が向上します。
- 削除 - 背景色を特定し、削除します。

感度: 選択肢: 0、1、2、3、4 デフォルト: 0

- 値が大きいほど、背景色が維持されます。

Mode (モード): 自動、Moiré

[滑らか] が [背景処理] オプションで選択されている場合、[モード] オプションの選択肢は自動とテキストになります。

- 自動 - 工場です事前にプログラムされたモードを使用して、背景を滑らかにします。
- Moiré - 印刷された素材をスキャンする時に、画像の背景に現れるモアレパターンを削除します。

[削除] が [背景処理] オプションで選択されている場合、[モード] オプションが [色で塗りつぶす] に変更されます。選択肢: 白、自動

- 白 - 背景色を特定し、白色に塗り替えます。
- 自動 - 背景色を特定し、最も広い背景域の色に塗り替えます。



背景処理: なし



背景処理: 滑らか

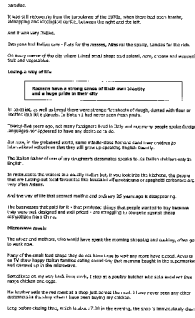


背景処理: 削除
色で塗りつぶす: 白

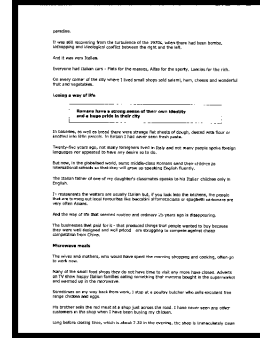
注記: 小さな領域の背景色が処理または削除されることはありません。

エッジ フィル

スキャン画像の周りに白または黒いエッジ (枠) を付ける場合には、[白] または [黒] を選択します。0~5 mm の間で値を入力します。既定値は 0 です。



原稿



エッジフィル: 5mm
(黒)

スキャンした画像のエッジに白または黒のフレームを追加する場合は、「エッジ拡張」にチェックマークを付けます。

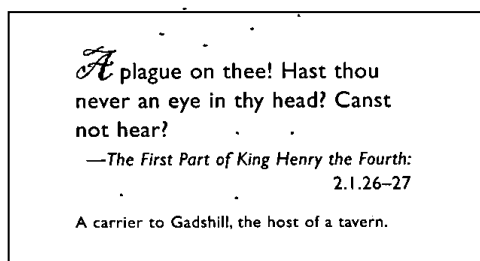
デフォルト値は0です。最大値は、選択したスキャン領域の短辺の半分です。

たとえば、A4 サイズ (8.26 "X11.69") を選択した場合、白または黒のボックスの最大値は 4.14 " (" 8.26 " の半分) です。

斑点除去

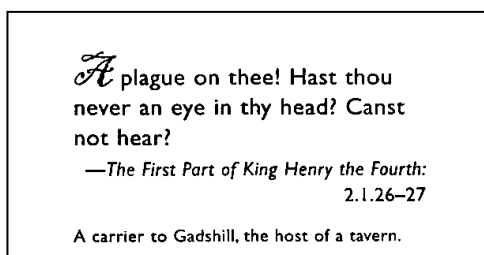
時おり、小さな点や斑点がスキャンされたイメージの背景に出現することがあります。不要な斑点を除去することで、OCR(光学式文字読取装置)処理するイメージを向上させ、また圧縮ファイルのサイズを減少させます。

ノイズの番号(サイズ)および範囲を指定することで、除去したい斑点(イメージノイズ)を定義します。測定単位は画素(ピクセル)です。画素数が大きければ大きいほど、より多くの斑点が除去されます。



斑点除去前

(ノイズ番号:0、ノイズ範囲:1)



斑点除去後

(ノイズ番号:22、ノイズ範囲:10)

注意:

- この機能は現在、黑白イメージにのみ利用可能です。
- 定格回転数でスキャンするには、ノイズ範囲を 10 画素以下に設定するようお勧めします。

線の削除:「白黒」画面モードが選択されているとき、「線の削除」オプションが有効になります。線の削除は画像の線を消去し、OCR (光学文字認識) 精度が上がるように文字を再構築します。

選択肢:なし、フォーム、水平線、垂直線

なし - これが既定のモードであり、いかなる線も削除しません。

フォーム - 「フォーム」を選択すると、文書内のフォームが削除されます。

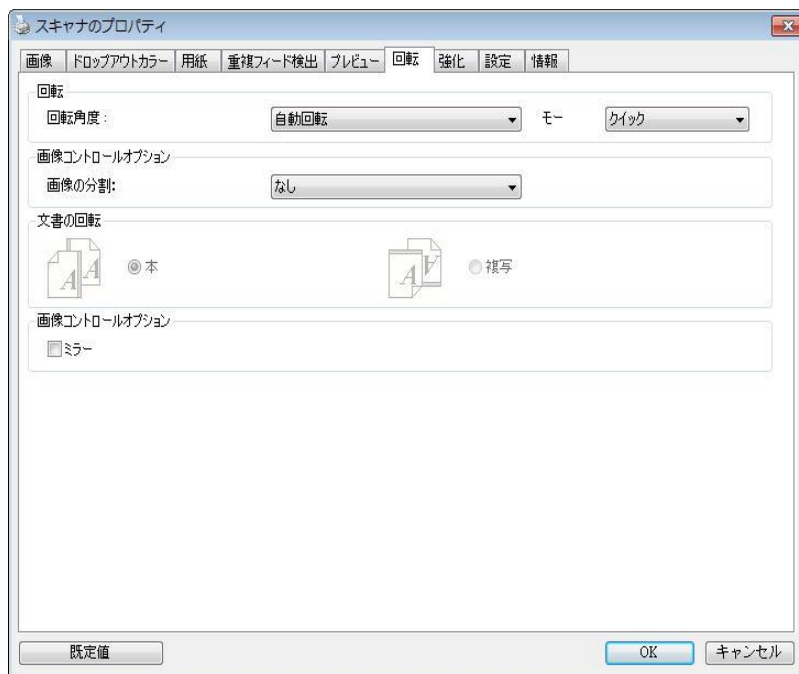
水平線 - 「水平線」を選択し、水平線の長さを入力すると、指定した長さを超える水平線だけが削除されます。長さ範囲:10 mm～無制限

垂直線 - 「垂直線」を選択し、垂直線の長さを入力すると、指定した長さを超える垂直線だけが削除されます。長さ範囲:10 mm～無制限

<p>Attn: Mr. David Wang Shipped by SST Technologies Inc. For U-Line Express Selling on or about July 30, 2002 From Taiwan, R.O.C. to U.S.A. L/C No. Contract No. A1233</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Marks & Nos.</th> <th>Description of Goods</th> <th>Quantity</th> <th>Unit Price</th> <th>Amount</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ABC</td> <td>Amrest (Item No. 100)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 101)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 102)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td></td> <td>9 sets</td> <td></td> <td>USD240.00</td> </tr> </tbody> </table>	Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount	ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.					Total		9 sets		USD240.00	<p>Attn: Mr. David Wang Shipped by SST Technologies Inc. For U-Line Express Selling on or about July 30, 2002 From Taiwan, R.O.C. to U.S.A. L/C No. Contract No. A1233</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Marks & Nos.</th> <th>Description of Goods</th> <th>Quantity</th> <th>Unit Price</th> <th>Amount</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ABC</td> <td>Amrest (Item No. 100)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 101)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 102)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td></td> <td>9 sets</td> <td></td> <td>USD240.00</td> </tr> </tbody> </table>	Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount	ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.					Total		9 sets		USD240.00
Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount																																																					
ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.																																																									
Total		9 sets		USD240.00																																																					
Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount																																																					
ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.																																																									
Total		9 sets		USD240.00																																																					
なし	フォームの削除																																																								
<p>Attn: Mr. David Wang Shipped by SST Technologies Inc. For U-Line Express Selling on or about July 30, 2002 From Taiwan, R.O.C. to U.S.A. L/C No. Contract No. A1233</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Marks & Nos.</th> <th>Description of Goods</th> <th>Quantity</th> <th>Unit Price</th> <th>Amount</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ABC</td> <td>Amrest (Item No. 100)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 101)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 102)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td></td> <td>9 sets</td> <td></td> <td>USD240.00</td> </tr> </tbody> </table>	Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount	ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.					Total		9 sets		USD240.00	<p>Attn: Mr. David Wang Shipped by SST Technologies Inc. For U-Line Express Selling on or about July 30, 2002 From Taiwan, R.O.C. to U.S.A. L/C No. Contract No. A1233</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Marks & Nos.</th> <th>Description of Goods</th> <th>Quantity</th> <th>Unit Price</th> <th>Amount</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ABC</td> <td>Amrest (Item No. 100)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 101)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td>Amrest (Item No. 102)</td> <td>3 sets</td> <td>USD20.00</td> <td>USD60.00</td> </tr> <tr> <td colspan="2">Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td></td> <td>9 sets</td> <td></td> <td>USD240.00</td> </tr> </tbody> </table>	Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount	ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00	Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.					Total		9 sets		USD240.00
Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount																																																					
ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.																																																									
Total		9 sets		USD240.00																																																					
Marks & Nos.	Description of Goods	Quantity	Unit Price	Amount																																																					
ABC	Amrest (Item No. 100)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 101)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
	Amrest (Item No. 102)	3 sets	USD20.00	USD60.00																																																					
Seattle P/O No. A1233 C/O No. 1 Made in Taiwan, R.O.C.																																																									
Total		9 sets		USD240.00																																																					
水平線の削除 (30 mm 超え)	垂直線の削除 (70 mm 超え)																																																								

回転タブ

Rotation（回転）タブでは、次の画像回転オプションが設定可能です。



画像回転

スキャンした画像を回転させる場合は、ドロップダウン リストから回転角度を選択します。

オプション:なし、**90° 時計回り**、**90° 逆時計回り**、**180°**、自動ベースオンコンテンツ。

1 2 3

原稿

1
2
3

90° 時計回り

1
2
3

90° 逆時計回り

1
2
3

180° 回転

自動ベースオンコンテンツ:自動ベースオンコンテンツが選択されているとき、画像はその内容に基づいて適切な方向に回転できます。

コンテンツに基づいて自動:「コンテンツに基づいて自動」が選択されているとき、そのモードが有効になり、他のオプションを選択できます。

モード:**クイック**、**フルテキスト**、**コンプレキシティ**

クイック - 既定のモードであり、画像を高速で回転できます。

フルテキスト - テキストの方向が混在した文書のための拡張モードです。

コンプレキシティ - 拡張モードですが、**クイック**/**フルテキスト**モードと比較すると低速であり、画像またはテキストの方向が複雑な文書に利用されます。



テキストの方向がさまざまな文書



背景が濃いか複雑な文書

画像の分割

画像を分割することで、水平または垂直に 2 つの別々の画像が生成されます。これは、2 ページを 2 つの画像 (1 画像に 1 ページ) として保存したい場合、画像ごとに 2 ページを含むドキュメントに対して有効です。 **選択肢: なし、水平、垂直。** 既定では「None (なし)」になっています。

水平: 1 つの画像を上半分と下半分に分割します。

垂直: 1 つの画像を左半分と右半分に分割します。



水平分割



垂直分割

文書の回転

このオプションは、両面印刷の文書进行处理しており、[複写] が選択されている場合、反対側の画像を 180°回転することができます。

これは、縦長 (幅よりも高さが長い) の両面印刷文書に適用されますが、場合によっては横長 (高さが幅よりも長い)、または逆の方向でスキャナにセットすることができます。この場合は、反対側の画像がさらに 180°回転します。

選択し: 本、複写

[本] が選択されると、反対側の画像は回転されません。

下図は、スキャナに横長でセットされた、縦長文書の方向を示しています。



画像コントロールオプション

[ミラー] ボックスをチェックすると、画像の左右が逆転します。



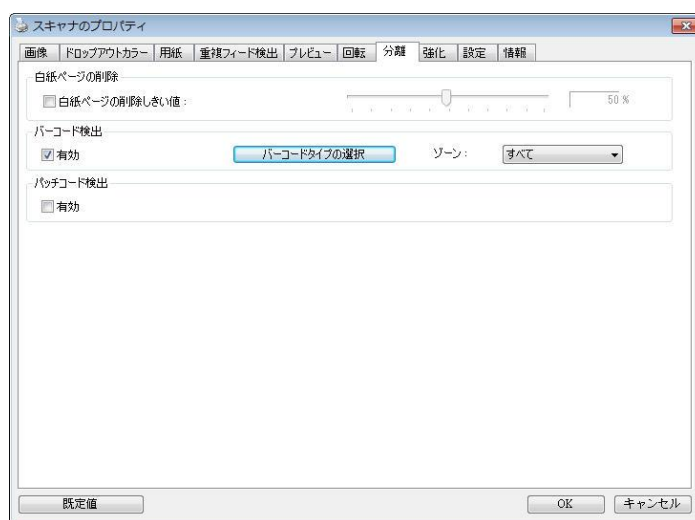
原稿



ミラー効果

分離タブ

Separation（分離）タブでは、検出機能を有効にして空白ページ、バーコード、パッチコードを検出して文書の分離に対応しているソフトウェアアプリケーションに通知し、複数のページからなる文書を分割できるようにします。選択肢: **Blank Page Removal**(空白ページの削除)、**Barcode Detection**(バーコード検出)、**Patch Code Detection**(パッチコード検出)。



白紙ページの 削除

選択肢: なし、白紙ページの削除しきい値、画像サイズ。

なし - 白紙ページを削除しません。

しきい値 - スライダーを左または右に移動して、白紙ページのしきい値を定義します。

画像サイズ - 範囲: 1~10000 KB。ページを白紙ページとして検知するための希望の画像サイズを指定します。例えば、3 KBが選択されている場合、3 KB未満は、白紙ページとして認識されます。

Barcode Detection (バーコード 検出)

[Enable (有効化)] をクリックしてバーコードを検出し、ソフトウェアアプリケーションに通知することで高度な処理を可能にします。文書全体がチェックされるため、特定の検出領域を指定する必要はありません。

バーコードが検出されると、ファイル [avbarcode.ini] が作成され、次のパスに保存されます。

Windows XP の場合 : C:\¥Documents and Settings¥All Users¥Application
Data¥%PRODUCTNAME%

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 10: の場合 :

C:¥ProgramData¥%PRODUCTNAME% (C: お使いのシステムドライブ)

[バーコードタイプの選択] ボタンをクリックし、検出するバーコードタイプを選択します。

バーコードタイプ:

次のタイプのバーコードを検出できます。

二次元バーコード

- Aztec
- DataMatrix
- PDF417
- QR Code

一次元バーコード:

- Add-2
- Add-5
- Australian Post 4-State
- BCD Matrix
- Codabar
- Code 128
- Code 32
- Code 39
- Code 93
- DataLogic 2 of 5
- EAN 128
- EAN-13
- EAN-8
- GS1 DataBar
- Industrial 2 of 5
- Intelligent Mail
- Interleaved 2 of 5
- Inverted 2 of 5
- IATA 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- PostNet
- Royal Post 4-State
- UPC-A
- UPC-E

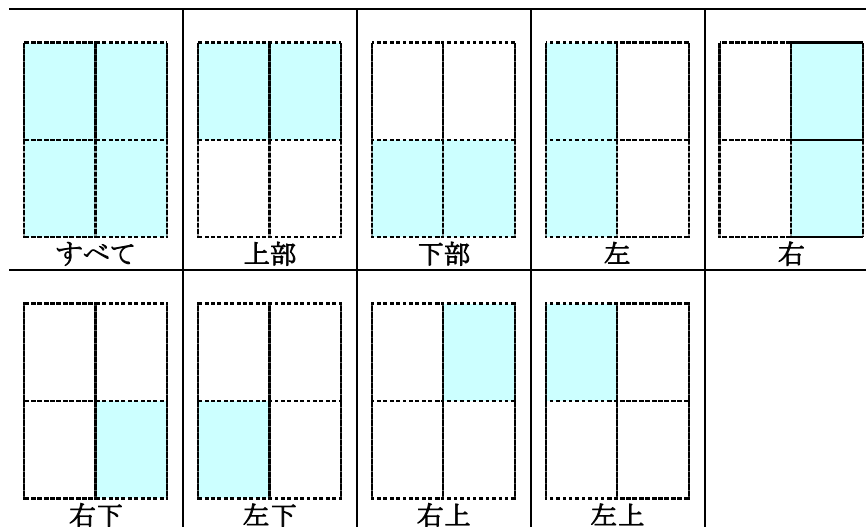
バーコードゾーン:

検出するバーコードゾーンを指定します。

「すべて」を選択すると、文書全体が確認され、バーコードが検出されます。あるいは、検出領域を指定し、プロセスにかかる時間を短縮できます。指定した領域だけが検出されます。

選択肢:すべて、上部、下部、左、右、右下、左下、右上、左上

ページのバーコードゾーンを選択:



注記:

- 推奨解像度: 通常のバーコードの場合は 200 ~ 600 dpi、QR コードの場合は 300 ~ 600 dpi
- 曲がったバーコードは正しく認識されないことがあります。
- 同じシートを繰り返し使用すると、シートに汚れが蓄積され、認識精度が低下する場合があります。シートが正しく認識されなかったり汚れている場合は、新しいシートに交換してください。

Patch code Detection (パッチコード検出) :

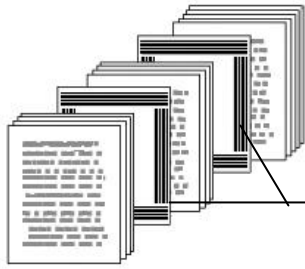
[**Enable (有効化)**] をクリックしてパッチコードを検出し、ソフトウェアアプリケーションに通知することで高度な処理を可能にします。

パッチコードは、黒と空白の線が交互に平行に並んだ (すなわち、バーコード) 模様が紙面に印刷されたものです。大量の文書の分離には、パッチコードシートが最も一般的に利用されます。

さまざまなサイズのパッチコード (PDF) が

[**Start (スタート)**] メニュー > [**All Programs (すべてのプログラム)**] > [**Avision Scanner Series (Avision スキャナシリーズ)**] > [**Patch code (パッチコード)**] から選択できます。

PDF ファイルを印刷するだけでパッチコードシートが作成されます。ファイルを分離したい部分にパッチコードシートを挿入します。



パッチコードシート

パッチコードシートを印刷する際の注意:

- 白紙を使用します。
- 拡大縮小を **100%** に設定します。元のサイズより小さく印刷されると、シートは正しく認識されません。
- トナー節約モードを使用しないでください。印刷が明るすぎると、シートは正しく認識されません。
- インクのにじみを避けるために薄い紙は使用しないでください。
- 印刷したパッチコードシートをコピーするときは、必ず元のコピーと同じサイズと明るさでコピーしてください。
- 同じシートを繰り返し使用すると、シートに汚れが蓄積され、認識精度が低下する場合があります。シートが正しく認識されなかったり汚れている場合は、新しいシートに交換してください。

設定タブ

[設定] タブでは、以下の設定が可能です。



[設定] タブのダイアログ ボックス

キャッシュ

モード：なし、ページ番号、メモリ容量

このオプションでは、利用可能な RAM から画像データの処理用のメモリ容量を指定して割り当てることができます。小さいメモリ容量を指定すると、より多くのメモリが実行中の他のアプリケーション用に残されます。より大きいメモリ容量を指定すると、特に大量のドキュメントのスキャン時に、画像データ処理に多くのメモリを使用できます。

ページ番号ごとにメモリ容量を指定することもできます。ご参考までに、A4のカラードキュメントを300dpiでスキャンする場合の使用メモリは約24MBです。

画像カウント

選択したキャッシュモードが「なし」の場合、画像カウントオプションによりスキャンが必要なページ数を割り当てることができます。例えば、最初の2ページスキャンしたい場合は、ページスライダーを2に動かすと、最初の2ページのスキャンが終了した時スキャン動作が停止します。

<p>エネルギー節約コントロール</p>	<p>Enable Energy Saver (エネルギー節約機能有効化) ボックスにチェックを入れ、スライダーを動かし、最後のアクションの終了後にエネルギー節約を開始するまでの時間を設定します。範囲は1分から60分までです。</p>
<p>Enable Power Off (電源オフ有効化)</p>	<p>Power Off (電源オフ) ボックスにチェックを入れ、スライダーを動かし、最後のアクションの終了後にスキャナーを自動終了するまでの時間を設定します。範囲は1分から480分までです。既定値は240分 (4時間) です。「電源オフ」の値は「エネルギー節約」の値と等しいか、それより大きくなければならないことに注意してください。</p>
<p>スキャン過程を表示</p>	<p>このオプションをチェックすると、スキャン中にスキャン過程を示すバーが表示されます。</p>
<p>警告メッセージの表示</p>	<p>このオプションをチェックすると、「ADF パッドカウントが 50,000 スキャンを超過しました (この数はスキャナ タイプにより異なります)。ADF パッドを交換し、パッドカウントをリセットしてください。」などのメッセージを表示します。</p>
<p>閉じた後設定を保存</p>	<p>このオプションをチェックすると、ダイアログ ボックスを終了した後もスキャナのプロパティ設定を保存します。次回 [スキャナの プロパティ] ダイアログ ボックスを開いたときに、前回は保存された設定が表示されます。</p>

インプリンタのタブ

インプリンタのタブを使用して、英数字、日付、時刻、ドキュメントカウント、カスタムメッセージを、スキャン画像上（デジタルインプリンタ選択時）、またはドキュメント裏面（外付けインプリンタ選択肢）にプリントすることができます。



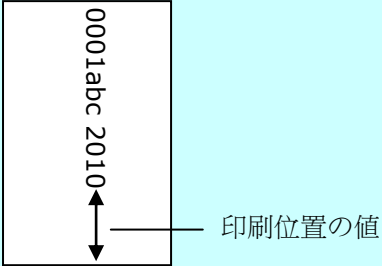
選択肢： 外付けインプリンタ、デジタルインプリンタ 外付けインプリンタが取付けられている場合は、外付けインプリンタを選択します。インプリンタがない場合は、デジタルインプリンタを選択します。外付けインプリンタでは、縦方向、裏面印刷が可能ですが、デジタルプリンタは横方向、表面印刷のみが可能です。

項目

すべて印刷	<p>Print All (すべて印刷) を選択すると、ドキュメントの全ページのテキストが自動的に印刷されます。</p> <p>Print All (すべて印刷) の選択を解除すると、ドキュメントの最初のページのテキストのみが印刷されます。</p>
カスタム	印刷文字列に含めるカスタムテキストを入力します。
カウンタ	スキャンセッションのドキュメントカウントを表示します。この値はスキャナによって連続的に増加されます。
日付/時刻	<p>印刷文字列に日付と時刻を含めたい場合は、この項目を選択します。</p> <p>形式：YYYYMMDDHHSS 例として、 20090402170645-check0001 は年、月、日、時刻、秒、 カスタムテキスト、カウンタを表します。</p>
カスタムフォント	<p>希望のフォントを選択します。</p> <p>選択肢：通常、固定幅</p> <p>固定幅(等幅)フォントには、固定文字送り幅があります。したがって、各文字は同じ幅になります。</p>

詳細設定

<p>フォントの属性</p>	<p>フォントの属性を選択します。選択肢：普通、下線、二重、太字</p>									
<p>文字列の向き</p>	<p>文字列の向きを選択します。 選択肢：通常、回転、垂直、垂直反転、右回りに 90度回転、左回りに 90度回転</p> <table border="1" data-bbox="619 421 1222 1330"> <tr> <td data-bbox="619 421 919 685"> <p>2010abc</p> <p>通常</p> </td> <td data-bbox="919 421 1222 685"> <p>2010abc</p> <p>回転</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 685 919 1030"> <p>2010abc</p> <p>垂直</p> </td> <td data-bbox="919 685 1222 1030"> <p>2010abc</p> <p>垂直反転</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 1030 919 1330"> <p>2010abc</p> <p>右回りに 90度回転</p> </td> <td data-bbox="919 1030 1222 1330"> <p>2010abc</p> <p>左回りに 90度回転</p> </td> </tr> </table> <p>スキャンした画像にテキストをスタンプするために、デジタルインプリンタを確認すると、通常の文字列と回転された文字列のイラストが以下のように表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="619 1496 1222 1653"> <tr> <td data-bbox="619 1496 919 1653"> <p>2010abc</p> <p>通常</p> </td> <td data-bbox="919 1496 1222 1653"> <p>2010abc</p> <p>回転</p> </td> </tr> </table>		<p>2010abc</p> <p>通常</p>	<p>2010abc</p> <p>回転</p>	<p>2010abc</p> <p>垂直</p>	<p>2010abc</p> <p>垂直反転</p>	<p>2010abc</p> <p>右回りに 90度回転</p>	<p>2010abc</p> <p>左回りに 90度回転</p>	<p>2010abc</p> <p>通常</p>	<p>2010abc</p> <p>回転</p>
<p>2010abc</p> <p>通常</p>	<p>2010abc</p> <p>回転</p>									
<p>2010abc</p> <p>垂直</p>	<p>2010abc</p> <p>垂直反転</p>									
<p>2010abc</p> <p>右回りに 90度回転</p>	<p>2010abc</p> <p>左回りに 90度回転</p>									
<p>2010abc</p> <p>通常</p>	<p>2010abc</p> <p>回転</p>									

<p>印刷位置</p>	<p>文字列を印刷したい位置を選択します。スライダーを右に移動させて、数値を上げるか、左に移動させて、数値を下げます。 範囲：0~355mm、デフォルト:0 mm 数値は、紙の底部から文字列の最後の文字までの高さを示しています。このオプションは、外部のインプリンタが設置された場合のみ利用可能です。</p> <div style="text-align: center;">  <p>印刷位置の値</p> </div>
--------------------	---

印刷位置 (デジタルインプリンタ)

印刷文字列の位置を選択します。**選択肢**： 上部、中央、下部、カスタム・Custom (カスタム)
 選択時、X 軸と Y 軸のオフセット値を入力して位置を指定します。

その他：[その他]ボタンをクリックして、その他のフォントオプションを表示します。このオプションは、デジタルインプリンター (スキャンした画像のスタンプテキスト) でのみ使用できます。この機能は一部のモデルでは使用できません。

フォントサイズ：スライダーを動かしてフォントサイズを 1 から 10 に変更します。密度：スライダーを動かしてソース密度を 0 から 255 に変更します。選択した密度が同時に表示されます。

透明度：スライダーを動かして、0% (透明ではない) から 100% (完全に透明) の適切な透明度の値を選択します。これにより、テキストが部分的に透明になり、背景画像が表示されます。

情報タブ

【情報】タブには、システムとスキャナに関する情報が表示されます。



【情報】タブのダイアログ ボックス

【レポート】 ボタン:

スキャナを使用中にエラー メッセージが表示された場合は、[レポート] ボタンをクリックします。report.txt ファイルが **[Windows XP の場合 : C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥%PRODUCTNAME%; Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 10: の場合 : C:¥ProgramData¥%PRODUCTNAME% (C: お使いのシステムドライブ)]** に作成されます。このファイルを保存しておいて、サービスを受ける際にご提出ください。

【ローラー カウントをリセット】 ボタン:

推奨枚数のページを ADF を通してスキャンすると (後続のセクション 7.4 の「ADF ローラーの交換」を参照してください)、ADF ローラーが摩耗し、うまく給紙できなくなることがあります。この場合は、ADF ローラーを新しいものと交換することをお勧めします。ADF ローラーの交換は認定されたサービス センターで行います。このため、ローラー交換の際はスキャナを御返送ください。ADF ローラーを交換した後は、**【パッド ローラーをリセット】** ボタンをクリックし、ローラー カウントをリセットします。

メモ:

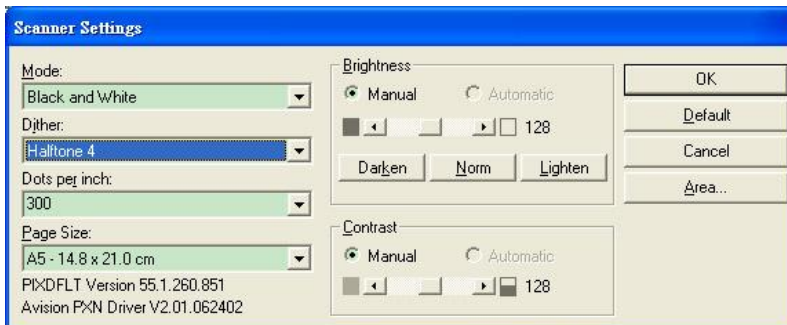
各部位の寿命や交換手順はスキャナタイプにより異なります。詳細は販売店へお問い合わせください。

9 ISIS インタフェース操作

*ISIS スキャナドライバのインストールについては、前の「スキャナのインストール」章を参照してください。 ISIS 対応アプリケーションを開始し、ISIS ユーザーインターフェイスでスキャンできます。

ISIS ドライバの操作は TWAIN ドライバと同様です。

ISIS インタフェース画面の各機能が下記に簡単に説明されています。



モード：モノクロ、グレー、カラーのスキャンモードから一つを指定します。

ディザ：5 個のハーフトーンレベルが使用可能ですが、無効にもできます。

インチ当たりドット数：必要な解像度を指定します。

紙サイズ：必要な紙サイズを指定します。

輝度：スキャンイメージの明暗を調節します。

コントラスト：イメージの最も明るい部分と暗い部分の間の範囲を調節します。

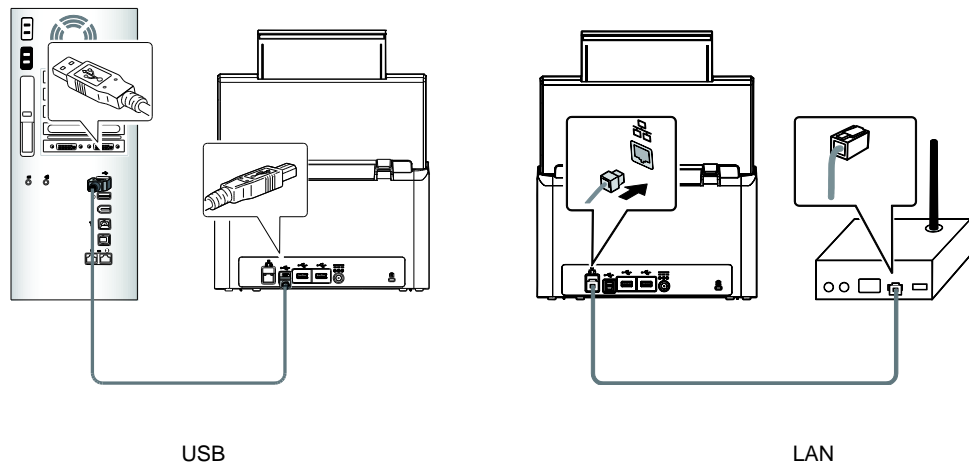
デフォルト：クリックすると全部の設定を元に戻します。

範囲：スキャンしたい範囲や箇所を指定します。

10 スキャンを実行し、スキャンした画像をコンピュータに送信する (BM2 Air)

始める前に：

[BM2 Air] (スキャンして PC へ) 機能を使用する前に、スキャナ用ドライバー Button Manager V2 がインストールされており、前述の「第 8 章：通常のスキャナとして本製品を利用する」セクションにある通りに、スキャナがコンピュータに USB ケーブル/またはイーサネットケーブルで接続されていることを確認してください。

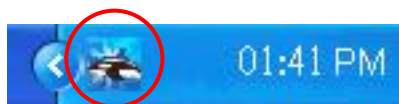


Button Manager V2をインストールする

Button Manager V2 では、ドキュメントをスキャンして、スキャンした画像を指定したソフトウェアアプリケーションに簡単にリンクすることができます。すべての操作はスキャナのボタンをタッチするだけです。しかしながら、適切なファイル形式と送信先アプリケーションを使用するため、まず最初にボタンの構成を確認することを推奨します。

スキャンの前にボタンの構成を確認する

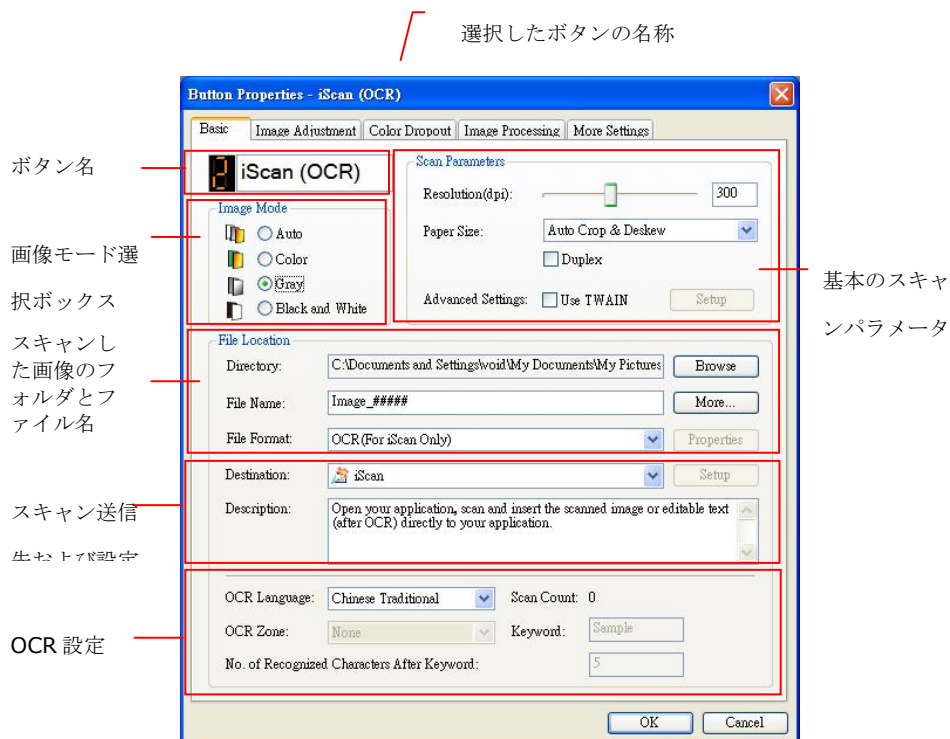
1. Button Manager V2はシステムトレイから実行します。Button Manager V2とスキャナ用ドライバーが適切にインストールされた後、Button Manager V2が起動し、ボタンアイコンがコンピュータ画面の右下にあるシステムトレイに表示されます。



2. Button Manager V2 のアイコンを左クリックして、以下のボタンパネルを表示します。



3. ボタンパネルには、最初の5つのスキャン用ボタンが表示されます。確認したいボタン（機能）を右クリックします。ボタンのプロパティ画面が表示されます。

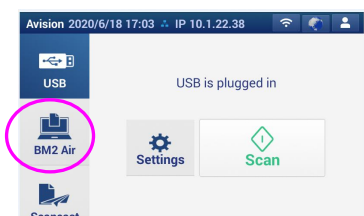


設定を変更する必要がある場合、このウィンドウを使用してファイル形式や送信先アプリケーション、またはその他のスキャン設定をリセットします。

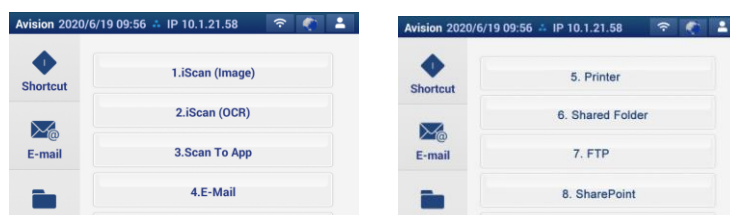
4. OK ボタンをクリックして画面を閉じます。

ボタンのワンタッチでスキャンする

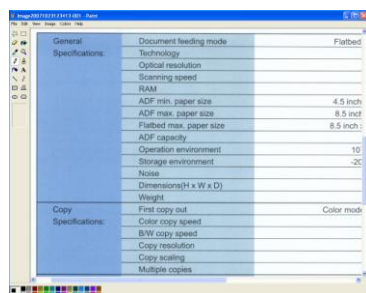
1. ペーパーガイドを用紙の幅に合わせて、上端を自動ドキュメントフィーダーの方に向けて差し込みます。
2. スキャナーの画面で、[BM2Air]をタップします。



3. スキャナーに接続しているコンピューター（長い名前）のリストが表示されます。
4. 接続したいコンピューターをタップします。ボタンパネルが表示されます。
5. 希望のボタン番号または宛先をタップします。



6. 適切なスキャン設定と送信先アプリケーションが選択されているか確認してください。
(例えば、ボタン（機能）3の「スキャンしてアプリへ」を使ってスキャンした場合、Microsoft Paintが開きスキャンした画像がMicrosoft Paintに表示され、液晶画面には「Function 3（機能 3）」と表示されます）。
7. スキャンが完了すると、Microsoft Paintが起動してスキャンした画像が以下のようにMicrosoft Paintのメイン画面に表示されます。



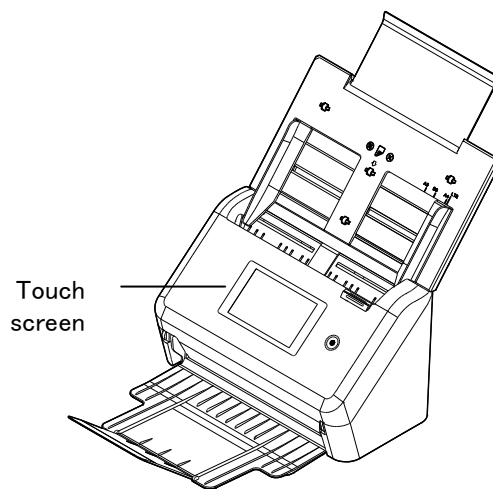
ご注意：

Button Manager V2の使い方についての詳細は、付属CD内のユーザーズマニュアルを参照してください。

11 メンテナンス

タッチスクリーンの清掃

最初にタッチスクリーン画面を濡れた布で拭いてから、乾いた布で拭き取ります。



警告:

タッチスクリーンに損傷を与える可能性があるため、液体洗剤、家庭用洗剤、または中性洗剤は使用しないでください。

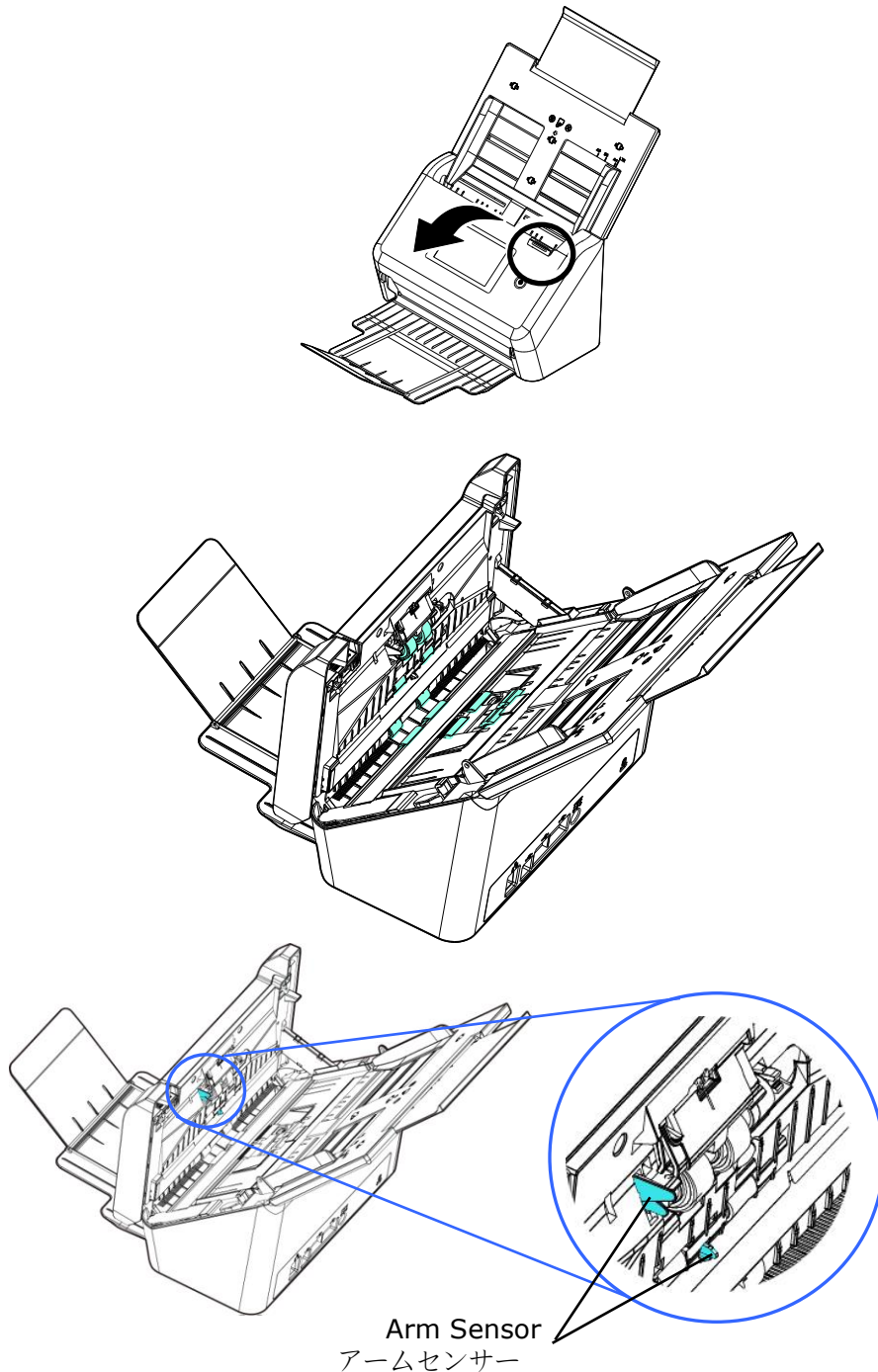
ローラーを掃除する

目安として、最初の 4,000～5,000 回のスキャン後にローラーとガラスをクリーニングしてから、毎週クリーニングを実行してください。ガイドラインは、スキャンするドキュメントの種類によって異なることに注意してください。

ヒント! 原稿が入りにくい場合、複数の原稿が同時に給紙されている場合、またはスキャンした画像に縞模様が表示されている場合は、スキャナーをクリーニングしてください。

手順

1. イソプロピルアルコール(95%)で綿棒を湿らせてください。
2. ADF解放ボタンを押して、ADFフロントカバーを左に開きます。ADFローラーを回しながら拭いて表面のホコリを完全に落とします。
3. スキャナーのフロントカバーを閉じます。スキャナは使用する準備ができました。

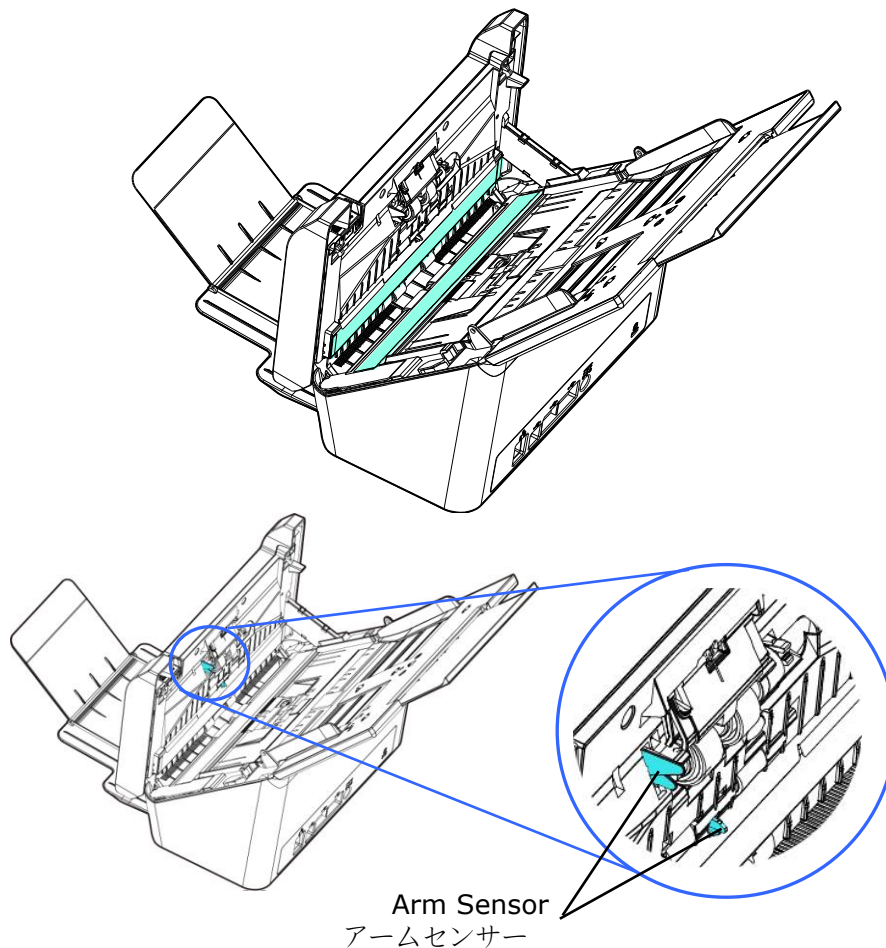


警告:

お手入れの際は、アームセンサーを折ったり傷つけたりしないようにご注意ください。

ガラスのお手入れ

1. スキャナフロントドアをそっと左に開きます。
2. 柔らかい布を少量のイソプロピル・アルコールで湿らせます。(95%)
3. ガラスおよび下図の白い部分を拭き、ホコリなどを拭き取ってください。



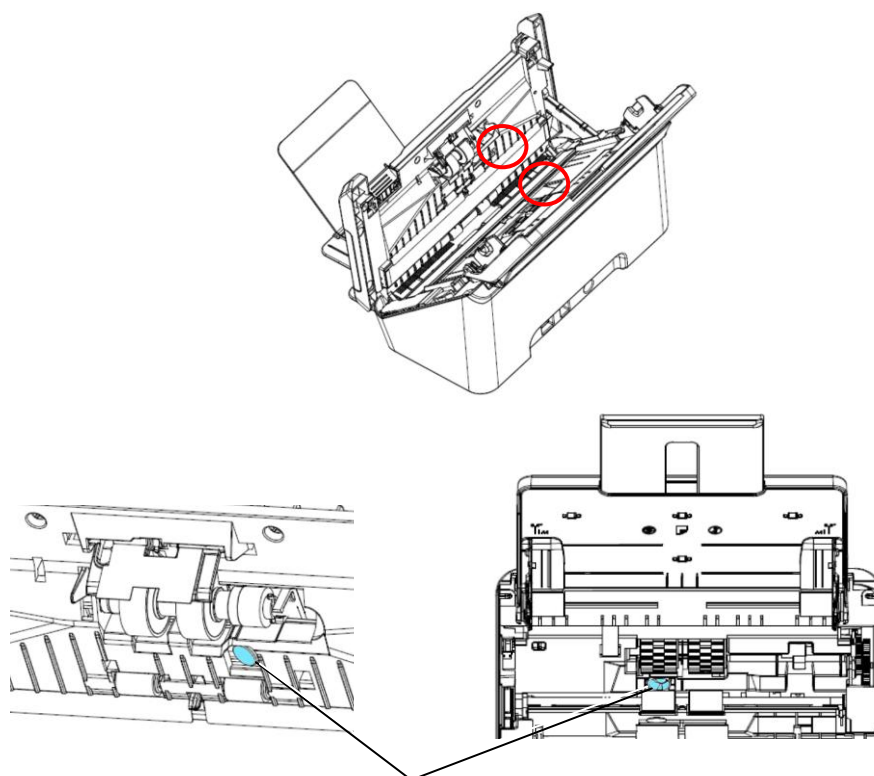
警告:

お手入れの際は、アームセンサーを折ったり傷つけたりしないようにご注意ください。

センサーのクリーニング

スキャナーが超音波センサーによるマルチフィードを検出できない場合は、超音波センサーの表面に紙粉や汚れが蓄積している可能性があります。次の手順に従って、センサーをクリーニングしてください。

1. スキャナフロントドアをそっと左に開きます。
2. きれいな布をイソプロピルアルコール(95%)に浸してください。誤って多量のアルコールを染み込ませてしまった場合は、布をしっかり絞ってください。
3. 超音波センサーの表面の汚れやほこりをそっと拭き取ります。



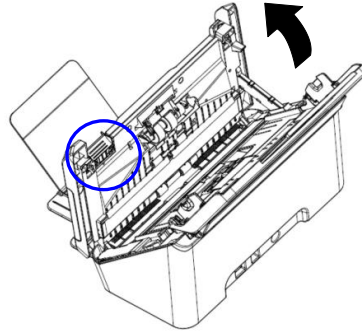
超音波センサー (Ultrasonic Sensors)

注意:

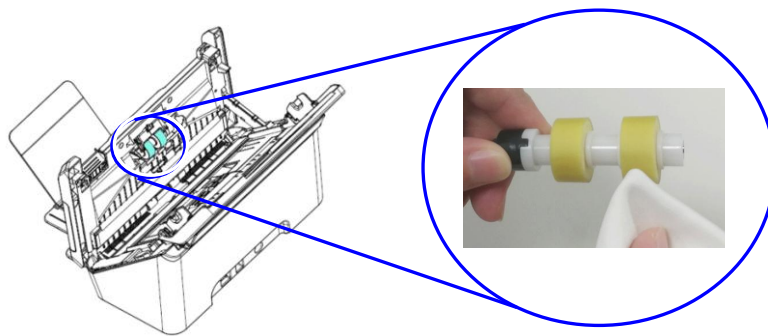
- お手入れが難しい場合は、綿棒をご使用ください。
- 超音波センサーの可用性は、スキャナーのモデルによって異なります。
- お手入れの際は、アームセンサーを折ったり傷つけたりしないようにご注意ください。セクション ローラーのクリーニングを参照してください。

フリクションローラーの清掃

1. 清潔な布のイソプロピルアルコール（95%）を染み込ませてください。誤って多量のアルコールを染み込ませてしまった場合は、布をしっかり絞ってください。
2. ADF フロントカバーをそっと開けます。



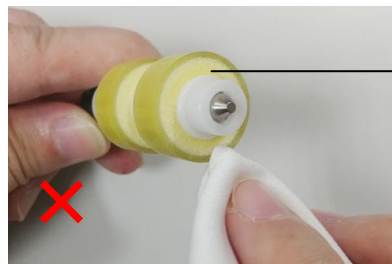
3. フリクションローラーの取り外し方法については、後続のセクション フリクションローラーの交換を参照してください。
4. 片方の手で、ローラーアセンブリの端を押さえて、もう一方の手で、ローラーの表面を優しく拭いて、ほこりや汚れを取り除いてください。ローラーの表面を傷付けないように注意してください。ローラーを回転させて、完全に清掃してください。



5. フリクションローラーの取り外し方法については、後続のセクション フリクションローラーの交換を参照してください。
6. カチッと音がして所定の位置に収まるまで、ADF の中央を下向きに押して、元の位置に戻し、ADF を閉じてください。

▲ 警告：

- ローラーの清掃にその他の洗浄剤を使用しないでください。その他の洗浄剤を使用すると、ローラーが損傷し、フィードエラーが発生する場合があります。
- ローラーの**表面のみ**を優しく吹いて、アルコールが蒸発するまで待ってください。過剰なアルコールの使用を避けてください。アルコールが内部フォームに入り込み、ローラーが損傷し、フィードエラーが発生する場合があります。



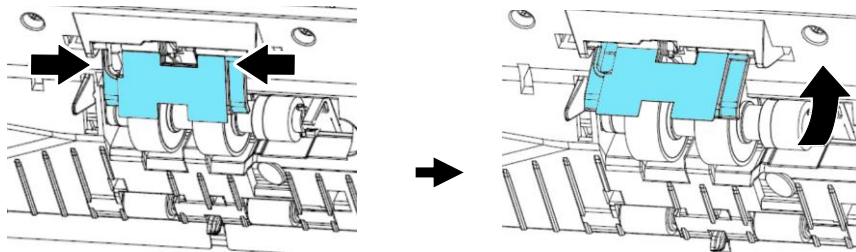
ローラーの表面の下のフォームにアルコールを染み込ませた布が接触しないようにしてください。また、フォームに過度なアルコールが流れ込まないようにしてください。

ADF フリクションローラーの交換

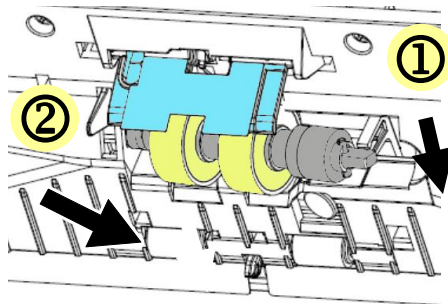
ADFによるスキャンを約 *100,000 ページ行うと、ADF フリクションローラーは摩耗して文書の給紙に問題が生じる可能性があります。この場合、新しい ADF ローラーに交換する必要があるかもしれません。ADF ローラーのご注文は最寄りの販売店にご連絡になり、交換の際は下記の手順に従ってください。

分解手順

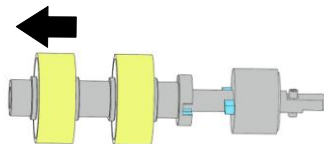
1. ADF リリースボタンを押します。
2. スキャナーのフロントドアを左側に静かに開きます。
3. マイラーアセンブリを指で持ち、下の図のように持ち上げます。



4. フリクションローラーの右端を外側から押してスロットから外し、左端を穴から取り出します。

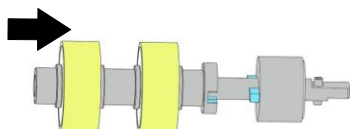


5. ローラーをシャフトから取り外します。

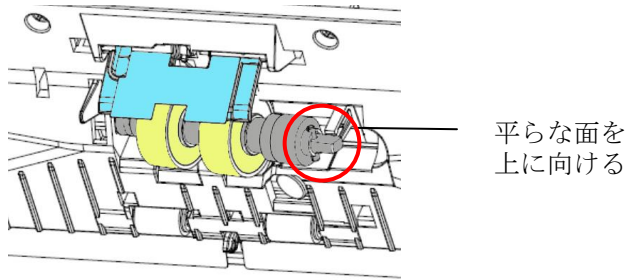


組み立て手順

1. ローラーをシャフトに取り付けます。

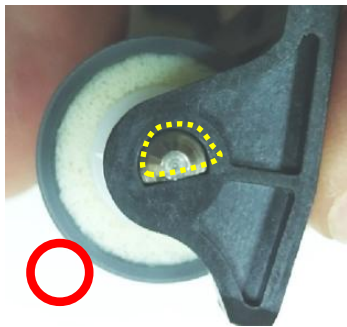


2. 図のように、フリクションローラーの左端を元の穴に入れます。

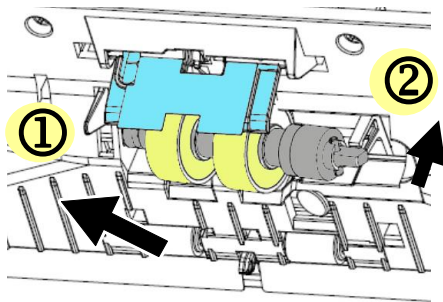


重要：

図のように、D 形状の端が D 形状の穴に位置合わせされていることを確認してください。そうしないと、ドキュメントがフィーダーに送られず、機械の故障の原因となることがあります。



3. フリクションローラーの右端をスロットに合わせます。

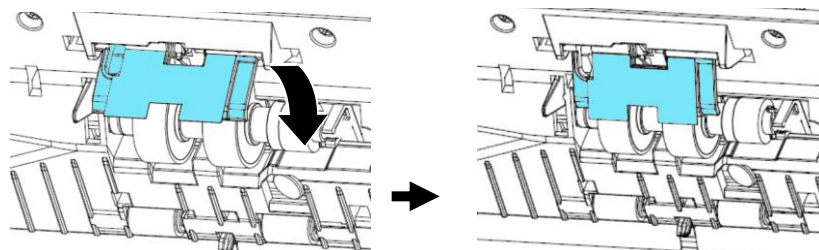


重要：

次の図に示すように、右端の平らな面を溝に対して水平に挿入してください。



4. マイラーアセンブリを押し下げます。



5. ADF フロントカバーを閉じてください。

警告:

交換するときは、マイラーを折ったり傷つけたりしないように注意してください。

注:

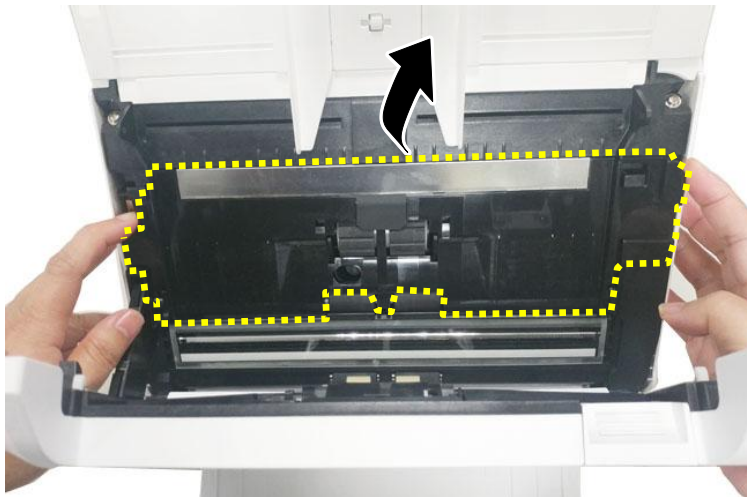
- 消耗品を定期的に交換してください。消耗品の寿命が来る前に交換できるように、新しい消耗品を事前に購入されることをおすすめします。
- 交換サイクルは、A4 (80 g/m² [20 lb])の上質紙または普通紙の使用に基づいています。実際の交換サイクルは、使用する紙の種類やスキャナーを使用および清掃する頻度により異なります。
- 指定された消耗品のみをご使用ください。
- 消耗品を購入される場合は、スキャナーを購入された店舗、または認定スキャナーサービスプロバイダーにご相談ください。

ADF ローラーを交換する

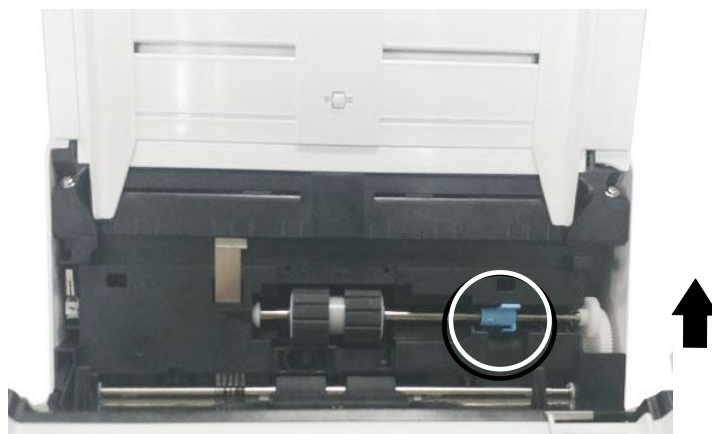
ADFでおよそ *20 万枚ほどスキャンした後は、ADF ローラーが磨耗し、紙送りに不具合が発生することがあります。この場合、新しい ADF ローラーへの交換が必要です。ADF ローラーの注文は、お近くの販売店にお問い合わせください。また、ローラーの交換には以下の手順に従ってください。

分解手順

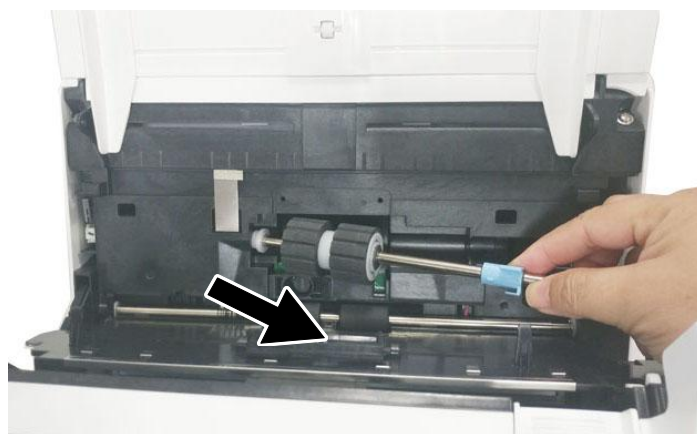
1. ADFリリースボタンを押して、フロントドアを開きます。
2. 両手を使い、ローラーカバーを引いて、開きます。



3. 図のように、下側ADFローラーの上部タブを上動かします。

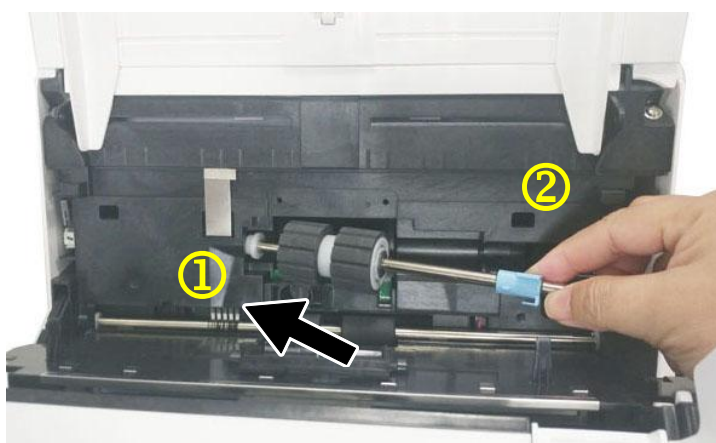


4. ADFローラーの右端をスロットから外し、下側ADFローラーを取り外します。

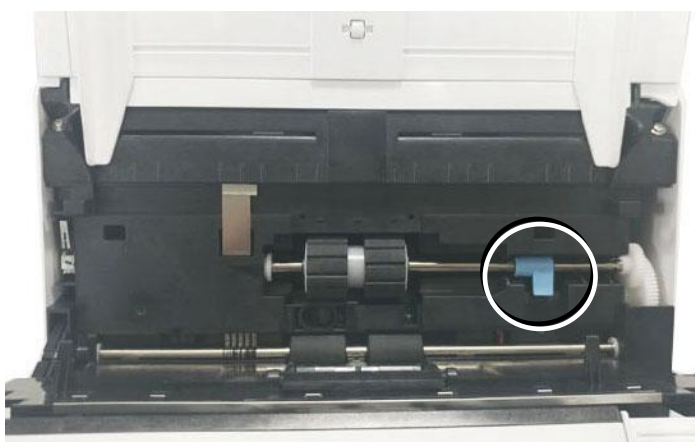


組み立て手順

1. まず、下側ADFローラーの左端をスロットに入れて。



2. 下側ADFローラーのタブを図のように下に動かします。



3. ADFローラーカバーを閉じます。きちんと装着されるとカチッと音がします。

注:

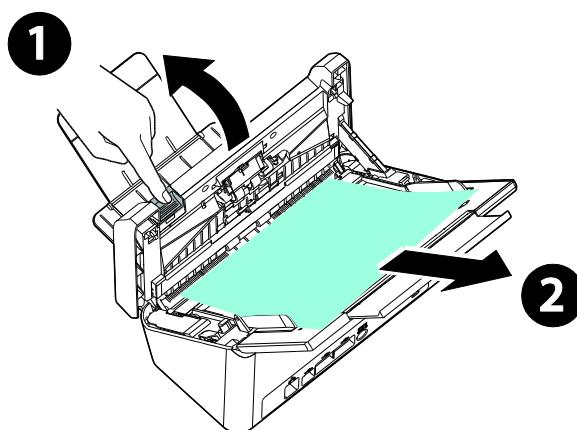
- 消耗品を定期的に交換してください。消耗品の寿命が来る前に交換できるように、新しい消耗品を事前に購入されることをおすすめします。
 - 交換サイクルは、**A4 (80 g/m² [20 lb])**の上質紙または普通紙の使用に基づいています。実際の交換サイクルは、使用する紙の種類やスキャナーを使用および清掃する頻度により異なります。
 - 指定された消耗品のみをご使用ください。
 - 消耗品を購入される場合は、スキャナーを購入された店舗、または認定スキャナーサービスプロバイダーにご相談ください。
-

12 トラブルシューティング

紙詰まりの除去

紙詰まりが生じた場合は、以下の手順で紙を取り除いてください。

1. ADF ユニットから紙を静かに取り去ります。
2. スキャナーのフロントカバーを閉じます。これでスキャナーは使用可能です。



質問と答え

質問:	スキャン中に紙詰まりが起きました。
答:	1) スキャナーのフロントカバーを開きます。 2) 詰まった紙を注意して取り除きます。 3) スキャナーのフロントカバーを閉じます。
質問:	スキャナーに同時に数枚が給紙されます。
答:	1) スキャナーのフロントカバーを開きます。 2) 詰まった数枚の紙を取り除きます。 3) スキャナーのフロントカバーを閉じます。 4) 紙の角と縁を揃えます。ペーパーガイドに紙をセットする前にさばいでください。 5) 給紙ローラーの状態をチェックします。必要であれば、セクションにある 清掃の手順 に従って清掃してください。
質問:	紙がスキャナー内で曲がってしまいます。
答:	1) スライドガイドにより、紙の方向をまっすぐにします。 2) 給紙ローラーの状態をチェックします。必要であれば、セクションにある 清掃の手順 に従って清掃してください。
質問:	スキャンされたイメージがいつも暗くなるのはなぜでしょう？
答:	1)画面の設定をsRGBに調整してください。 2)アプリケーションソフトウェアから画面上の輝度設定を調整してください。
質問:	光学解像度を600 dpiに設定するとき、「自動切り抜き」及び「傾き補正」機能が無効になります。
答:	自動切り抜き及び傾き補正は大量のシステムメモリーを使います。エラーメッセージを避けるため、これらの機能を実行する際には光学解像度を600dpi未満で調整するようにお勧めします。

エラーメッセージと解決方法

エラーコード	問題の説明	解決策
ネットワークエラー		
592301	メールサーバーがありません	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「メールサーバー」 の設定を確認してください。 2. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
592302	DNS サーバーが設定されていません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「DNS サーバー」 の設定を確認してください。 2. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
592303	コンピュータ名を IP に変換できませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「DNS サーバー」 の設定を確認してください。 2. CIFS URL のターゲットサーバー名とドメインを確認してください。 3. PC 側でクライアントの Microsoft ネットワークを確認してください。 4. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
592304	DNS サーバーから IP アドレスを取得できませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「DNS サーバー」 の設定を確認してください。 2. ターゲットサーバー名を確認してください。 3. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
592305	IP アドレスの競合を検出しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワーク設定を確認してください。 2. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
NTP エラー		
593001	NTP サーバーはタイムアウト期間内に応答しません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「NTP サーバー」 の設定を確認してください。 2. ファイアウォールの設定を確認してください。 3. ネットワーク環境を確認します。 4. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
LDAP エラー		
596001	LDAP URL が空です。	LDAP サーバーの IP またはポートを入力してください。
596002	LDAP サーバーに接続できませんでした。	LDAP サーバーの IP またはポートを確認してください。
596003	認証タイプエラー。	認証タイプを確認してください。
596004	LDAP アカウントまたはパスワードが空です。	ログイン名とパスワードを入力してください。

596005	ログイン名とパスワードを確認してください。	ログイン名とパスワードを確認してください。
596006	search root が空です。	「search root」を入力してください。
596007	検索できませんでした。	「search root」を確認してください。
596008	検索属性が空です。	「検索属性」を入力してください。
Wi-Fi エラー		
597001	Wi-Fi AP に接続できませんでした。	Wi-Fi AP (アクセスポイント) にパスワードが必要な場合は、パスワードを確認してください。
597002	AP スキャンを開始できませんでした。	スキャナーは AP モードでのスキャンを実施できませんでした。後でお試しく下さい。この問題が常に発生する場合は、最寄りの販売店にお問い合わせください。
597003	ワイヤレス AP が見つかりません。	スキャナーは Wi-Fi AP を検索しません。後で再度お試しく下さい。この問題が常に発生する場合は、最寄りの販売店にお問い合わせください。
SMTP エラー		
530002	メールサーバーへの接続に失敗しました。	1.メールサーバーのアドレスとポート番号を確認します。 2.ネットワーク環境を確認します。 3.さらにヘルプが必要な場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
530003	SSL 経由でメールサーバーに接続できませんでした。	メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。正しい認証方法を設定し、暗号化してください。
530004	サーバーに SSL 接続が必要なため、メールサーバーに接続できませんでした。	1.メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 2.正しい認証方法を設定し、暗号化してください。 3.暗号化設定を SSL に変更して、再試行してください。
531011	メールサーバーには TLS/STARTTLS 接続が必要です。	1.メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 2.正しい認証方法を設定し、暗号化してください。 3.暗号化設定を TLS/STARTTLS に変更して、再試行してください。
531012	スキャナーは認証しようとしていますが、メールサーバーは認証を必要としません。	1.メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 2.正しい認証方法を設定してください。 3.認証方法を「なし」に変更して、再試行してください。

531013	このスキャナーでは、メールサーバーからの認証方法はサポートされていません。	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
538001	データ送信中に接続が切断されました。	1. ネットワーク環境を確認します。 2. メール の添付ファイルのサイズがメールボックスの割り当てよりも大きいかどうかを確認してください。
530421 531421 532421 533421 534421 536421	SMTP[421] サービスを利用できません。送信チャンネルを閉じています。サーバーをシャットダウンします。	詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
537550	ログイン名は差出人アドレスと同じである必要があります。	差出人とログインのアカウントは同じである必要があります
533450	受信者のメールボックスが利用できない場合があります。	「送信先」アドレスを確認します。
532451 533451 534451 535451 537451	SMTP [451] 要求されたアクションが中断されました。処理中のローカルエラー	詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
533452 535452 537452	SMTP [452] 要求したアクションが実行されませんでした。システムのストレージ不足です	詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
530500	TLS/STARTTLS 経由でメールサーバーに接続できませんでした。	1. メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 2. 正しい認証方法を設定し、暗号化してください。 3. 暗号化設定を「なし」に変更して、再試行してください。
532530	メールサーバーは認証を行う必要があります。	メールサーバーの設定、認証方法、暗号化の設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

531534	メールサーバーはログインを拒否します。	<p>1. Gmail をメールサーバーとして使用している場合は、「安全性の低いアプリへのアクセス」をオンにしてください。または、2段階認証プロセスを有効にしてから、スキャナーの「アプリパスワード」を作成してください。</p> <p>2. Gmail をメールサーバーとして使用している場合は、A の場所にログインできます。同時に、他のユーザーが、あなたのアカウントを使用して B の場所にログインできます。Gmail は他のユーザーのログインを拒否します。</p> <p>3. メールサーバーの管理者にお問い合わせください。</p>
531535	メールサーバーにログインできませんでした。	<p>1. サーバーには認証が必要です。</p> <p>2. ログイン名とパスワードを確認してください。</p>
533001	To、CC および BCC アドレスは空です。	メールアドレスを入力してください。
533550	受信者のメールボックスが利用できない場合があります。	<p>1. 「宛先」アドレスを確認します。</p> <p>2. メールサーバーが Microsoft Exchange の場合、メールサーバーの設定を確認してください。マシンの IP はメールの送信を許可されていますか？</p>
535552 537552	SMTP [552] 要求されたメールアクションが中断されました。ストレージの割り当てを超過しました。	<p>1. 「送信先」アドレスを確認します。</p> <p>2. メールボックスのストレージ割り当てを確認します。</p> <p>3. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。</p>
533553	受信者のアドレスが正しくありません。	「送信元」アドレスを確認します。
532440 532553 532554 537554	「差出人」アドレスが正しくない可能性があります。	「送信元」アドレスを確認します。
532501	差出人アドレスが無効です。	「送信元」アドレスを確認します。
533504	HELO コマンドは拒否されます。	「ホスト名」と「ドメイン名」を確認してください。
FTP エラー		
540002	FTP サーバーへの接続失敗	FTP サーバーがシャットダウンしておらず、ポート番号が正しいことを確認します。エラーが続くようであれば、ネットワーク管理者にご連絡ください。
540003	FTP サーバーへの接続失敗(via SSL)	FTP サーバーがシャットダウンしておらず、ポート番号が正しいことを確認します。エラーが続くようであれば、ネットワーク管理者にご連絡ください。

540004	FTP ログイン名エラー	ログイン名を確認して再度お試しください。
540005	FTP パスワードが正しくありません	パスワードを確認して再度お試しください。
540020 540021	FTP 制御接続が切断されています。	1. ネットワーク管理者に連絡して、FTP サーバーのログを確認してください。 2. ネットワーク環境を確認します。
540023	FTP サーバーはスキャナーへのデータ接続を開きません。	1. ネットワーク管理者に連絡して、ファイアウォールの設定を確認してください。 2. サーバー管理者に連絡して、ftp サーバーのログを確認してください。 3. アクティブモードをパッシブモードに変更して、再試行してください。
546005	送信中にデータ接続が切断されました。	1. サーバー管理者に連絡して、サーバーのログを確認してください。 2. ネットワーク環境を確認します。
549002	FTP サーバーへのパッシブモードのデータ接続を開くことができませんでした。	1. ネットワーク管理者に連絡して、ファイアウォールの設定を確認してください。 2. ネットワーク管理者に連絡して、FTP サーバーのログを確認してください。
540421	FTP サーバーは、サービスが利用できないと応答し、制御接続を閉じます。	1. この IP からの接続が多すぎる場合は、FTP サーバー管理者に連絡してください。 2. FTP サーバーがシャットダウンし、サービスを提供できません。 3. 後で再度お試しください。それでも問題が解決しない場合は、FTP サーバーの管理者に連絡してください。
546425	FTP サーバーへのデータ接続を開くことができませんでした。	ネットワーク管理者に連絡して、ファイアウォール設定と FTP サーバーのログを確認してください。
544450 546450 548450	要求されたファイルアクションを実行していません。	ファイルが既に存在し、Windows によってロックされています。
546452 548452	要求されたアクションを実行していません。システムのストレージスペースが不足しています。	割り当てられたストレージスペースを FTP 管理者に増やしてもらうか、必要ないファイルを削除します。
540550	ターゲットディレクトリにアクセスできないか、ディレクトリが削除されました。	1. ディレクトリが存在するかどうかを確認してください。 2. ディレクトリが空かどうかを確認してください。

541550 542550 546550	[500] コード。コマンドが認められず、要求されたアクションを実行できませんでした。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
543421	サーバーはアクティブモードをサポートしていません。	「パッシブモード」を有効にして、再試行してください。
546553 548553	要求されたアクションを実行していません。許可されていないファイル名です。	ファイル名を変更するか、ファイル名内のスペースや特殊文字を削除します。
CIFS エラー		
560029	アカウントはロックされています。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
560033	ターゲット PC にログインできませんでした。	ネットワーク設定でドメインを確認してください。
560034	このワークステーションとプライマリドメイン間の信頼関係が破綻しました	詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
561003	ターゲット PC の IP アドレスが正しくありません。	1. ネットワークケーブルまたはコネクタを確認します。 2. URL または IP アドレスが正しいかどうかを確認します。 3. 「Microsoft ネットワークのファイルとプリンターの共有」が有効になっているかどうかを確認します。
561005	ターゲット PC からのアクセスが拒否されました。	ターゲット PC の共有フォルダのアクセス許可を確認してください。
561006	通信中にファイルが閉じます。	ターゲット PC を確認してください。
561032	共有フォルダ名エラー	共有フォルダ名が正しいか確認してください。
562005	送信中に共有フォルダが存在しません。	ターゲット PC を確認してください。
562006	共有フォルダ名が正しくありません。	ターゲット PC のプロファイル設定と共有フォルダ名を確認してください。
562088	ターゲット PC はタイムアウト期間内に応答しません。	サーバーがビジー状態です。後でもう一度スキャン-CIFS を試してください。
563021	SMB サービスの準備ができていません	1. SMB サービスの初期化が完了するまで待ってから、スキャンして SMB を再度お試し下さい。 2. 別の機器に同じホスト名が存在しないか確認します。
563039	ディスクがいっぱいです	ディスクスペースをクリーンアップしてください。

569001	通信中に接続が切断されました。	ネットワークケーブルまたはコネクタを確認してください。 URL または IP アドレスが正しいかどうかを確認してください。
569033	共有パスが正しくありません。 URL に共有フォルダがありません。	URL または IP アドレスが正しいかどうかを確認してください。
569020	ターゲット PC はタイムアウト期間内に応答しません。	サーバーがビジー状態です。後で再度スキャン-CIFS をお試しください。
SharePoint エラー		
555400	サーバーエラーリクエストパラメータエラー。	ユーザー名、パスワード、サーバーIP、ドメイン、場所の URL、サブフォルダなどのログイン情報が正しいかどうかを確認し、ネットワーク接続の状態も確認してください。
555401	サーバーエラー：ログインできませんでした。	ユーザー名、パスワード、サーバーIP、ドメイン、場所の URL などのログイン情報が正しいかどうかを確認し、ネットワーク接続の状態も確認してください。
555402	添付ファイルが制限を超えています。	アップロードファイルの最大サイズを変更するようにサーバー管理者に通知してください。また、サーバー管理者に設定を確認してください。
HTTP エラー		
550002	データを受信できませんでした。	ネットワーク環境を確認します。
550004	データ長が間違っています。	もう一度やり直してください。
556001	HTTP サーバーの URL が無効です。	URL の形式を確認してください。
556002	HTTP サーバーに接続できませんでした。	1. URL のサーバー名または IP を確認してください。 2. ネットワーク環境を確認します。
556003	接続が切断され、HTTP サーバーにヘッダーを送信できません。	1. ネットワークケーブルまたはコネクタを確認してください 2. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
556004	接続が切断され、HTTP サーバーにデータを送信できません。	1. ネットワークケーブルまたはコネクタを確認してください 2. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
556005	接続が切断され、HTTP サーバーからデータを受信できません。	1. ネットワークケーブルまたはコネクタを確認してください 2. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
556006	HTTP サーバーから受信したデータのサイズが間違っています。	受信したデータのサイズがコンテンツの長さと同じではありません。 1. ネットワークケーブルまたはコネクタを確認してください。 2. 詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。

AWIP エラー		
557001	リモートアプリに接続できませんでした。	ネットワーク環境を確認してください。
557002~ 557005	リモートアプリにファイルを送信できませんでした。	ネットワークケーブルおよびコネクタを確認してください。 さらにヘルプが必要な場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
システムエラー		
150001	スキャナーの準備ができていません	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
150004	不正なネットワークアクセス、最初にログインしてください	最初にログインしてください。
151004~ 151010	スキャンした画像ファイルを保存できませんでした。	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
152004~ 152005	スキャンパラメータエラー。	
152006	メモリを割り当てることができませんでした。	
152999 153001~ 153003	内部エラー	
153005	メモリ不足です	
153010 153020~ 153026 153021	内部エラー	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
153022	スキャナーがビジー状態です。	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
153023~ 153026	内部エラー	
170004	内部エラー	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
170005	送信アクションが停止しました	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
170011	ファイリングレポートを電子メールに送信できませんでした。	SMTP 設定を確認するか、ネットワーク管理者に連絡してください。

171201		
172202	内部エラー	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
173204		
175101	ファイルをパブリックフォルダに保存できませんでした。	
175102	パブリックフォルダのディスク容量が足りません。	詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
175201~ 175205	ファイルをパブリックフォルダに保存できませんでした。	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
176003	内部エラー	
177102	パブリックフォルダのディスク容量が足りません。	詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
178102	IP を取得できません。	
179204		
180001~ 180002	内部エラー	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
180010	送信アクションが停止しました。	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
182001	サムネイル画像を作成できませんでした。	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
182002	サムネイルの作成アクションが停止しました。	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
183006 185201	内部エラー	機器を再起動して再度お試しください。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
BM2 および VSL エラー		
200100	[BM2]機能を使用するには、最初に Button Manager V2 をコンピュータにインストールする必要があります。	PCに Button Manager がインストールされているかどうかを確認してください。
200101	VSL が切断されています。	PC の VSL 接続がまだ機能するかどうかを確認してください。

スキャナーエラー		
000016	UART 読み書きテストエラー	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
000017	モーターの失速	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してモーターを取り替えてください。
000020	ファームウェアダウンロードエラー	ファームウェアファイルを確認して再度お試しください。
000022	ランプオフエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してランプを取り替えてください。
000023	Flashrom 読み書きテストエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
000024	ADF 下端部 AFE LVDS テストエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
000025	ADF 上端部 AFE LVDS テストエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
002013	用紙詰まり	正面のドアを開けて詰まった用紙を取り除きます。
002014	ADF カバーが開いています。	ADF カバーを閉じます。
002015	ADF 用紙なし。	自動ドキュメントフィーダーに用紙を入れます。
002024	NVRAM 読み書きテストエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
000029	ADF AFE 読み書きテストエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
002033	用紙の歪み。	用紙を取り除きます。 用紙をあおいでから再度お試しください。

002036	超音波センサーエラー	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
002037	ADF 下端部 AFE テストエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
002040	ファンチェックエラー	機器を再起動して再度お試し下さい。エラーが続くようであれば、サービス担当者にご連絡ください。
003003	DRAM 読み書きテストエラー	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
003004	ADF DRAM 読み書きテストエラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してメインボードを取り替えてください。
003006	ADF 底部ヘッドライト確認エラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してランプを取り替えてください。
003010	ADF 上部ヘッドライト確認エラー。	デバイスを再起動します。エラーが続くようであれば、サービスに連絡してランプを取り替えてください。
003101	複数のフィード。	用紙を取り除きます。 用紙をあおいでから再度お試し下さい。
003211	用紙のフィードミス。	ドキュメントの端がペーパーガイドに少しだけ接触するようにして、再度お試し下さい。

テクニカルサービス

Avision に連絡する前に、セクション 4.14 の情報タブを参照して以下の情報をご用意ください。

- スキャナーのシリアル番号(スキャナー下部ないし背面にあります。)
- ハードウェア構成 (例：ホストCPUタイプ、RAMサイズ、ディスク空き容量、ディスプレイカード、インタフェースカードなど)
- スキャンで使ったソフトウェアアプリケーション名およびバージョン
- スキャナードライバのバージョン

下記にご連絡ください：

本社

Avision Inc.

No. 20, Creation Road I, Science-Based Industrial Park,

Hsinchu 300, Taiwan, ROC

TEL : +886 (3) 578-2388

FAX : +886 (3) 577-7017

E-メール : service@avision.com.tw

ウェブサイト : <http://www.avision.com.tw>

米国およびカナダ地区

Avision Labs, Inc.

6815 Mowry Ave., Newark CA 94560, USA

TEL : +1 (510) 739-2369

FAX : +1 (510) 739-6060

E-メール : support@avision-labs.com

ウェブサイト : <http://www.avision.com>

ウェブサイト

Technical Support Center in Shanghai

7A, No. 1010, Kaixuan Road, Shanghai 200052 P.R.C.

TEL : +86-21-62816680

FAX : +86-21-62818856

E-メール : sales@avision.net.cn

ウェブサイト : <http://www.avision.com.cn>

ヨーロッパエリア

Avision Europe GmbH

Bischofstr. 101 D-47809 Krefeld, Germany

TEL : +49-2151-56981-40

FAX : +49-2151-56981-42

E-メール : info@avision-europe.com

ウェブサイト : <http://www.avision.de>

Espaço Brasil

Avenida Jabaquara, 2958 - Cj. 75 - Mirandópolis -

CEP: 04046-500 - São Paulo, Brasil

TEL: +55-11-2737-6062

E-メール : suporte@avisionbrasil.com.br

ウェブサイト : <http://www.avisionbrasil.com.br>

13 仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。仕様の詳細については、ウェブサイト (<http://www.avision.com>)をご覧ください。

項目	仕様	
モデル番号: FF-2007H		
一般仕様		
システムの説明	ネットワークスキャナ	
画像センサー	CIS (Contact Image Sensor)	
光源	LED ライトバー	
光学解像度	600 dpi /600 dpi	
出力解像度	1200 dpi (PC Scan)	
出力品質	入力: 48 ビットカラー 出力: 24 ビットカラー 8 ビットグレー 1 ビット モノクロ	
液晶サイズ	8 インチ	
外部接続	1. RJ-45 (ネットワーク接続用) 2. USB 3.2 Gen 1x1	
ネットワーク接続	RJ-45 Ethernet 10/100/1000 Mb, Wi-Fi	
出力形式	JPEG, TIFF (One-Page TIFF), M-TIFF (Multi-Page TIFF), PDF (One-Page PDF), *M-PDF (Multi-Page PDF), PDF/A(M-PDF), PNG	
解像度	100 dpi, 150 dpi, *200 dpi, 300 dpi, 400 dpi, 600 dpi	
寸法(幅 x 奥行 x 高さ)		
最小	316 x 207 x 178 mm(12.44 x 8.15 x 7.01 in.)	
最大	316 x 675 x 254 mm(12.44 x 26.57 x 10 in.)	
重量	4.2 Kg(9.26 ポンド)	
電力要件	100~240Vac、50/60Hz	
電源	24Vdc、1.0A	
動作環境	温度	10° C~35° C
	湿気	10%~85% RH
作動湿度	10%~85% RH	
湿気	10° C~35° C	
スキャンサイズ		
ADF 用紙容量	50 枚(75 g/m ² または 20 ポンド用紙)	
ADF 用紙サイズ	50 x 50 mm(2 x 2 インチ) ~ 216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)	
用紙の厚み	50 ~ 413 g/m ² (12~110 ポンド)	

ネットワーク仕様	
接続性	RJ-45 Ethernet 10/100/1000 Mb, Wi-Fi
通信プロトコル	IPv4, TCP, UDP, DHCP, SSL/TLS, DNS, DDNS, SMTP, LDAP, LDAPS, SMTP, SMTPS, HTTP, HTTPS, MIME, FTP, FTPS, SMB, Ipsec, 802.1x
構成要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. IP アドレス 2. サブネットマスク 3. ゲートウェイ 4. SMTP サーバー 5. FTP サーバー
電子メール仕様	
通信プロトコル	SMTP
分割制限	1MB、3MB、5MB、10MB、30MB、制限なし
対応するメールサーバー・アプリケーション	Lotus Mail Server 5.0 MS Exchange Server 2000 RedHat 7.0 SendMail OS 9.04 の MAC Mail Server
ファイリング仕様	
通信プロトコル	FTP/FTPS/FTPES、SMB
ファイリングプロファイル最大数	50

Wi-Fi Specifications:

Standard	IEEE 802.11 b/g/n standards compliant
Wireless LAN	1T1R Mode
Frequency Range	2.412 ~ 2.484GHz (subject to local regulations)
Modulation Type	CCK, DQPSK, DBPSK for DSSS 64QAM, 16QAM, QPSK, BPSK for OFDM
Modulation Technology	DSSS, OFDM
Transfer Rate	802.11b: up to 11Mbps 802.11g: up to 54Mbps 802.11n: up to 72.2Mbps
Output Power	802.11b: 149.279mW 802.11g: 360.579mW 802.11n (HT20): 345.939mW
Antenna	PCB antenna
Security	WEP 64/128, TKIP, WPA, WPA2 mixed, 802.1x and 802.11i